

農林水産省  
輸出・国際局 新興地域グループ 御中

NTT DATA  
Trusted Global Innovator

令和5年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業  
 Bangladeshへの貿易・投資の拡大に向けた農業・食品加工業の実態等調査

2024年3月1日  
株式会社NTTデータ経営研究所

本事業は、農林水産省が対Bangladesh貿易・投資拡大に向けた支援策を構築するにあたり

- ①流通構造・市場規模調査
- ②関税・輸出障壁調査
- ③投資環境調査

について(株)NTTデータ経営研究所へ委託して行ったものである。

**★市場規模調査対象品目:米、牛肉、ぶどう、水産物(さば、いわし、ぶり、たい)****[流通構造 - 品目共通]**

- 都市部では一般的な先進国と同様に生産者・製造者から卸売業者を介して小売店に流通／農村部では農家から直接小売店や消費者に販売
- 小売店は、野外仮設店舗や路面店が多い。スーパーマーケットは全国で200店舗程度存在、そのうち約40店舗はダッカにある

**[市場規模・米]**

- 国内の稲作シーズンは年に3期
- 国内における米の生産量および収穫面積はどちらも過去5年間横ばい
- 米の輸入が多い上位国はインド、ミャンマー、タイ、インド。国内産の米の種類は長粒米に加えて日本米と同様の短粒米も栽培
- ダッカのスーパーマーケットであるUnimart、Agora、Wholesale Clubの店舗ではバスマティやジャスミンなどの輸入米を販売。一部店舗ではベトナム産の日本米(Sushi Rice)の販売を確認。日本産の日本米はどの店舗でも販売なし。オンラインで販売されているブランド米はほとんどが輸入品
- 輸出戦略:高価な日本米はより裕福な消費者層、日本食を求める外国人やレストランなどターゲットを絞った訴求・販売に注力。日本産ならではの高品質を強調し、輸入米の多いEコマースを中心に販売

## [市場規模・牛肉]

- 水牛肉、牛肉とも消費される。国内の生産量は牛肉がはるかに多い
- 2022年4月にバングラデシュ政府が非関税障壁での輸入停止措置を取ったことで2023年12月時点でもバングラデシュに牛肉を輸出することは実質不可能。2020年と2021年には日本産の牛肉も1.2億円程度バングラデシュに輸入
- Unimart、Agora、Wholesale Clubの店舗およびオンライン店舗ではバングラデシュ産の牛肉のみ販売
- 輸出戦略:バングラデシュへの牛肉の輸出を再開させるためには政府間交渉が必要不可欠。輸入が再開した時に備えて、日本国内でもハラール認証を得るなどの準備が必要

## [市場規模・ぶどう]

- 土壌と気候条件がぶどうの栽培に適さず国内生産はほとんどない
- ぶどうの輸入量と輸入金額は2017年から急増(2021年の輸入金額は189億円程度)。輸入はインドと中国が上位。Unimart、Agora、Wholesale Clubの店舗ではイラン、インド、中国産のぶどうの販売が確認できたが日本産はなし。オンラインでは原産地不明のものが多数流通
- 輸出戦略:日本からぶどうを輸出した場合、高価になると想定。高級志向な消費者や小売チャネルをターゲットとし、品質の高さを訴求。コールドチェーンの確保も必要不可欠

## [市場規模・水産物(さば、いわし、ぶり、たい)]

- Bangladesh人は主に淡水魚をタンパク質源として消費
- 冷凍魚の輸入量は2017年から2021年までは右肩上がりであったが2022年に減少。輸入金額は2017年から2022年にかけて増加傾向
- Unimart、Agora、Wholesale Clubの店舗では、Agoraの店舗ではBangladesh産のいわしの販売が確認できたが、輸入されたさば、いわし及びにしん、ぶり、たいは販売はなし。オンラインではBangladesh産のさばといわしは販売を確認。にしん、ぶり、たいの販売は確認できず
- 魚の缶詰類の輸入金額は2017年から2022年まで増加傾向で輸入元国はUAEが圧倒的に多い。ただし同国は輸入・再輸出国としての機能が主
- 輸出戦略: 冷凍魚向けにはコールドチェーンを確保し、高所得者向けの小売をターゲットにして訴求



Bangladesh産いわし@Agora

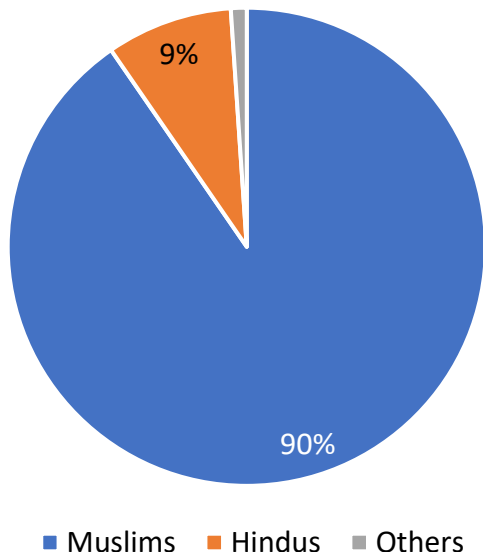
## [日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段]

- 輸入プロセスについて、チッタゴン港では一部オンラインシステムが導入されているものの、一般的には書面手作業での対応が必要で通関にかかる時間とコストが増加。各種書類の発行遅延や検査施設の不足、重複検査などにより輸入に時間がかかることが課題
- 本調査の対象品目に関しては、冷凍魚以外は輸入登録証明書の取得に向けた要件あり。バングラデシュに輸入されるすべての製品向けに定められた輸入申告書が存在。これらの手続きはバングラデシュの通関業者が一般的に代行
- バングラデシュ政府は食料安全保障を確保するため、米のバッファーストック政策を実施。米の関税率を頻繁に上下させて、米の輸入金額、輸入量を管理し、大きく変動
- バングラデシュでは2022年4月から、牛肉の輸入のために必要となる信用状(LC)や異議なし証明書(NOC)を発行しないという非関税障壁により牛肉の輸入を実質不可能化
- 未発達なコールドチェーンは輸入品目共通の課題。調査対象品目を含む冷蔵・冷凍が必要が食品をバングラデシュに輸出するためには、現地でコールドチェーン機能を持つプレイヤーを見極めて協業する必要あり

### 【輸入品に係るハラール認証の実態】

- Bangladeshの人口の90%はイスラム教徒であり、イスラム法に則りハラール食品のみを消費
- 牛肉はハラール認証を受けたもの以外は輸入不可。Bangladeshでは、輸出元国のハラール認証が国内でもハラール認証として機能
- 日本からBangladeshに牛肉を輸出するためには、日本国内のと畜場・食肉加工施設などがハラール認証を取得する必要あり

Bangladeshの主要宗教グループの規模  
 主要人口における割合

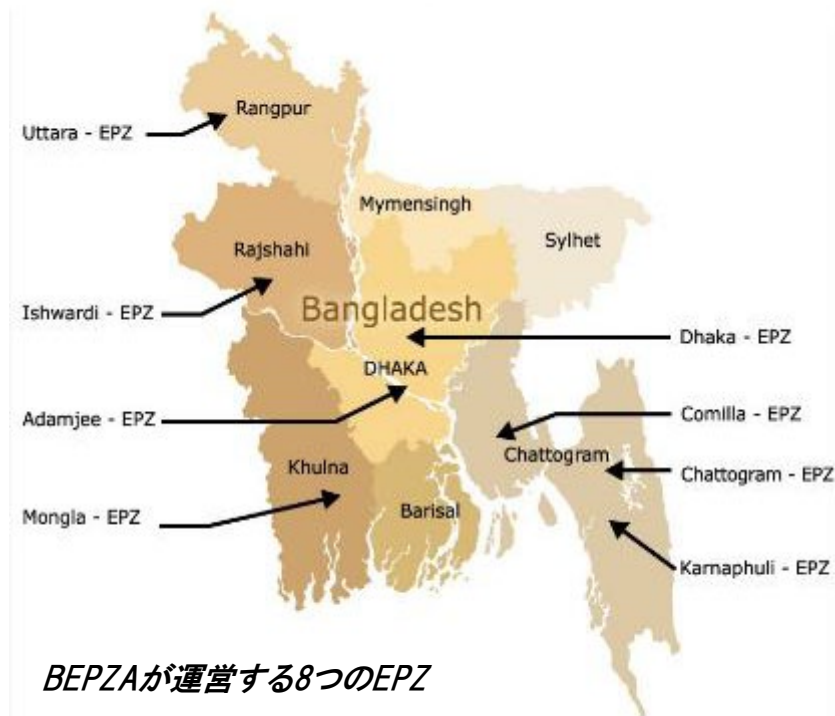


### 【主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率】

- Bangladeshの関税は、一部の品目を除き従価税で、本調査対象品目はいずれも従価税。課税基準は輸入者の提示したインボイス価格に基づいたドル建て評価
- 輸入関税には、 一般関税、調整税、補足税、付加価値税、前払い所得税、前払い税があり、それぞれHSコード別に設定
- 2022年に日本政府とBangladesh政府は「あり得べき日・Bangladesh経済連携協定(EPA)に関する共同研究」を立ち上げ、EPA締結のための交渉を開始することを提言
- 2023年11月現在、調査対象品を日本からBangladeshに米を輸出する際の関税率
  - 米:85%
  - 牛肉:89.3%
  - ぶどう:113.8%
  - 水産物(さば、いわし):89.32%

## [Bangladesh Government Investment Incentives]

- 法人税免除 - 所管官庁: Bangladesh Investment Development Authority (BIDA)。2020年7月から2025年6月に事業を開始する指定産業は、設立所在地により5年または10年の法人税の減税を享受可。減税率は年々減少。農業食品加工関連の指定業種: バイオテクノロジーを利用した農産品、Bangladesh産の野菜、果物の加工、Bangladesh産の果物や野菜の加工
- 経済特区(EZ) - 所管官庁: Bangladesh Economic Zone Authority (BEZA)。10年間の法人税、配当、株式譲渡益、ロイヤリティ、技術ノウハウ、技術援助料等、駐在員の所得に対する法人税などの免除をはじめとする様々な優遇措置を享受可
- ハイテクパーク - 所管官庁: Bangladesh Hi-Tech Park Authority (BHTPA)。2023年現在4つが稼働中。農業・食品加工関連で参入想定業種: バイオテクノロジーの研究開発製品など。ハイテクパーク内に設立した企業は、最初の7年間は100%の法人税減税、8~10年目は70%の法人税減税を享受可
- 輸出加工区(EPZ) - 所管官庁: Bangladesh Export Processing Zone Authority (BEPZA)。Bangladesh国内の原材料を使った安価な生産を強みとし、輸出用の製造品生産に特化している輸出加工区には30カ国以上が投資。2023年現在8つの輸出加工区が存在。輸出加工区では、地域により5年間もしくは7年間の法人税の減税、特定の材料及び資材に対する輸出入関税の免除をはじめとして様々な優遇措置を提供。





## [バングラ経済特区(BSEZ)における、食品加工業を中心とした投資の可能性]

- ダッカ近郊に進出する外国企業を支援するために、住友商事、バングラデシュ経済特区庁(BEZA)、国際協力機構(JICA)によって開発された経済特区の一つ
- 洪水対策のための運河や上下水施設、敷地内に設置予定の税関などの設備を提供することで、外国企業にとって魅力的な投資環境を整備
- バングラ経済特区をはじめとする投資優遇のもと、日本の食品加工業がバングラデシュに工場進出等することで、法人税をはじめとする各種減免、原材料の低コスト調達、日本と比べて低い人件費など様々なメリットを活用可能。バングラデシュ国内向け販売に加えて、海外向け販売では経済成長率の高い近隣諸国、ハラル対応が求められる中東や東南アジアのイスラム諸国への輸出が可能



## 流通構造

調査対象品目別調査・分析

- ・米
- ・牛肉
- ・ぶどう
- ・水産物（さば、いわし）

参入戦略提言まとめ

日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段

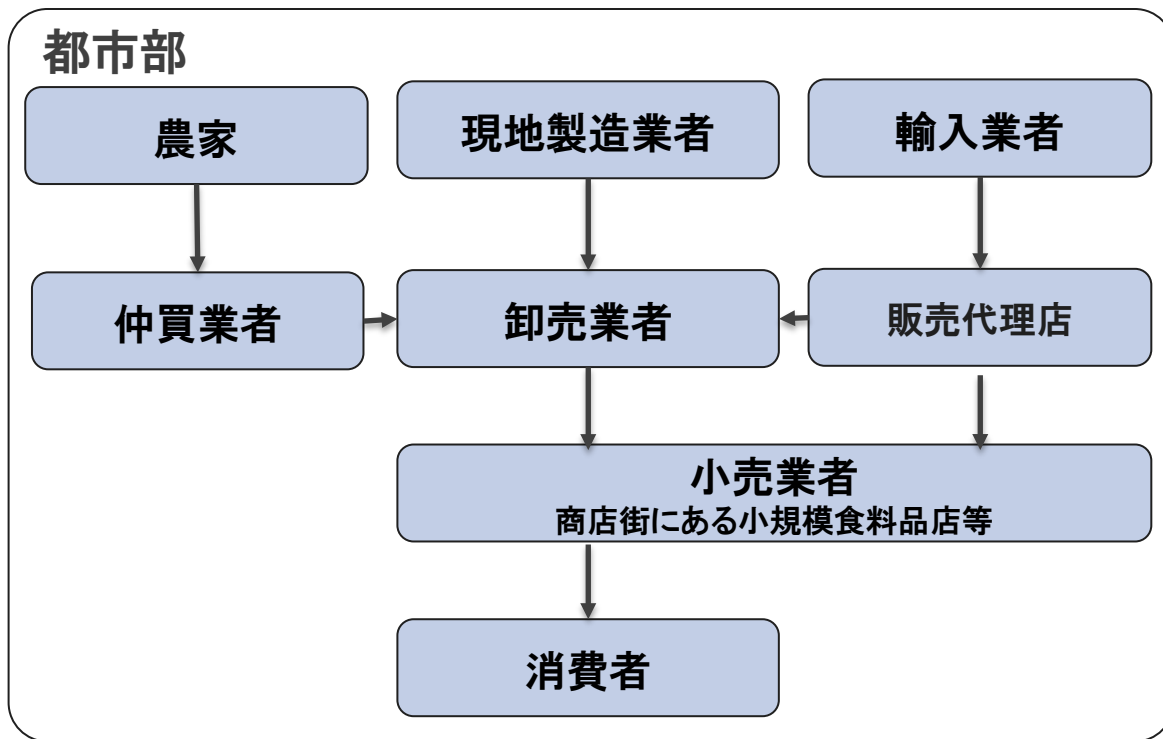
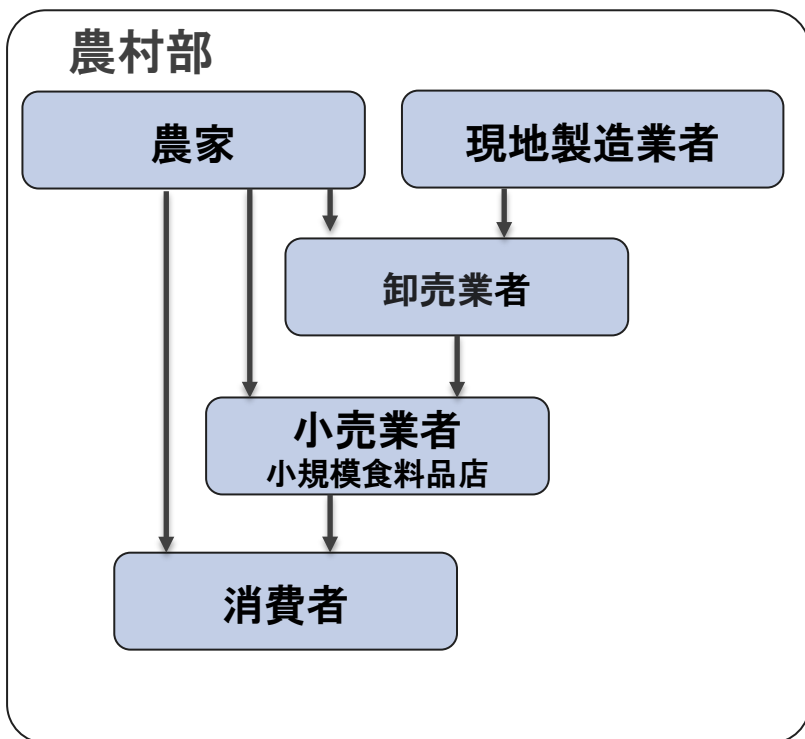
輸入品に係るハラール認証の実態

主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率

バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

# バングラデシュの農村部と都市部における流通構造

バングラデシュにおける都市部の食品流通は一般の先進国と同様の構造であるが、農村部では農家から直接小売業者や消費者に販売するケースも多いものとなっている。



# バングラデシュの小売店構成

小売店の種類	概要	2013 %	2023** %	立地	取扱商品	ターゲット消費者層
野外仮設店舗	バングラデシュで最も伝統的なタイプの野外の仮設小売店で、農村部にも都市部でも存在する。主に新鮮な野菜、果物、魚、半加工の自家製食品を販売している。	70	69	農村部と都市部	新鮮な野菜、果物、魚、半加工の自家製食品	低-中所得層
路面店	全国各地に存在する路面店で店舗面積は30~100平方フィート*程度。近隣地域からの輸入食品や加工品も扱っていることがあるが、メイン商品は国産品。			農村部と都市部	輸入食品はほとんどなく、ほとんどが国境隣接地域の製品や中国・インド産の低品質加工品	低-中所得層
市営市場	半都市部や都市部に位置するこれらの市場の店舗は、魚、肉、野菜、果物、食料品など、扱う商品の種類によって分類される。輸入食品や加工食品を扱っており、主にミドルクラス向け。	22	19	準都市部と都市部	輸入食品、加工食品	中所得層
コンビニ	通常、都市部の富裕層が集まる地域に多く見られ、ミドルクラスから富裕層、外国人をターゲットとしている。輸入食品や高品質な地場産品の主要な販売店である。	6	8	都心の富裕層向け地域	輸入食品と高品質の地元産品	アッパーミドル高所得層
スーパーマーケット	バングラデシュの小売業に最も最近加わったスーパーマーケットは全国で約200店舗が営業しており、そのうち約40店舗がダッカにある。バングラデシュのスーパーマーケットは主に食品を扱っている。	2	4	都心部	国内で生産される主要食品と加工食品、および輸入食品	中-高所得層

\* 1フィートは30.48センチ、\*\*Global Angleヒヤリング

出典: [USDA Foreign Agricultural Service 2015](#), Global Angle Local Research

市営市場



# バングラデシュにおける主なスーパーマーケット

	企業名	事業詳細	住所	連絡先
1	Unimart	<p>UNIMART LTD.は2013年に設立されたUnited Group(売上高1,580万USドル)の傘下企業で、小売と飲食の2つの主要部門を持つ国内小売・サービス企業である。</p> <p>カテゴリと店舗数: 主要3店舗を展開するプレミアム・スーパーとオンライン・ショップ</p> <p>所在地: Gulshan 1, Gulshan 2, Dhanmudiに3店舗、United Hospital LimitedとUnited International University (UIU)の敷地内に2店舗を展開。</p> <p>従業員と顧客数: 従業員960人、月間顧客数約20万人</p>	<p>United Group, Address: Gulshan Centre Point House# 23- 26, Road # 90- 91 Gulshan-2, Dhaka-1212.</p>	<p>電話番号: Gulshan-1 +8801958361811, Gulshan-2 +8801966550088, Dhanmondi +8801966880099, Wari +8801847413757, メール: help.unimart@gmail.com ウェブサイト https://www.unimart.online/</p>
2	Wholesale Club	<p>Wholesale Clubは、2019年10月に設立されたバングラデシュ唯一のハイパーマーケット(Jamuna Groupの姉妹会社)。Jamuna Groupは、繊維、化学、皮革、消費財、メディア、広告などの事業を展開するバングラデシュ最大級の産業コングロマリット。</p> <p>カテゴリと店舗数: 1 プレミアム・スーパー・ショップ</p> <p>総床面積: 1,70,000平方フィート以上</p> <p>従業員と顧客数: 従業員100人以上、月間顧客数70,000人以上</p> <p>小売形態と強み: バングラデシュ最大の小売店で、Walmart、Costco、Sam's Clubなどの世界的な小売店から直接仕入れた国際的な商品を扱っている。卸売リクラブのコンセプトはウォルマートと似ており、会員登録率も高く、既存の競合他社の中でもブランド価値の高いポジショニングを確立している。</p>	<p>Jamuna future park, level #Minus Two (-2), Ka-244, Progati Sarani, Kuril, Baridhara, Dhaka-1229.</p>	<p>電話番号: 09611996677 メール: info@Wholesaleclubltd.com ウェブサイト https://wholesaleclubltd.com/</p>
3	Agora	<p>2001年にRahimafrooz Superstores Ltd.によって設立されたバングラデシュの小売・スーパーマーケット企業であるが、スリランカのコングロマリットSoftlogicの小売部門によって買収された。</p> <p>店舗数: 合計23店舗。ダッカに20店舗、Sylhet- 2店舗、Chattagram- 1店舗。</p> <p>従業員と顧客数: 従業員数500人以上、月間顧客数15,000,000人</p> <p>小売形態と強み: ダッカではアッパーミドルクラスをターゲットとしたスーパーマーケットである。同社は食品安全管理システム(FSMS)を導入しており、品質管理システムについてはintertekからISO 9001:2015認証を取得している。</p>	<p>Rahimafrooz Superstores Ltd. Arzed Chamber, 13 Mohakhali C/A Dhaka 1212, Bangladesh</p>	<p>電話番号: +88 02 88516234, 9880316, 8818690, 9888441 メール: info@agorabd.com ウェブサイト: www.agorabd.com</p>

# バングラデシュにおける主なスーパーマーケット

	企業名	事業詳細	住所	連絡先
4	Shwapno	<p>Shwapnoは、ACI Limitedの子会社であるACI Logistics Limitedが所有するバングラデシュのスーパーマーケットチェーンで、2008年に設立された。バングラデシュ最大のスーパーマーケット・チェーンであり、バングラデシュのスーパー・ショップ部門で最大の店舗数と44%の市場シェアを持つ。Advanced Chemical Industries社(通称ACI)は、1973年に設立されたバングラデシュの医薬品・化学品コングロマリット企業である。</p> <p>カテゴリと店舗数 バングラデシュ全土に360以上の店舗を展開 顧客数: 毎日4万人以上</p> <p>小売形態と強み: 2016年、ShwapnoはKantar Millward BrownとBangladesh Brand Forumの共同受賞により、バングラデシュのベスト・リテール・ブランドに認定された。農家と直接提携することで、Shwapnoは食品を顧客に届ける方法を変えている。Shwapnoの主なターゲットはバングラデシュの中産階級で、店舗はUnimartのようなエリート小売ブランドに比べるとはるかに小さい。2016年、ShwapnoはGlobal G.A.PIに加盟した。Global G.A.PIは、世界中の安全で持続可能な農業を確保するという重要な目標に取り組む主要な民間セクター団体。また、何千ものサプライヤーや生産者とのパートナーシップにより、すべてのステークホルダーにとって適正な価格と包括的な成長を実現している。</p>	ACI Logistics Limited Novo Tower, Level - 8 270, Tejgaon Industrial Area, Dhaka 1208, Bangladesh	<p>電話番号: +88 02 8870983-7, Ext: 170</p> <p>メール: wcmostafiz@acilogistics.net</p> <p>ウェブサイト: www.shwapno.com/</p>
5	Meena Bazar	<p>Meena Bazarは、家族経営のコングロマリットGemcon Groupが所有するバングラデシュ最大級の小売チェーンで、1979年に設立された。Gemcon Food &amp; Agricultural Products LimitedがMeena Bazaarを運営している。</p> <p>カテゴリと店舗数: 26店舗 所在地: ダッカに25店舗、チッタゴンに1店舗 従業員と顧客数: 従業員500人以上、顧客数一日15,000人以上</p> <p>小売形態と強み: Meena Bazarは、中間所得層をターゲットに、手頃な価格で様々な商品を提供することを目的としたスーパースタアのコンセプトである。90分の宅配サービス、キャッシュレス決済、配達を提供している。Meena Bazarの実店舗は、Meena Bazarオンラインの配送拠点である。これはユニークな販売提案であり、ブランドの差別化ポイントでもある。Meena Bazarオンラインは、食料品だけでなく、書籍、電化製品、家電製品、ファッション小物など、多くの商品を取り揃えている。</p>	House 44, Road 16 (old 27), Dhanmondi Dhaka-1209, Bangladesh	<p>電話番号: +88 02 8152039, +88 02 9139860, +88 01841 884884</p> <p>メール: customerservice@meenabazar.com.bd</p> <p>ウェブサイト: www.meenabazar.com.bd</p>

流通構造

調査対象品目別調査・分析

・米

・牛肉

・ぶどう

・水産物（さば、いわし）

参入戦略提言まとめ

日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段

輸入品に係るハラール認証の実態

主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率

バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

## 米の国内生産のシーズン動向

バングラデシュの稲作は3期作で、BoroとAmanの季節の生産量が多い。

Ausの季節における収穫量は他の2シーズンに比べて生産量が少なく、生産量は降雨量に大きく依存しており、一部の地域では降雨量の減少や熱波による生産量の減少の問題に直面している。

## バングラデシュにおける米の季節別生産量

Marketing Year	MY* 2021/22		MY *2022/23 (予測)		MY *2023/24 (予測)		年平均成長率(CAGR**) MY 2021/22～MY2023/24	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
単位 (Hectares / Metric Tons)	1,000 HA	1,000 MT	1,000 HA	1,000 MT	1,000 HA	1,000 MT	1,000 HA	1,000 MT
Boro (Winter)	4,700	19,350	4,800	19,700	4,850	20,000	1.6%	1.7%
Aus (Pre-Monsoon)	1,120	2,700	900	2,050	1,050	2,400	-3.2%	-5.7%
Aman (Monsoon)	5,800	13,800	5,900	14,600	5,750	14,000	-0.4%	0.7%
合計	11,620	35,850	11,600	36,350	11,650	36,400	0.1%	0.8%

\* MY:Major Year(12月から翌年11月)

\*\* CAGR:年平均成長率(Compound Annual Growth Rate)

## バングラデシュにおける稲の3シーズンの作付けと収穫時期 (MY2022/2023の例)

季節	植え付け期間	収穫時期
Boro Season(Winter)	12月 2022 - 1月 2023	4月 - 5月 2023
Aus Season (Pre-Monsoon)	3月 - 4月 2023	7月 - 8月 2023
Aman Season(Monsoon)	8月 - 9月 2023	11月 - 12月 2023

出典: [USDA August 2023](#), [Bangladesh Investment Development Authority](#)



# バングラデシュの10年間の米生産動向

米の生産量は、過去5年間(MY2018/2019～2023/2024)でCAGR0.8%、過去10年間(MY2013/2014～2023/2024)でCAGR0.6%で横ばい。収穫面積も過去5年間でCAGRマイナス0.1%と横ばいとなっている。

Major Year* (12月から翌年11月)	収穫面積 (1000 Ha)	収穫量 (1000 トン)	ヘクタール当たり の収穫量 (トン/ヘクタール)
2013/2014	11,750	34,390	2.9
2014/2015	11,790	34,500	2.9
2015/2016	11,765	34,500	2.9
2016/2017	11,748	34,578	2.9
2017/2018	11,272	32,650	2.9
2018/2019	11,770	34,909	3.0
2019/2020	11,830	35,850	3.0
2020/2021	11,500	34,600	3.0
2021/2022	11,620	35,850	3.1
2022/2023	11,600	36,350	3.1
2023/2024	11,650	36,400	3.1
<b>過去5年* の平均</b>	<b>11,664</b>	<b>35,512</b>	<b>3.0</b>
<b>過去5年* のCAGR (%)</b>	<b>-0.1%</b>	<b>0.8%</b>	<b>-</b>

CAGR:年平均成長率  
(Compound Annual Growth Rate)

\*MY:Major Year  
(12月から翌年11月)

出典: [USDA PS&D Online](#)  
updated on November 9, 2023

# 米の国別輸入量

バングラデシュの米の輸入国上位国はインド、ミャンマー、タイで、インド産米の寡占状態にある。タイ産米は人気が高かったが、2018年以降はミャンマー産米がタイよりも多く輸入されている。

ミャンマー産米は価格が安く、市場において近年人気が出ている。

## バングラデシュへの米の輸入(金額ベース)(単位:千米ドル)

輸出国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	市場シェア 2022	5-Year CAGR
インド	384,379	335,499	26,672	17,669	934,230	256,990	71.9%	-7.7%
ミャンマー	77,857	29,583	1,498	-	44,162	57,336	16.0%	-5.9%
タイ	208,814	29,666	103	14	63	37,430	10.5%	-29.1%
その他	125,782	22,983	6,595	4,923	36,938	5,673	1.6%	-46.2%
合計	796,832	417,731	34,868	22,606	1,015,393	357,429	100.0%	-14.8%

\*日本産米の輸入実績はなし

## バングラデシュへの米の輸入(重量ベース)(単位:Tons)

輸出国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	市場シェア 2022	5-Year CAGR
インド	947,323	829,860	41,427	17,381	2,483,279	656,719	73.9%	-7.1%
ミャンマー	236,838	76,584	5,118	-	105,221	147,370	16.6%	-9.1%
タイ	550,119	75,886	88	14	49	82,150	9.2%	-31.6%
その他	292,977	32,879	8,442	4,313	2,446	1,988	0.2%	-63.2%
合計	2,027,257	1,015,209	55,075	21,708	2,590,995	888,227	100.0%	-15.2%

バングラデシュ政府による米のバッファーストックを維持する政策

バングラデシュ政府は食料安全保障を確保するため、米のバッファーストックを維持する政策をとっている。








- ・2021年、政府の米のバッファーストックは低水準にあり、政府は在庫を補充するために輸入を増やすことを決定した。

- ・このように米の輸入金額や輸入量は年によって大きく変動する。

# バングラデシュで販売されている国内産の米の状況

バングラデシュでは、長粒米に加えて、日本と同様の短粒米も栽培されている。

バングラデシュで販売されている国内産の米の状況

種類	短粒米	長粒米	短粒米	長粒米	短粒米	長粒米	短粒米
ブランド名	Paiyam	Miniket	Najir Shail	Balam	Tulsi Mala	Katarbi Bhog	Chinugura
1キログラム当たりの価格	~60 Taka (79円)	~70 Taka (92円)	~70 Taka (92円)	~82 Taka (108円)	~82 Taka (108円)	~120 Taka (158円)	~170 Taka (224円)
写真							
概要	デザートによく使われる香りが豊かな短粒米	香ばしい香りと繊細な味わいで知られる長粒米	栄養価の高さで知られるバングラデシュの伝統的な短粒米	もちもちとした食感と甘い風味で知られる長粒米	デザートによく使われる香りの豊かな短粒米	繊細な味と香りで知られる長粒米	もちもちとした食感と甘い風味で知られる短粒米

注：1Taka = 1.32円で換算

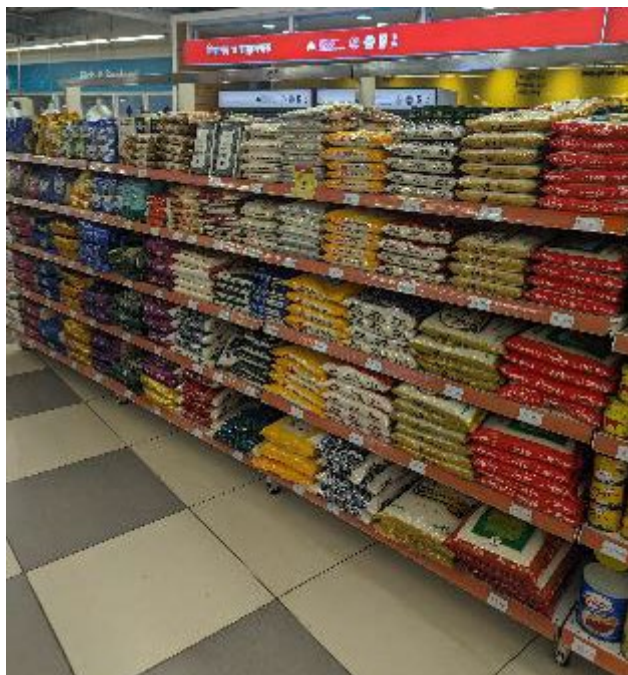
出典：GLOBAL ANGLE Local Research

# バングラデシュで販売されている国内産の米の状況 - Unimart

Unimartでは地元産米と輸入米の両方を販売している。地元産の米としては、チニグラ、カリギラ、バスマティ米が売られており、チニグラ米が最も多く店頭に並んでいる。

- ・ Unimartでは日本産米は販売されていなかった。

## 店舗写真



## 写真

### バングラデシュ産



### バングラデシュ産



### バングラデシュ産



原産国

バングラデシュ

バングラデシュ

バングラデシュ

種類

チニグラ

カリギラ

バスマティ

価格/kg

170-180 Taka

180 Taka

390-400 Taka

# Bangladesh で販売されている国内産の米の状況 - Agora

Agoraは地元産の米と輸入米の両方を売っている。しかし、地元産の米の方が多い。地元産米の多くはチニグラ米であった。

## 店舗写真



## Bangladesh 産

## Bangladesh 産

## Bangladesh 産

### 写真



### 原産国

Bangladesh

Bangladesh

Bangladesh

### 種類

チニグラ

カリジラ

バスマティ

### 価格/kg

160-175 Taka

140 Taka

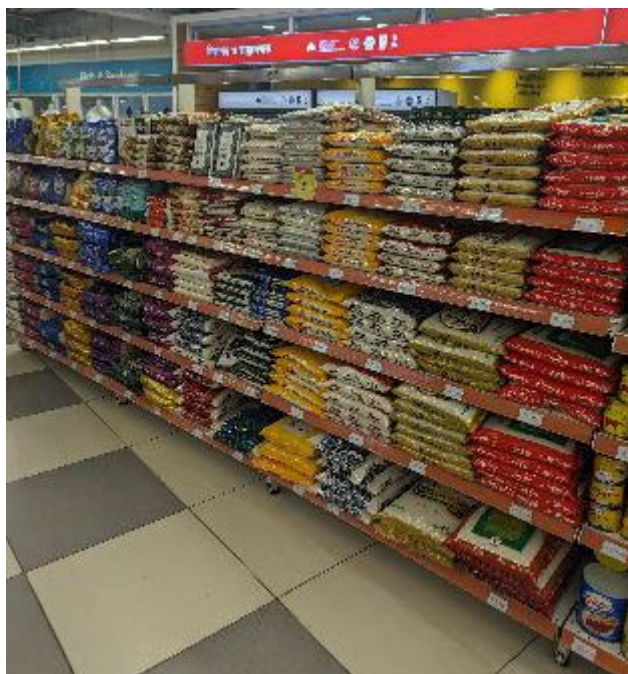
N/A

# バングラデシュのスーパーマーケットで購入可能な輸入米 - Unimart

Unimartでは、輸入米のほとんどはインド産である。バスマティ米の種類は以下の通り。

- ・ Unimartでは日本産米は販売されていなかった。

## 店舗写真



## 写真



	インド産	インド産	インド産
原産国	インド	インド	インド
種類	ビリヤニ用*バスマティ	超長粒バスマティ	バスマティ
価格/kg	390-522 Taka	505-510 Taka	524 Taka

\*米と肉や魚などの具材を、スパイスを効かせたカレーソースで炊き込んだ料理

# バングラデシュのスーパーマーケットで購入可能な輸入米 - Unimart

Unimartはパキスタン産バスマティ米も販売している。

## 店舗写真



## パキスタン産

## パキスタン産

写真



原産国

パキスタン

パキスタン

種類

バスマティ

超長粒バスマティ

価格/kg

510 Taka

525 Taka

# バングラデシュのスーパーマーケットで購入可能な輸入米 - Unimart

Unimartはイギリス産のバスマティ米も販売している。Unimartの輸入米のほとんどはバスマティ米である。またイタリア産のリゾット用アルボリオ米も扱っていて、Unimartで最も高価な米である。

## 店舗写真



## 写真

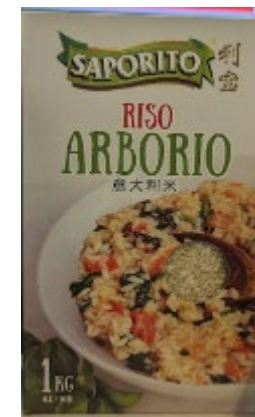
### イギリス産



### イギリス産



### イタリア産



## 原産国

イギリス

イギリス

イタリア

## 種類

バスマティ

ブラウンバスマティ

アルボリオ

## 価格/kg

495 Taka

565 Taka

1,060 Taka



# バングラデシュのスーパーマーケットで購入可能な輸入米 - Wholesale Club

Wholesale Clubは国産米と輸入米の両方を扱っている。しかし、パキスタン産など輸入米の方が国産米よりも種類が多い。

・ Wholesale Clubでは日本産米は販売されていなかった。

## 店舗写真



## パキスタン産

写真



## パキスタン産



## パキスタン産



原産国

パキスタン

パキスタン

パキスタン

種類

バスマティ

バスマティ

超長粒バスマティ

価格/kg

440-510 Taka

510-520 Taka

525 Taka

# バングラデシュのスーパーマーケットで購入可能な輸入米 - Wholesale Club

Wholesale Clubでは、インドから輸入した様々なバスマティ米も販売している。

## 店舗写真



## 写真

## インド産



## 原産国

インド

## 種類

ブラウンバスマティ

## 価格/kg

640 Taka

## インド産



## 原産国

インド

ビリヤニバスマティ

390-522 Taka

## インド産



## 原産国

インド

超長粒バスマティ

505 Taka

# バングラデシュのスーパーマーケットで購入可能な輸入米 - Wholesale Club

Wholesale Clubでは、ベトナム産の寿司用コシヒカリやベトナム産もち米も販売している。これらは輸入バスマティ米より安価で売られている。

## 店舗写真



## 写真



## インド産

## ベトナム産

## ベトナム産

原産国

インド

ベトナム

ベトナム

種類

バスマティ

コシヒカリ(寿司用)

もち米

価格/kg

424-525 Taka

250 Taka

250 Taka

# バングラデシュのスーパーマーケットで購入可能な輸入米 - Wholesale Club

Wholesale Clubでは、タイ産のジャスミン米やもち米も販売している。これらは輸入バスマティ米より安価で売られている。

## 店舗写真



## タイ産

### 写真



## タイ産



原産国

タイ

タイ

種類

もち米

ジャスミン

価格/kg

N/A

250 Taka

# バングラデシュのスーパーマーケットで購入可能な輸入米 - Agora

Agoraでは、インドとパキスタンの両方から輸入したバスマティ米を販売しているが、パキスタン産の方がやや高価である。

・ Agoraでは日本産米は販売されていなかった。

## 店舗写真



写真

インド産



インド産



パキスタン産



原産国

インド

インド

パキスタン

種類

ビリヤニバスマティ

超長粒バスマティ

バスマティ

価格/kg

390-522 Taka

505 Taka

510 Taka

# バングラデシュのスーパーマーケットで購入可能な輸入米 - Agora

Agoraはイギリスからの輸入バスマティ米も販売しているが、これはバスマティ米の輸入国の中では、高価である。

## 店舗写真



## パキスタン産

## イギリス産

## イギリス産

### 写真



### 原産国

パキスタン

イギリス

イギリス

### 種類

超長粒バスマティ

バスマティ

超長粒バスマティ

### 価格/kg

525 Taka








525 Taka

N/A

# Bangladesh のオンライン・マーケットで販売されている輸入米

Bangladesh の主要なオンライン・マーケットで購入できるブランド米は、ほとんどが輸入品であり、主に輸入されている国は、輸入米の中では安価な長粒米のインド産とパキスタン産のバスマティ米であった。

・AgoraとDaraz、Unimartは、 Bangladesh を代表する小売店およびオンラインショップで、生鮮食品、食肉、シーフード、乳製品、食料品、日用品など幅広い商品を取り扱っている。

店舗名	Daraz	Unimart	Agora	Unimart	Agora	Agora	Agora
ブランド	Jazaa By Junaid Jamshed	Fortune	Maimuna	Kohinoor	Mehran	Daawat	Daawat
品種名	Basmati Rice	Pure Basmati Rice	1121 XL Basmati Rice	Extra Long Basmati Rice	Mehran Bashmati kernel Rice	Biryani Basmati Rice	Biryani Basmati Rice
米の長さ	長粒米	長粒米	長粒米	長粒米	長粒米	長粒米	長粒米
原産国	パキスタン	インド	インド	インド	パキスタン	インド	インド
1kgあたりの価格(Taka)	270-390	390	414	505	510	522	522
ディストリビューター	NA	Bangladesh Edible Oil Limited	S.Alam Trading Center	S.Alam Trading Center	Tawakkal Enterprise PVT Ltd.	S.Alam Trading Center	S.Alam Trading Center
写真							

Bangladesh の主要オンラインマーケットには、日本産米は販売されていなかった。

# 現地の短粒米の食べ方とレシピ

	Beef Vuna Khichuri	Phenaa Bhaat
料理の概要	牛肉、レンズ豆、スパイスを使ったボリューム感のある風味豊かな米料理で、ヨーグルトなどを添えて食べるが多い。	香り豊かな短粒米で作るバングラデシュのお粥。
材料	<p>ビーフ 短粒米 ムングダール スライスオニオン ジンジャーペースト オニオンペースト ターメリックパウダー チリパウダー コリアンダーパウダー ローストクミンパウダー メース グリーンチリ カルダモン マサラ</p> 	<p>短粒米 マスールダール ジャガイモ パパイヤ 人参 かぶ オクラ しょうが 青唐辛子 マスタードオイル ゆで卵または目玉焼き</p> 
調理方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ムングダールをとろ火でカリカリになるまで炒める。</li> <li>2) 洗って15分以上水に浸し、水を切る。</li> <li>3) 米を15分間浸し、洗って濾す。</li> <li>4) 肉をクミンパウダー以外のすべてのスパイスで30分以上マリネする。</li> <li>5) スライスした玉ねぎを黄金色になるまで炒める。</li> <li>6) マリネした牛肉とローリエを加え、油が出るまで炒める。</li> <li>7) 水を加え、肉が柔らかくなるまで煮る。</li> <li>8) 米、レンズ豆、水を入れて10分ほど煮る。</li> <li>9) 炒めたクミンパウダーと炒めた玉ねぎを加え、弱火で15分煮る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 米とマスールダールを洗い圧力鍋に約6倍の水と米、マスールダール、刻んだ野菜を入れて圧力が自然に抜けるまで加熱する。</li> <li>2) 圧が抜けたら塩と青唐辛子を入れる。</li> <li>3) 蓋を開けたまま圧力鍋を火にかけさらに10-15分煮る。</li> <li>4) 別のフライパンで炒めたマスタードオイル、青唐辛子、しょうがと一緒に盛り付ける。</li> </ol>
食べ方	グレイビーソース、肉、カレー、サラダと一緒に食べる	ギー(牛やヤギの乳から作られる澄ましバター)と一緒に食べられる事が多い。



# バングラデシュにおいて購入した日本種米

日本米はなかなか手に入らなかったため、ベトナム産の日本種米をバングラデシュの小売店で購入した。2kgのみ販売されていた。

Lotus Riceは欧米など世界55か国に米を輸出しているベトナム企業



この米は2kg入りで490 Taka (647円)  
この価格は地元の米より3倍の値段

コシヒカリの表示  
・おそらくコシヒカリの  
の粳を使ってベトナムで生産



鍋での炊き方

ベトナム産

注：1Taka = 1.32円で換算

出典：GLOBAL ANGLE Local Research, Lotus Rice

## 日本米の調理方法

バングラデシュの現地調査員が、インターネットで確認しながら説明書通りに日本米を炊いた。

### バングラデシュ人による日本米の調理方法

1. カップのお米を取る。
2. お米を4～5回、澄んだ水になるまで洗う。
3. お米を30分ほど水につける。
4. 好みに塩を混ぜ、白酢を混ぜる
5. 水1.25カップで20分炊く。
6. お好みにチリソースやトマトソースなどをかけて食べる。



# バングラデシュで作ることができる日本米を使った料理

日本米があったらどのように食べるかをバングラデシュの人々に尋ねると、魚や鶏肉、野菜と一緒に寿司にして食べたいと答えた。また、地元の郷土料理や甘い料理にも合うという人もいた。

Sushi with Fish	Sushi with Chilli Chicken	Vegetable Sushi	Hochpoch (Savoury)
			
Rice based Sweets	Payesh (Sweet)	Cake (Salty)	Soup
			

# バングラデシュ人による日本種米試食レポート

## 日本米に対するフィードバック

バングラデシュ人リサーチャーである回答者は、チリを調味料として日本米料理を作り、食感として口に合うとの感想が多かった。しかし、全ての回答者が日本米は価格が高すぎるとコメント。

バングラデシュ人リサーチャー回答者	味に関するフィードバック	主菜に添える副菜やソース	価格 220Taka (290円) (1kgあたり)	その他のコメント
1	甘くてねっとりしすぎているが、エビフライと一緒に食べたい。	にんじんときゅうりのサラダにチリとトマトソース添え	kgあたり220Taka(290円)と価格が高すぎる。通常の米の価格は1kgあたり75Taka(99円です)	記載なし
2	また食べたい。	海老入り、チリソース。	価格が高すぎる。	入手困難
3	おいしい	チリチキン&サラダ	価格は通常の範囲外だ。	誰もが調理法や食べ方を知っているわけではない。
4	生後15ヶ月の赤ちゃんに、このご飯で何か料理を作ってあげられたらと思う!	ミルクとバナナ	価格が高すぎる。	最寄りのショッピングモールで買えたら良い。
5	記載なし	ソーセージとマヨネーズ	今使っている米の2倍の値段は価格が高すぎる。	雪のように白い米

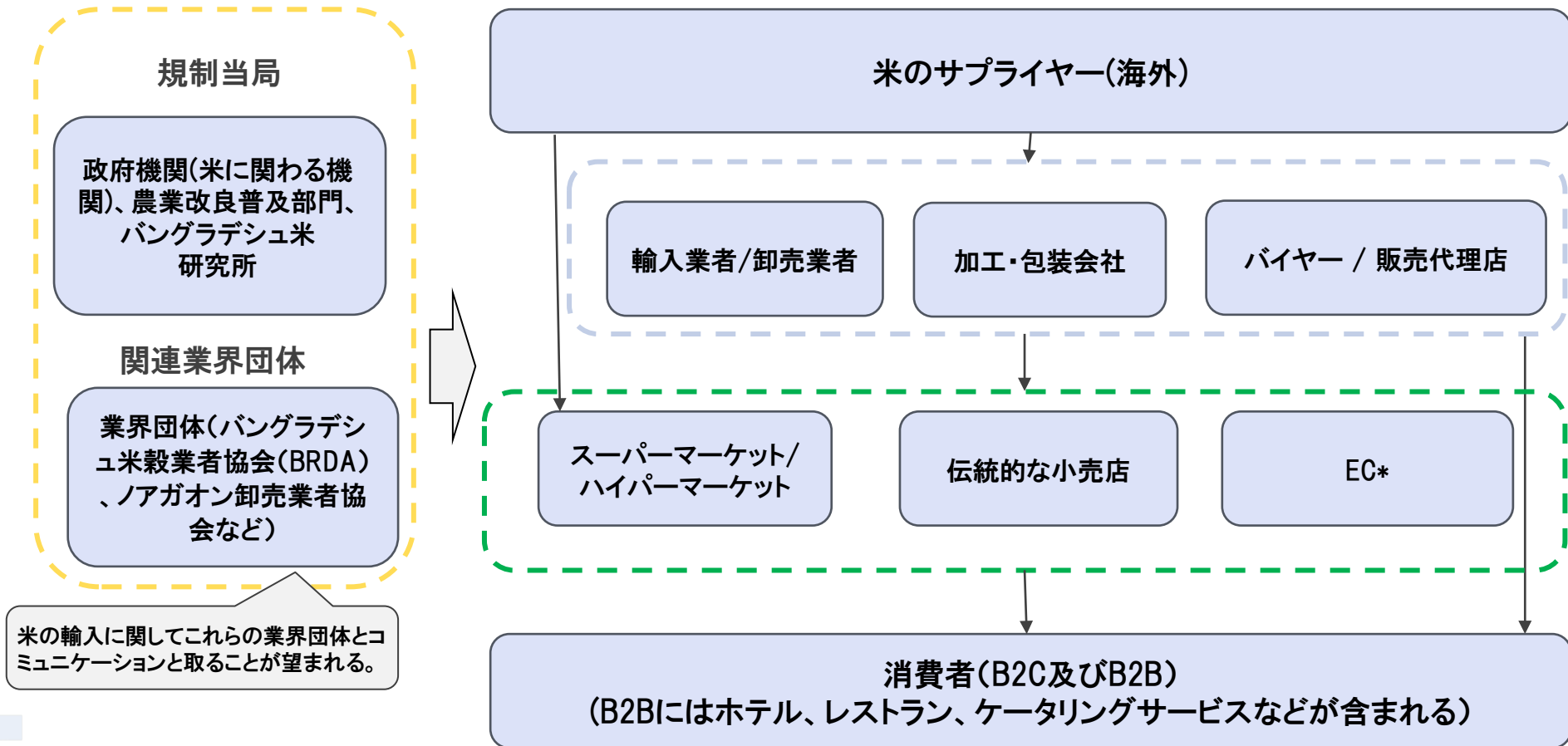
日本米の食感としてはバングラデシュ人の口に合う模様

チリを調味料として食した人が多い。

# ダッカにおける輸入米の流通構造

バングラデシュでは、米販売は実店舗が依然として最も一般的なチャネルである。これは、農村部の人口が多いことや、対面で買い物をする文化的嗜好など、多くの要因によるものである。輸入米は伝統的な小売店、食料品店、スーパーマーケットで販売され、地元産米は精米所で直接販売される。

米のオンライン販売はバングラデシュでは比較的新しいトレンドだが、特にダッカでは Unimart, Agora, Chaldal, Shwapno といった米を販売するオンラインプラットフォームが急速に成長している。



## ダッカにおける輸入米の主な流通業者

No	企業名	主要拠点	輸入製品	輸入元国	連絡先
1	Mansha Stores	チッタゴン	長粒米白米 チニグラ米	インド	Mr. Omar Azam +88 01819 311915 +88 31 620370
2	Masud & Brothers	チッタゴン	米全般	インド	Mr. Abdur Rahman Khan +88 01711 720170 unitrade@bsmgroupbd.com
3	Hajee Mir Ahmed Sawdagor	チッタゴン	米全般	インド ミャンマー ベトナム	Mr. Alhaz Abdus Salam +88 01711 760397 mirahmed234@yahoo.com
4	N/S Group M/S Alam & Brothers	チッタゴン	長粒米、短粒米	インド ミャンマー ベトナム	Mr. Md. Enamul Haque +88 01819 310 864 nsgroupbd@yahoo.com
5	Tasho Enterprise	ダッカ	バスマティ米とジャスミン米	パキスタン タイ	Mr. Salimul Haque Essa +88 01711 520705 tashoent@gmail.com
6	Q.A. Trade International	ダッカ	ジャスミン米	タイ	Mr. Salauddin Ahmed +88 01711 523287 qati@bol-online.com
7	S.Alam Trading Center	ダッカ	バスマティ米	インド	01613040668 02223363958
8	Bangladesh Edible Oil Limited	ダッカ	バスマティ米	インド	+880-2-58815319

# 日本産米のバングラ市場への輸出条件や流通拡大の可能性

バングラデシュの高所得者層向けに日本米を使った料理レシピを啓もうするとともに、高所得者層・日本食レストラン等に流通させることができる現地流通業者と協業することが重要である。

**バングラデシュ人に日本米を使った料理レシピを啓もうすることが重要**

日本米を使っていろいろなバングラデシュ料理を作ることができそう。

多くのバングラデシュ料理は、地元のお米よりも日本米を使った方が美味しくなる可能性がある。

また、炊き方も簡単でそれぞれの好みに合わせた調理方法ができる。

## 想定される主な販売ターゲット

主に高所得者層で、中低所得者層はターゲット外となりそう

・高所得者層の年収— 13,68,010 Taka (180万6千円) 以上

・アッパーミドル層— 4,42,553 Taka (58万4千円) から 13,67,901 Taka (180万6千円)

**高所得者層・日本食レストラン等に流通させることができる現地流通業者と協業することが重要**

現状でもオンラインまたは一部のスーパーマーケット店舗で購入可能

・ネット通販: DarazやEnedao

[www.daraz.com.bd](http://www.daraz.com.bd)

[www.enedao.com.bd](http://www.enedao.com.bd)

・店舗: Unimart Gulshan 2,

<https://unimart.online/>

(House No. 23, Gulshan Centre Point, 26 Rd 90, Dhaka 1212)

注: 1Taka=1.32円で換算

出典: [World Bank](http://World Bank)、GLOBAL ANGLE Local Research

## 日本産米を Bangladesh のオンライン市場に流通させるためにとりえるアプローチ

### ECコマース・プラットフォームとの連携

- ・Chaldal.com、daraz.com.bd、shwapno.com、unimart.onlineのような大手eコマース・プラットフォームの主要ステークホルダーとのミーティングを設ける。日本米のユニークな特質を強調し、市場で入手可能な他の品種と比べて優れていることを強調する。

### 高品質訴求による差異化

- ・日本米のユニークな特徴と優れた品質を強調し、インドのバスマティ米を含む他の高価な品種との差異化を図る。これは、品質へこだわりが強い顧客、高級志向な顧客を惹きつける重要なセールスポイントになりうる。

### 小売店／オンラインショップでのオンライン顧客向け試食会

- ・オンライン顧客向けの試食会やバーチャル体験の企画を検討する。この機会により、消費者は日本産米の独特のうま味と品質を体験することができ、関心と購買を促進できる可能性がある。

### オンライン限定プロモーション

- ・競争の激しいオンライン市場で顧客を引き付け、売上を維持するために、オンライン限定のプロモーション、割引、セット商品などを提供する。



# 日本からの米の輸出に関する課題と潜在機会・戦略

日本から Bangladesh への米の輸出に関する課題は様々あるものの、Bangladesh 国内生産が不作の際や、富裕層向けなどの参入機会はあるものと考えられる。

項目	課題	潜在機会・戦略
<p>頻繁な米の輸入関税の変動</p>	<p>Bangladesh 政府は国内の生産状況が良くなると米の関税率を大幅に引き上げたり、生産状況が悪くなると米の関税率を大幅に引き下げたりと、頻繁に改正するため、国内販売価格が大きく変化する可能性がある。輸入規制に関しては Bangladesh における外貨準備高確保も影響しているものと想定される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 Bangla の政府間交渉において、日本産牛肉は一般国民向けではなく、富裕層や高級ホテル・レストランの日本食向けであることを訴求して、高率関税の対象としないよう Bangla 政府に働きかける。</li> <li>・米の価格の変動により購買力があまり左右されない高所得者や、価格に関わらず日本米を必要としている日本食レストランやレストラン等を安定した顧客ターゲットとして訴求していく必要がある。</li> <li>・Bangladesh 国内生産が不作の際に、日本米の輸入促進を図る。</li> </ul>
<p>政府による低所得者向けの補助価格販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度: Bangladesh 食糧貿易公社(TCB)総局が90万トンのインド産米を輸入し、低所得者向けに補助価格で販売。</li> <li>・2023年度: 政府は、FFP(Food Friendly Programme)からの補助金を削減するため、受益者に提供する米の量を3分の2に削減する選択肢を検討している。</li> <li>・補助金の削除を考慮してもなお、低価格の地元産米やインド産米が多くを占める市場で、日本産の日本米は価格競争力に乏しい。</li> </ul>	<p>より裕福な消費者、本格的な日本料理を求める外国人や日本人コミュニティ、高級ホテル・レストランをターゲットとした訴求をする。</p>
<p>Bangladesh で広く食べられている米の種類</p>	<p>Bangladesh では、基本的には国産米が食されており、食習慣的に消費する米の種類を変えることは容易ではない。</p>	<p>一部の富裕層がお祝い事などの特別な機会に日本食で食べる米として知名度を上げ、より多くの人々が日本米に興味を持つよう啓もう活動をする必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的に日本産米は価格が高いという認識はあるものの Bangla 人による試食の感想によると日本米は美味との事であった。</li> <li>・現地で販売されているベトナムやタイ産の日本種米よりも高品質な日本産米を提供できるため、日本産を全面に訴求していくことが重要。</li> </ul>
<p>業界団体の影響力</p>	<p>Bangladesh 米穀業者協会(BRDA)、ノアガオン卸売業者協会などが業界団体として存在している。</p>	<p>輸出の際の協業企業を検討する際に、Bangladesh 米穀業者協会(BRDA)、ノアガオン卸売業者協会などの会員である企業を選定することで、すでに輸入実績のある企業とスムーズな取引ができるかと期待できる。</p>

## 流通構造

調査対象品目別調査・分析

・米

・**牛肉**

・ぶどう

・水産物（さば、いわし）

参入戦略提言まとめ

日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段

輸入品に係るハラール認証の実態

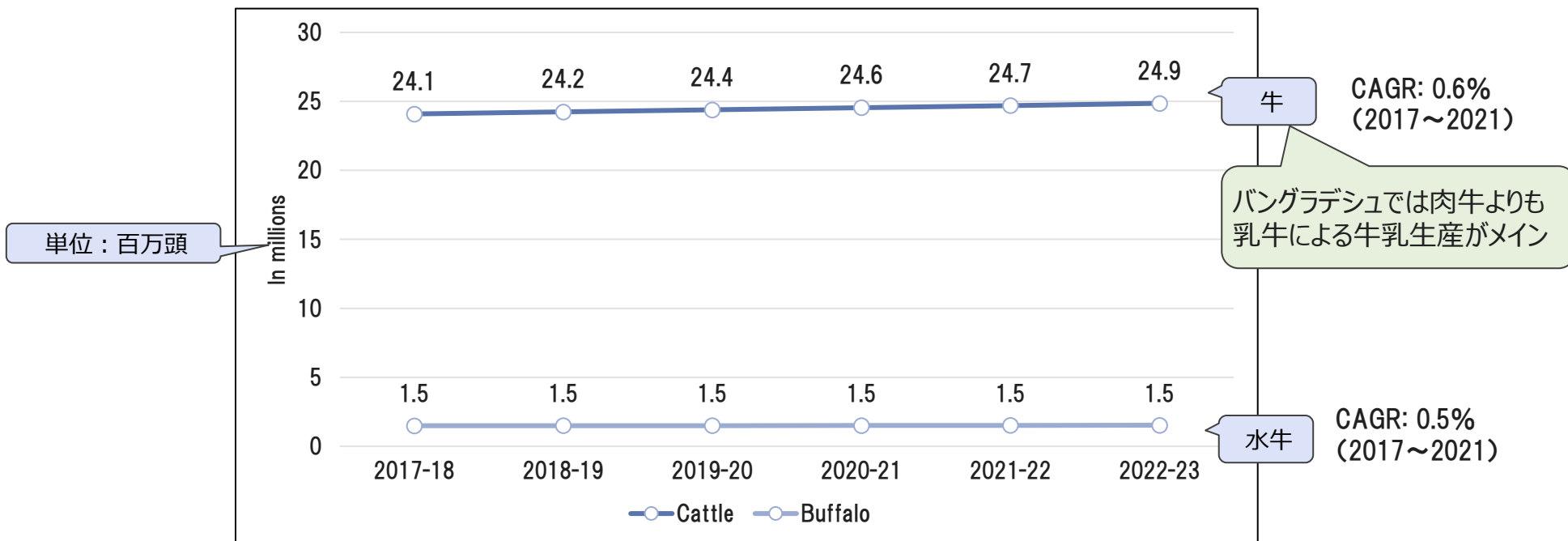
主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率

バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

# Bangladeshにおける牛と水牛の飼育頭数

Bangladeshにおける家畜の飼育頭数は、水牛の飼育頭数に比べ、牛の飼育頭数の方が16.6倍とはるかに多い。牛の飼育頭数は2017-18年の2,410万頭から2,490万頭に若干増加したが、水牛の飼育頭数は過去5年間で150万頭とほぼ一定である。 Bangladeshでは牛も水牛も食肉として食べられている。

## Bangladeshの牛と水牛の飼育頭数



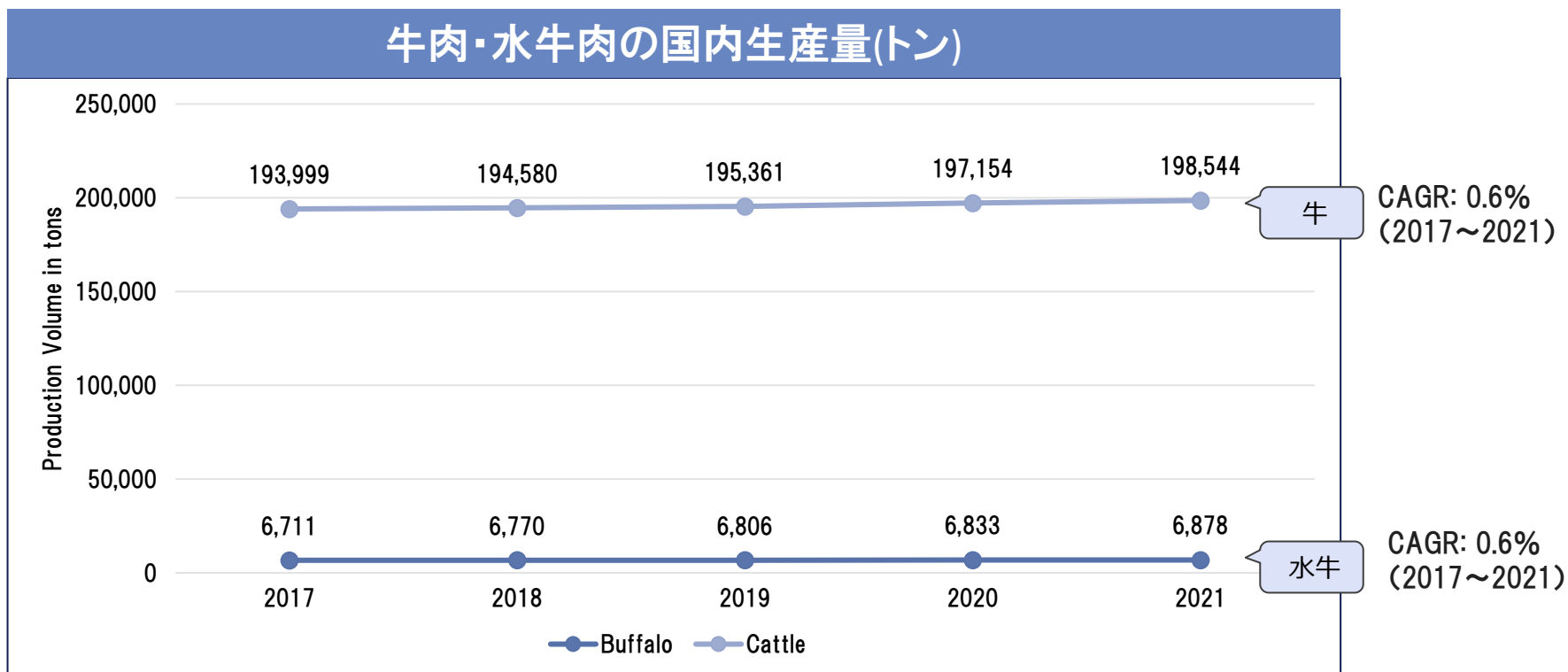
CAGR:年平均成長率(Compound Annual Growth Rate)

出典: [Department of Livestock Services \(DLS\)](#), [National Board of Revenue \(NBR\), Bangladesh](#)

# Bangladeshにおける牛肉と水牛肉の生産量

Bangladeshの牛肉と水牛肉の国内生産量は、近年横ばいである。

- ・水牛肉に比べて、牛肉の生産量が28.9倍とはるかに多い。
- ・ Bangladeshは2018年から2019年にかけて食肉生産の自給自足を宣言し、輸入制限を実施したものの、国内生産量は増加する国内需要を満たしていない。



CAGR:年平均成長率(Compound Annual Growth Rate)

出典: [国連食糧農業機関\(Food and Agriculture Organization\):FAOSTAT2021](https://www.fao.org/faostat)

## 牛肉と水牛肉の輸入

牛肉と水牛肉は2016年までは牛肉の輸入が多かったが、2017年以降は水牛肉の輸入が急増し、金額ベースで2016年から2021年までCAGR106%と大幅に増加し、2021年には3,540万米ドルに達した。

一方、牛肉の輸入金額は不規則に増減しており、2016年から2021年までCAGR14%で増加し、2021年に100万ドルとなっている。なお、牛肉の輸入は、新型コロナパンデミック時の食料供給不足のため、2020年に大幅に増加した。

## 牛・水牛の骨付き肉(生鮮または冷蔵)(輸入金額ベース, (米ドル '1000))

Year	2016	2017	2018	2019	2020	2021	CAGR (2016~2021)
水牛	96	1,958	7,002	21,046	16,954	35,422	106%
牛	368	586	581	301	6,858	1,004	14%

水牛肉:53.1億円  
牛肉: 1.5億円

## 牛・水牛の骨付き肉(生鮮または冷蔵)(輸入重量ベース, tons)

Year	2016	2017	2018	2019	2020	2021	CAGR (2016~2021)
水牛	37	684	2,109	7,310	6,171	11,551	103%
牛	44	107	228	17	502	24	-31%

牛肉の輸入は、新型コロナパンデミック時の食糧供給不足のため、2020年に大幅に増加した。

CAGR:年平均成長率(Compound Annual Growth Rate)

注:1米ドル=150円で暫定換算

出典: [国連食糧農業機関\(Food and Agriculture Organization\):FAOSTAT2021](#)

## 水牛肉輸入急増の理由

インドからの水牛肉の輸入は、輸入関税の引き下げ、輸入手続きの合理化、バングラデシュ政府による水牛肉の輸入業者への補助金支給などにより、ここ数年で急速に増加している。これにより、バングラデシュ国内の水牛肉の価格を下げる事ができた。

### 食肉需要の増加

- ・バングラデシュの食肉需要は、人口増加、可処分所得の増加、都市化などの要因により着実に増加しており、国内供給だけでは需要をまかないきれいでなかった。

### 水牛肉の値ごろ感の増加

- ・インドでは牛肉の輸出が禁止されており、2016年2月に初めて水牛肉輸出が割り当てられて以来2023年にバングラデシュが水牛を含む牛肉の輸入を禁止するまで、冷凍水牛肉が主要な輸入品となっていた。水牛肉は一般的に牛肉や羊肉よりも価格が安いため、バングラデシュの中下所得層の消費者にとってはより手頃な選択肢となっていたことが理由である。

### 輸入の容易さ

- ・水牛肉産業が盛んな隣国インドからの水牛肉の輸入は、比較的容易で物流コストなど費用対効果に優れている。この輸入の容易さが、バングラデシュの輸入業者にとってインドからの水牛肉の仕入れをより魅力的なものにしていた。

### 政府の政策

- ・バングラデシュ政府は、輸入関税の引き下げや輸入手続きの合理化など、水牛肉の輸入を促進する政策を実施してきた。こうした政策が水牛肉の輸入をさらに後押ししていた。

# トン当たりの牛肉と水牛肉の輸入金額

水牛肉のトン当たりの輸入金額は国内市場では牛肉に比べて大幅に安価であった。

牛肉のトン当たりの輸入金額は2017年以降CAGR38.2%で上昇し、2021年には42,274米ドルに達した。

バングラデシュでは牛乳生産のための牛の飼育に重点を置いているため、国内からの牛肉供給は限られており、輸入牛肉の需要は増加していた。

インドの牛肉輸出規制や、バングラデシュ政府が水牛肉に比べて牛肉に高い輸入関税と税金を課していることが、小売価格をさらに高騰させていた原因と言える。

## 食肉トン当たりの輸入金額(米ドル/ton)

Year	2016	2017	2018	2019	2020	2021	CAGR (2016~ 2021)
水牛肉	2,595	2,862	3,320	2,879	2,748	3,067	3.4%
牛肉	8,379	5,475	2,551	17,572	13,664	42,274	38.2%

水牛肉: 46.0万円/トン  
牛肉: 634.1万円/トン

注: 1米ドル=150円で暫定換算

CAGR: 年平均成長率(Compound Annual Growth Rate)

出典: [国連食糧農業機関\(Food and Agriculture Organization\):FAOSTAT2021](#)

# 牛肉と水牛肉の国別輸入金額の推移

バングラデシュで輸入されている水牛肉はすべてインド産であった。

牛肉はオーストラリアが寡占していたが、最近では日本もバングラデシュへの輸出を増やしていた。

## 牛肉と水牛肉の国別輸入金額比較(1000 米ドル)

品目	2016	2017	2018	2019	2020	2021
<b>水牛の肉(生鮮または冷蔵)</b>	133	2,642	9,111	28,356	23,125	46,973
インド	133	2,642	9,111	28,356	23,125	46,973
<b>骨なしの牛の肉(生鮮または冷蔵)</b>	384	660	310	270	7,350	967
オーストラリア	284	207	210	218	104	104
日本		85			860	829
マレーシア	19	33	7	20	6	3
オマーン					5	
ポーランド		171				
サウジアラビア	72	139	56		6,362	
シンガポール				1		30
トルコ					1	1
UAE	9	24	37	31	12	
<b>牛の骨付き肉(生鮮または冷蔵)</b>	29	34	498	48	9	61
オーストラリア	29	12	66	47	8	23
エチオピア		1				
シンガポール						4
UAE		20	432	1	1	
アメリカ						34

インドが独占

70.4億円

1.2億円

9.5億円  
新型コロナによるパンデミックによるサプライチェーンの混乱から国内需要を満たすためにサウジアラビアからの輸入を急増させた。

注：1米ドル=150円で暫定換算

バングラデシュ政府は、2018年6月に、牛肉の需要増加に対応し、国内の牛肉価格を安定させるための牛肉の輸入に関する新たな輸入政策を実施。  
 ・牛肉の輸入量をこれまでの年間10万トンから100万トンまで拡大する。  
 ・牛肉の輸入関税を引き下げる。

地元酪農・酪農家が、輸入冷凍肉が国内産業に与える悪影響について懸念を表明。2022年4月バングラデシュの畜産省が牛肉輸入にNo Objection Certificate(同意書)を発行しない方法などにより、牛肉の輸入量を大幅に制限した。



## バングラデシュの輸入水牛肉をインド産が独占していた理由

インドはバングラデシュの輸入水牛肉の主要な供給源となっていた。近接性、供給、品質、価格、貿易関係、文化的要因から、インドはバングラデシュの水牛肉需要に最も適していることから、バングラデシュの輸入水牛肉はインド産が独占していた。

### 近接性と輸送

・インドとバングラデシュは長い国境を接しているため、インドからバングラデシュへの水牛肉輸送は容易であり、費用対効果も高い。輸送コストは他国から水牛肉を輸入するのに比べ格段に低く、インドが最も合理的な供給源となっていた。

### 生産と供給

・インドは世界最大の水牛肉の生産国・輸出国であり、膨大な水牛頭数と確立された水牛の飼育方法がある。このようにインドでは水牛肉の供給が豊富であるため、バングラデシュにとって最も水牛肉を入手しやすい供給源となっていた。

### 品質と価格

・インドの水牛肉は良質で競争力のある価格で知られている。バングラデシュの輸入業者はインドから高品質の水牛肉をリーズナブルな価格で仕入れることができ、他の輸入元と比べて現実的な選択肢となっていた。

### 貿易関係と協定



・インドとバングラデシュは強固な貿易関係にあり、両国間の商品の移動を促進する様々な二国間協定を結んでいる。これらの協定は水牛肉の輸入プロセスを合理化し、インドからの輸入をさらに促進していた。

### 文化的・料理的嗜好

・インドとバングラデシュは、文化的・料理的嗜好が似ており、水牛肉はどちらの料理にもよく使われる食材である。このような水牛肉の消費に対する共通の理解は、両国間の貿易関係をさらに強固なものにしていた。

# 小売店で入手可能な牛肉製品 - Unimart

2023年11月現在、バングラデシュには輸入牛肉は現在一切流通していない。以下は国内産の参考情報である。  
Bengal Meatはバングラデシュにおける食肉の大手流通業者であり、バングラデシュにおける牛肉の流通経路をコントロールしている。

	バングラデシュ産牛肉	バングラデシュ産牛肉
写真		
原産国	バングラデシュ	バングラデシュ
種類	牛肉(販売形態:冷凍)	牛肉(販売形態:冷蔵)
価格/kg	1,240-3,500 Taka	570-1,560 Taka

# 小売店で入手可能な牛肉製品 - Wholesale Club

2023年11月現在、バングラデシュには輸入牛肉は現在一切流通していない。以下は国内産の参考情報である。

## 店舗写真



## バングラデシュ産牛肉

### 写真



原産国

バングラデシュ

種類

牛肉(販売形態:冷蔵)

価格/kg

790 Taka

# 小売店で入手可能な牛肉製品 - Agora

2023年11月現在、 Bangladesh には輸入牛肉は現在一切流通していない。以下は国内産の参考情報である。

## Bangladesh 産牛肉

写真



原産国

Bangladesh

種類

牛肉(販売形態:冷蔵)









価格/kg

800 Taka

## 牛肉製品のオンライン販売と価格動向

牛肉はオンラインでも注文でき、価格は骨付き牛肉が700～800Taka程度、骨なし牛肉は1,000Taka以上である。

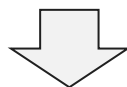
バングラデシュにおける国産牛肉のオンライン販売

	Daily Shopping	Shwapno	Chaldal	Bengal Meat Online
ローケーション	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン
ブランド				
原産国	バングラデシュ	バングラデシュ	バングラデシュ	バングラデシュ
商品名	Daily Shopping Beef Premium With Bone (Per Kg)	Beef Premium Cube (Kg)^[With Approx.25% Bone & Fat] 1 Kg	Chaldal Premium Beef Cut Bone In ± 50 gm per kg	Beef Back Leg Bone In
1kgあたりの価格 (Taka)	769 - 800	780 - 800	829 - 900	1000 - 1100
写真				

## バングラデシュの国内産牛肉の価格が高い理由

バングラデシュの国内産牛肉の価格が高い理由は、インドによる生体牛輸出禁止による肉用牛の供給不足、高い生産コスト、良質な家畜品種へのアクセス制限などがある。

バングラデシュの国内生産の牛肉価格はここ数年で大幅に上昇し、1kgあたりの価格は700~750Takaを超え、中間所得層の消費者にとって購入が難しくなっている。



### バングラデシュの国内産牛肉の価格が高い理由

#### インドによる生体牛輸出禁止の影響

2014年にインドがバングラデシュへの生体牛の輸出を禁止したため、良質な肉牛の供給が大幅に減少し、それが牛肉価格の上昇につながった。

#### 国内での牛肉生産コストの上昇

バングラデシュの酪農場の商業用電気料金値上げによる経営コストの上昇、飼料価格の高騰、酪農家向けの融資金利の上場などによりバングラデシュの国内での牛肉生産コストが上昇している。

インドにおける牛のと畜禁止は、宗教的、文化的、経済的な要因が複雑に絡み合っていることに根ざしている。

インドの支配的な宗教であるヒンドゥー教では、牛は神聖視され、母性や神聖な女性性の象徴とされている。そのため、牛肉の消費は多くのヒンドゥー教徒にとってタブーとされており、インドのいくつかの州では牛のと畜を禁止する法律が制定され、国内の特定の州からは牛肉の輸出が制限されている。

出典: [Dhaka Tribune](#)

# バングラデシュでの牛肉料理とレシピ(1/2)

	Beef Bhuna	Beef Kala Bhuna (Beef Curry)
料理の概要	玉ねぎ、トマト、スパイスで煮込んだビーフカレー。玉ねぎ、トマト、生姜、ニンニク、クミン、コリアンダー、ターメリック、チリパウダーなど様々なスパイスを使った濃厚で風味豊かなソースで牛肉を煮込む。	様々なスパイスで煮込んだコクのある風味豊かなビーフカレー。クミン、コリアンダー、ターメリック、チリパウダーなど、さまざまなスパイスを使った濃厚で風味豊かなソースで牛肉を煮込む。
材料	<p>牛肉                      食用油                      玉ねぎ                      生姜のみじん切り                      ニンニクのみじん切り                      ターメリックパウダー                      コリアンダーパウダー                      クミンパウダー                      ガラムマサラパウダー                      チリパウダー                      ヨーグルト                      水                      塩                      コリアンダー</p> 	<p>牛肉、                      マスタードオイル                      タマネギ                      ニンニク                      ショウガ                      ターメリックパウダー                      チリパウダー                      コリアンダーパウダー                      クミンパウダー                      ガラムマサラパウダー                      塩                      青唐辛子                      ナツメグパウダー                      メースパウダー</p> 
調理方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 食用油を熱し、玉ねぎを加えてしんなりするまで炒める。</li> <li>2) しょうがとにんにくを加え、さらに1分加熱する。</li> <li>3) すべての粉類を加え、さらに1分加熱する。</li> <li>4) 牛肉と塩を加え、混ぜ合わせる。</li> <li>5) ヨーグルトと水を加え、沸騰させる。</li> <li>6) 弱火にして蓋をし、2時間煮込む。</li> <li>7) コリアンダーを添え、熱いうちにご飯やロティと一緒に食べる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ボウルに牛肉を入れ、すべての材料を混ぜ合わせる。</li> <li>2) マスタードオイルを熱し、ローリエ、カルダモンのさや、シナモンスティックを炒める。</li> <li>3) 牛肉を鍋に加え、炒める。</li> <li>4) 弱火にして蓋をし、2～3時間煮込む。</li> </ol>

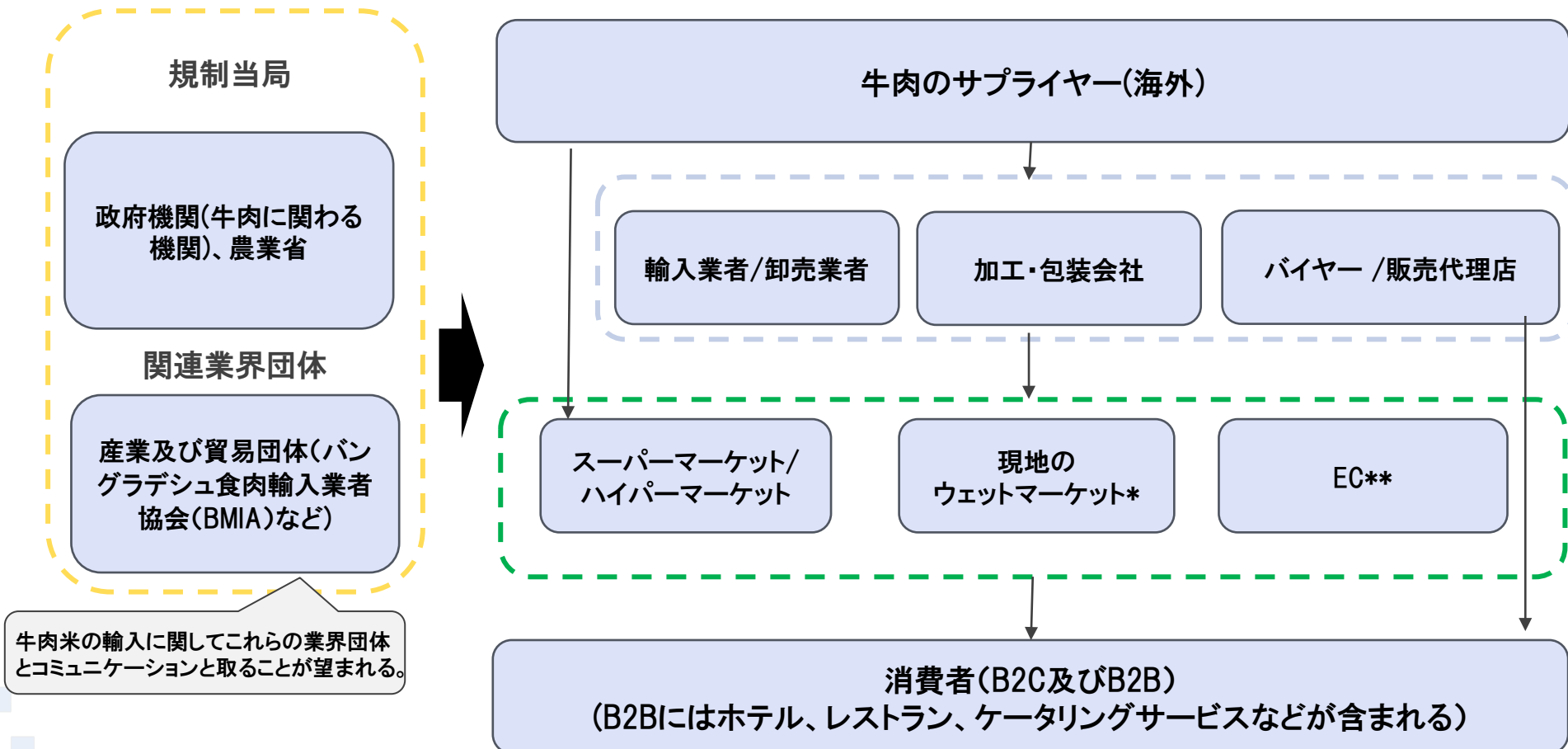
# バングラデシュでの牛肉料理とレシピ(2/2)

Rezala	
料理の概要	ヨーグルト、カシューナッツ、香り豊かなスパイスをブレンドした濃厚でクリーミーなカレーで、一般的にはライスやロティと一緒に食べる。
材料	<p>ビーフ                      ヨーグルト                      タマネギ                      ニンニクのみじん切り                      生姜のみじん切り                      ターメリックパウダー                      コリアンダーパウダー                      クミンパウダー                      ガラムマサラパウダー                      レッドチリパウダー                      塩                      ブラックペッパー                      オイル                      シラントロ                      ミントの葉</p> 
調理方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 牛肉にすべての材料を混ぜ合わせる。</li> <li>2) ボウルに蓋をして冷蔵庫で30分以上、または一晩寝かせる。</li> <li>3) 油を熱し、ローリエ、カルダモンのさや、クローブ、シナモンスティック、粒胡椒を加える。香りが出るまで炒める。</li> <li>4) 牛肉を加え、時々混ぜながら炒める。</li> <li>5) 牛肉が2センチほどかぶるくらいの水を加える。沸騰したら弱火にし、1時間煮込む。</li> <li>6) コリアンダーとミントの葉を入れる。</li> </ol>



# ダッカにおける輸入牛肉の流通構造

バングラデシュでは、牛肉や水牛肉の販売は実店舗で行われるのが一般的である。伝統的なウェットマーケット\*で牛肉を購入するケースが多いが、ミドルクラス以上の人々はスーパーマーケットやオンラインストアで牛肉を購入することもある。牛肉のオンライン販売は、バングラデシュでは比較的新しいトレンドだが、冷凍牛肉の輸入が増えたことで、特にダッカではBengal Meat、Agora、Unimartといった牛肉を販売するオンラインプラットフォームが急速に成長している。Bengal Meetは、UnimartやAgoraといったトップクラスの小売チャネルすべてにおいて、地元産牛肉の主要な販売代理店である。



\* ウェットマーケットは、スーパーマーケットとは異なり、屋外の露天や屋内の通路で、生鮮食品を直接販売している。そのため、床が濡れていることから「ウェットマーケット」と呼ばれるようになった。東南アジアや中国など、アジアの多くの地域で見られる。

\*\* 大手の卸売業者は自社のECを持っていてそこから販売しているケースもある。

## ダッカにおける輸入牛肉の主な流通業者

No	企業名	拠点	輸入製品	輸入元国	連絡先
1	Meat Man	93/A Gupipara Road, Dhaka 1212, Bangladesh	牛肉	インド、オーストラリア	電話番号: +8801700-743164
2	Noor Trade House	Ka-224/1, Kuril School Road, Kuril, Vatara, Dhaka 1229, Bangladesh	牛肉、ラム肉、鴨肉、七面鳥肉、エビ、魚、カニ、ロブスター、小麦粉、ナッツ・種子、米・米酢、マッシュルーム、ハーブ、果物、チーズ、クリーム、牛乳、バター、ヨーグルト	日本、オーストラリア、ブラジル、インド、アメリカ	電話番号: +8801678662450
3	Meem International	Bir Uttam Mir Shawkat Sarak, Dhaka 1212, Bangladesh	牛肉、仔牛肉、山羊肉、羊肉、七面鳥肉、鴨肉、マッシュルーム、スイートコーン、ベビーコーン、ハラペーニョ、キドニービーンズ、パイナップルスライス、フルーツカクテル	オーストラリア、ブラジル、インド、アメリカ	電話番号: +8801819297351
4	Wholesale Club	RC7F+JJ5 Jamuna Future Park, Dhaka, Bangladesh	牛肉、仔牛肉、山羊肉、羊肉、七面鳥肉、鴨肉、マッシュルーム、スイートコーン、ベビーコーン、ハラペーニョ、キドニービーンズ、パイナップルスライス、フルーツカクテル	オーストラリア、ブラジル、インド、アメリカ	電話番号: +8809611-996677
5	Imported food	Gulshan 1, Dhaka 1212, Bangladesh	牛肉、仔牛肉、山羊肉、羊肉、七面鳥肉、鴨肉、マッシュルーム、スイートコーン、ベビーコーン、ハラペーニョ、キドニービーンズ、パイナップルスライス、フルーツカクテル	オーストラリア、ブラジル、インド、アメリカ	電話番号: +8801303-894996
6	Buffalo Meat Seller	Bashabo, Dhaka 1214, Bangladesh	水牛肉	NA	電話番号: +8801989-647586
7	Sadeeq Agro	Plot # 1, Road # 7 Nabinagor Housing, Beribadh Mohammadpur, Dhaka, Bangladesh	牛肉、羊肉、鶏肉、ステーキ肉、牛乳	NA	電話番号: +8801980-008886

# 日本産牛肉のバングラ市場への輸出条件や流通拡大の可能性

日本産牛肉の美味しさは食べればわかるので、高所得者層・日本食レストラン等に流通させることができる現地流通業者と協業することが重要である。

## ハラール認証対応

イスラム教徒が大多数を占めるバングラデシュでは、牛肉輸入に際してハラール認証を求められている。

## 想定される主な販売ターゲット

主に高所得者層で、中低所得者層はターゲット外となりそう

・高所得者層の年収— 13,68,010 Taka (180万6千円) 以上

・アッパーミドル層— 4,42,553 Taka (58万4千円) から 13,67,901 Taka (180万6千円)

高所得者層・日本食レストラン等に流通させることができる現地流通業者と協業することが重要

現状でもオンラインまたは一部のスーパーマーケット店舗で購入可能

・ネット通販: DarazやEnedao

[www.daraz.com.bd](http://www.daraz.com.bd)

[www.enedao.com.bd](http://www.enedao.com.bd)

・店舗: Unimart Gulshan 2,

<https://unimart.online/>

(House No. 23, Gulshan Centre Point, 26 Rd 90, Dhaka 1212)

注: 1Taka=1.32円で換算

出典: [ResearchGate](#), [World Bank](#), GLOBAL ANGLE Local Research

# 日本からの牛肉の輸出に関する課題と潜在機会・戦略

現状、日本からバングラデシュへ日本産牛肉を輸出しようとしても、バングラデシュ政府が牛肉輸入のための信用状(LC)や異議なし証明書(NOC)は発行をしないという非関税障壁を設けたことにより、現在実質牛肉をバングラデシュに輸出することは困難となっており、政府間交渉で事態の打開を図る必要がある。

項目	課題	潜在機会・戦略
非関税障壁による輸入制限	地元酪農・酪農家が、輸入冷凍肉が国内産業に与える悪影響について懸念を表明。2022年4月より、バングラデシュ政府は牛肉輸入のための信用状(LC)や異議なし証明書(NOC)は発行をしないという非関税障壁を設けたため、現在実質牛肉をバングラデシュに輸出することは困難となっている。輸入規制に関してはバングラデシュにおける外貨準備高確保も影響しているものと想定される。	日バングラの政府間交渉において、日本産牛肉は一般国民向けではなく、富裕層や高級ホテル・レストラン向けであることを訴求して、バングラデシュ政府に対して牛肉輸入のための信用状(LC)や異議なし証明書(NOC)は発行をしないという非関税障壁をやめるよう働きかける。
日本産牛肉の美味しさの訴求	バングラデシュでは、日本産牛肉の美味しさがあまり認知されていない。	特別な機会に食べる美味しい牛肉として、日本産牛肉の知名度を上げ、より多くの人々が日本産牛肉に興味を持つよう啓もう活動をする必要がある。
ハラール認証対応	日本からバングラデシュへ牛肉を輸出するためには、ハラール認証を取得する必要がある。	日本国内で、牛肉を生産などをする際に、ハラール認証の取得を促進する。
業界団体の影響力	バングラデシュ食肉輸入業者協会(BMIA)などが業界団体として存在している。	輸出の際の協業企業を検討する際に、バングラデシュ食肉輸入業者協会(BMIA)などの会員である企業を選定することで、すでに輸入実績のある企業とスムーズな取引ができると期待できる。

## 流通構造

### 調査対象品目別調査・分析

・米

・牛肉

・**ぶどう**

・水産物（さば、いわし）

### 参入戦略提言まとめ

日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段

輸入品に係るハラール認証の実態

主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率

バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

## バングラデシュにおけるぶどうの国内生産量

バングラデシュでは土壌と気候条件の関係で、ぶどうの栽培に適しておらず、国内生産量は非常に少ないものと想定される。

・ぶどうの生産量に関する公的な統計データは存在しない。

バングラデシュでぶどうを栽培することは、その土壌と気候条件から非常に困難

- ・ぶどうの栽培には高温で乾燥した気候が必要で、年間降雨量は50～60cmが理想的である。
- ・バングラデシュの年間降水量は約220cmで、地域によって150cmから500cmの幅があり、バングラデシュでは、ぶどう栽培には適していない。

そのため、バングラデシュではぶどうの輸入を海外市場に大きく依存していて、輸入依存度は90%を超えていると想定される。

# バングラデシュにおける果実生産

バングラデシュでは、マンゴー、ジャックフルーツ、バナナなどの熱帯果物が主に生産されている。マンゴーやバナナなどの熱帯果実は一年中生産されているため、地元の人々に人気がある。

・2022年のバングラデシュ政府の公式生産データには、ぶどうの生産量は記載されていない。

## バングラデシュにおける主要果実の生産量(1,000トン)

品目	2017	2018	2019	2020	2021	生産量シェア(2021)	CAGR(2017-2021)
マンゴー	1,166	1,219	1,222	1,215	1,207	31.9%	0.9%
ジャックフルーツ*	1,075	1,038	1,002	1,097	1,050	27.8%	-0.6%
バナナ	810	833	818	826	826	21.9%	0.5%
グアヴァ	242	237	226	244	245	6.5%	0.3%
パイナップル	208	217	218	204	206	5.4%	-0.2%
パパイヤ	135	136	131	126	147	3.9%	2.2%
インドプラム	114	129	131	108	95	2.5%	-4.5%
オレンジ	3	3	3	4	4	0.1%	7.5%
メロン	41	41	41	47	-	-	-
柑橘系フルーツ	23	-	-	-	-	-	-
その他	16	-	-	-	-	-	-

バングラデシュ政府の公式生産データには、ぶどうの生産量は記載されていない。

\* ジャックフルーツは、世界最大の果実として知られており、重さは40~50kgにもなる。表面には、数mmのいぼ状の突起がある。ジャックフルーツの果肉は、白くねっとりとした食感で、甘みが強く、ドリアンに似た独特の匂いがある。

注: その他にはbel, shoppeda, sharifa, nona, jamrul など南アジア特有の果物が含まれる。

CAGR:年平均成長率(Compound Annual Growth Rate)

出典: [Bangladesh Bureau of Statistics 2022](#), [The Daily Star 2023](#)

# バングラデシュにおける主な果実の収穫時期

バングラデシュで収穫される果実の主な開花時期は2-3月で、収穫期は春から夏であることが多い。

- ・日本の中生品種の巨峰、シャインマスカット、ピオーネは9月頃から出荷がピークを迎えるので、バングラデシュの果物のピークとの重なりが比較的少ないというアドバンテージがある。

## 主な果物の開花時期と収穫時期

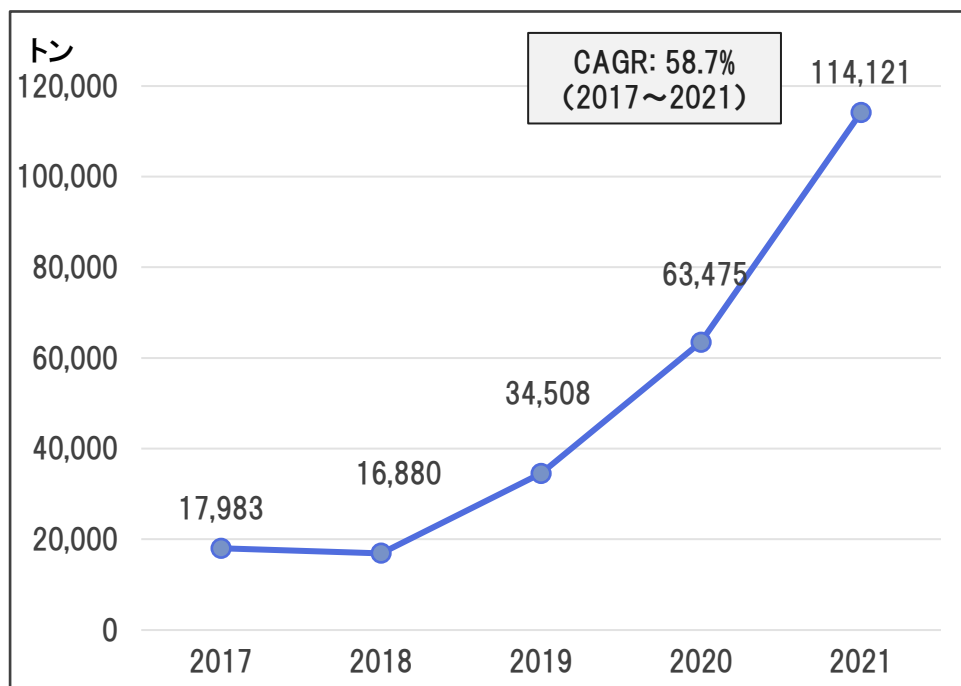
品目	開花時期の目安	収穫時期の目安
マンゴー	2月-3月	5月-8月
ジャックフルーツ	2月-3月	5月-7月
バナナ	1年中	ピーク 12月-2月, 9月-10月
グアヴァ	3月-5月、11月-12月	7月-9月 (メイン収穫期) 2月-3月 (サブ収穫期)
パイナップル	2月-3月	5月-7月
パパイヤ	1年中	ピーク 2月-4月
オレンジ	2月-3月	11月-12月
ライチ	2月-3月	5月-6月
レモン	2月-3月	8月-10月
ポメロ	2月-3月	10月-12月
ライム	2月-3月	6月-8月
メロン	2月-3月	4月-5月



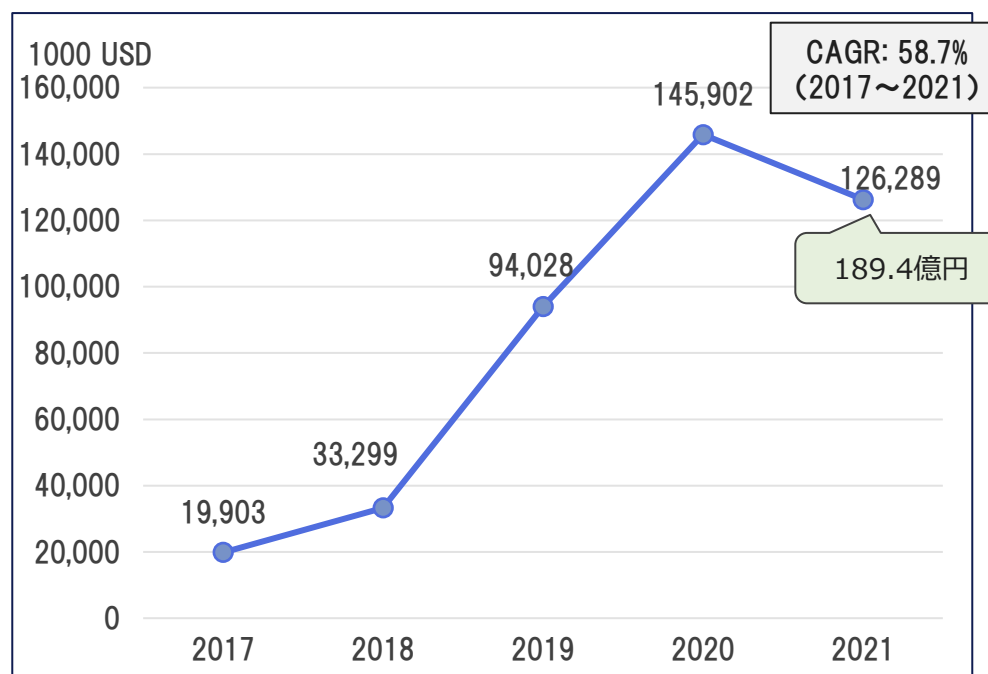
# Bangladesh のぶどうの輸入

Bangladesh のぶどう輸入量・金額とも2018年と比べて急激に増加した。

## Bangladesh のぶどうの輸入量 (トン)



## Bangladesh のぶどうの輸入金額 (1000米ドル)



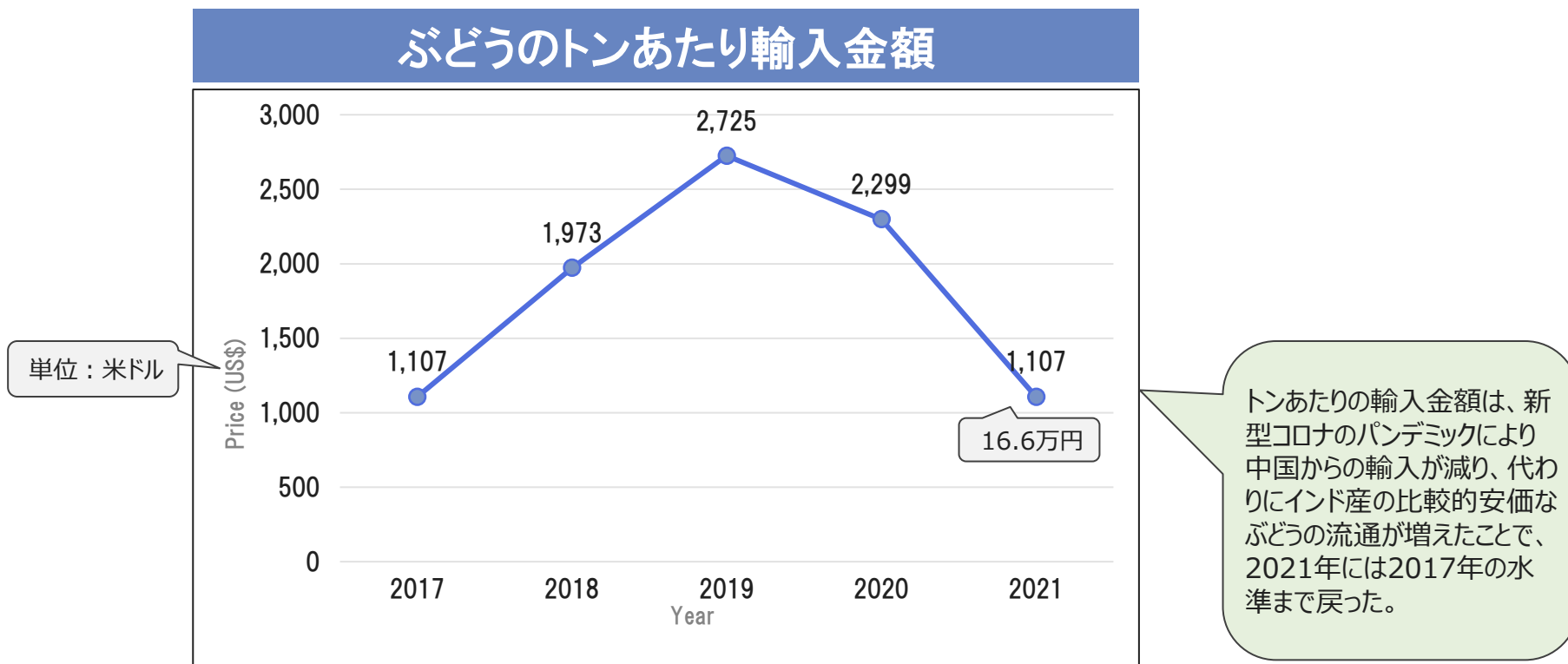
1米ドル = 150円で暫定換算

CAGR: 年平均成長率(Compound Annual Growth Rate)

出典: [FAO 2021](#)

# ぶどうのトンあたり輸入金額

バングラデシュにおけるぶどうのトンあたり輸入金額は2019年にピークを迎えたが、2021年には2017年の水準に戻った。



1米ドル = 150円で暫定換算

出典: [FAO 2021](#), [The Business Standard 2021](#), [Fresh Plaza 2023](#)

# ぶどうの国別輸入金額及び輸入量

Bangladeshのぶどうの輸入は、インド、中国が上位を占めている。

・インドが順調に輸出货量・金額を増やしているのに対し、中国は2021年から輸出货量・金額とも減少傾向にある。

## Bangladeshへのぶどうの輸入金額(1000米ドル)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR (2017-2022)
インド	5,488	1,464	4,547	16,425	42,396	51,098	56.2%
中国	10,367	25,032	75,559	108,353	68,785	36,148	28.3%
アラブ首長国連邦	4,067	3,959	5,005	5,391	5,380	3,768	-1.5%
オーストラリア	963	2,305	3,324	5,221	1,497	1,363	7.1%
その他	4,666	3,154	3,486	2,823	478	231	-45.1%
合計	25,551	35,914	91,921	138,213	118,536	92,608	29.3%

2020年の新型コロナウイルスのパンデミック以前は中国産が Bangladeshにおける輸入ぶどうの大部分を占めていたが、パンデミック後はインド産の比較的安価なぶどうの流通が圧倒的に増えた。

インド：76.6億円、中国：54.2億円

## Bangladeshへのぶどうの輸入量(トン)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR (2017-2022)
インド	11,871	3,416	8,647	28,558	72,647	90,551	50.1%
中国	4,951	11,671	23,907	31,601	40,572	25,043	38.2%
アラブ首長国連邦	4,732	4,050	5,506	7,892	9,076	3,959	-3.5%
オーストラリア	482	970	1,453	2,655	468	661	6.5%
その他	2,532	2,089	2,185	2,190	552	434	-29.7%
合計	24,568	22,196	41,698	72,896	123,315	120,648	37.4%

## ぶどうの国別のトン当たりの輸入金額

ぶどうのトン当たりの輸入金額は国によって大きな開きがあった。インドは中国、UAE、オーストラリアに比べて安価なぶどうを輸出している。

## ぶどうの国別トン当たりの輸入金額(米ドル/トン)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR (2017-2022)
インド	462	429	526	575	584	564	4.0%
中国	2,094	2,145	3,161	3,429	1,695	1,443	-7.1%
アラブ首長国連邦	859	978	909	683	593	952	2.0%
オーストラリア	1,998	2,376	2,288	1,966	3,199	2,062	0.6%
その他	1,843	1,510	1,595	1,289	866	532	-21.9%
合計	1,040	1,617	2,204	1,896	961	768	-5.8%

インド：8.5万円/トン  
中国：21.6万円/トン

CAGR：年平均成長率(Compound Annual Growth Rate)

出典: [ITC 2022, ITC data](#)

注：1米ドル=150円で暫定換算

# 小売店で入手可能なぶどう - Unimart

Unimart はイラン産の輸入ぶどうしか販売していなかった。

・Unimartでは日本産のぶどうは販売していなかった。

## 店舗写真



## 写真

## イラン産



原産国

イラン

種類

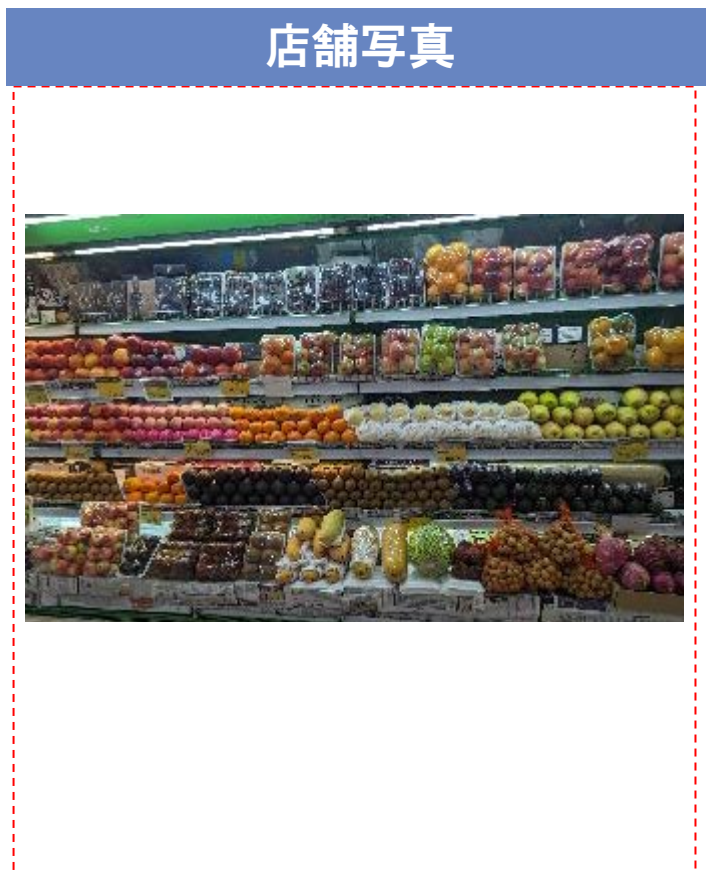
ぶどう(緑色)

価格/kg

2,450 Taka

# 小売店で入手可能なぶどう - Wholesale Club

Wholesale Clubは、主にインドからの輸入ぶどうを販売している。緑色のぶどうと赤色のぶどうの両方を扱っている。  
・Wholesale Clubでは、日本産のぶどうは販売していなかった。



	インド産	インド産
写真		
原産国	インド	インド
種類	ぶどう(緑色)	ぶどう(赤色)
価格/kg	2,050 Taka	2,195 Taka

# 小売店で入手可能なぶどう - Agora

Agoraは輸入ぶどうしか扱っていない。中国産の赤色のぶどうもインド産の緑色のぶどうも売っているようだが、インド産の緑ぶどうは店舗訪問時品切れであった。

・Agoraでは、日本産のぶどうは販売していなかった。

## 店舗写真



## 写真



## 中国産

原産国

中国

種類

ぶどう(赤色)

価格/kg

480 Taka

# バングラデシュのオンライン・マーケットで販売されているぶどう(1/2)









オンライン・マーケットでよく売られているのは緑色のぶどうと赤色のぶどう。黒色のぶどうは、緑色のぶどうや赤色のぶどうに比べるとあまり売られていない。

店舗名	Basar Bazar	Othoba	Sobji Bazar	Khan Shop	Basar Bazar	Khan Shop	Chaldal
種類	緑色のぶどう	緑色のぶどう	緑色のぶどう	緑色のぶどう	黒色のぶどう	黒色のぶどう	赤色のぶどう
原産国	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
重さ (グラム)	1000	1000	250	500	1000	500	250
価格 (Taka)	280	340 (Sold Out)	85	190-195	400	215-220	99-110
価格/1kg (Taka)	280	340	340	390	400	440	440
写真							



# バングラデシュのオンライン・マーケットで販売されているぶどう(2/2)

オンライン・マーケットでよく売られているのは緑色のぶどうと赤色のぶどう。黒色のぶどうは、緑色のぶどうや赤色のぶどうに比べるとあまり売られていない。

店舗名	Jogaan	The Basket Bd	Sobji Bazar	Agora Super Stores	Basar Bazar	Chaldal	Jogaan	Agora Super Stores
種類	緑色のぶどう	赤色のぶどう	赤色のぶどう	赤色のぶどう	赤色のぶどう	Sobuj Angur (緑色のぶどう)	赤色のぶどう	緑色のぶどう
原産国	N/A	USA	N/A	China	N/A	N/A	N/A	India
重さ (グラム)	250	1000	250	1000	1000	250	250	1000
価格 (Taka)	98-110	449	119	480	500	119-149	150	Out of Stock
価格/1kg (Taka)	440	449	476	480	500	596	600	-
写真								

## 原産国別輸入ぶどうの特徴

バングラデシュ国内で流通している輸入ぶどうの価格やピーク時は、気候の違いにより各国異なる。現時点では高級志向市場向けに限られるものの、価格の面からは日本産のぶどうの市場参入の余地もあると言える。

原産国	収穫時期等の特徴	卸売り価格
中国	中国から輸入されるぶどうは、特に5月から11月にかけて収穫されたもので、特に収穫のピークとなる月は10月である。	平均して14ドル/10kg程度だが、ピークの10月に収穫されたものが多く流通する11月には10ドル/10kg程度まで下がる。
オーストラリア	オーストラリアは南半球に位置するため、ぶどうの収穫のピークは3月から5月である。	平均して24-25ドル/10 kg程度
アメリカ (カリフォルニア)	一部のぶどうはカリフォルニアからバングラデシュに輸入されている。これらは主に高級市場向けである。	価格情報はないが、他国産のものに比べて高額である。
インド	トラックでの輸送が可能であるため競争上有利であり、主に他国のオフシーズンにバングラデシュに出荷される。	平均して5-6ドル/kg程度

## Bangladeshにおける果実消費状況

Bangladesh国内消費量はマンゴー(5月下旬から8月上旬が旬)とバナナが圧倒的に多いが、りんごとオレンジがその次で、かなり広く消費されているとされている。

- ・りんごは都市部の人々に人気があり、健康に良いことで知られている。
- ・オレンジやりんごは北半球の温帯地域の国々では冬の果物であり、そこからオレンジやりんごを輸出することによりBangladeshの人々は一年中果物を楽しむことができる。

### Bangladeshにおけるりんご、ぶどう、オレンジの食べ方

- ・りんごもオレンジも健康的な間食として考えられている。
- ・**ぶどう**は近年、健康効果の高さから人気が高まっており、フルーツサラダに使われることもある。

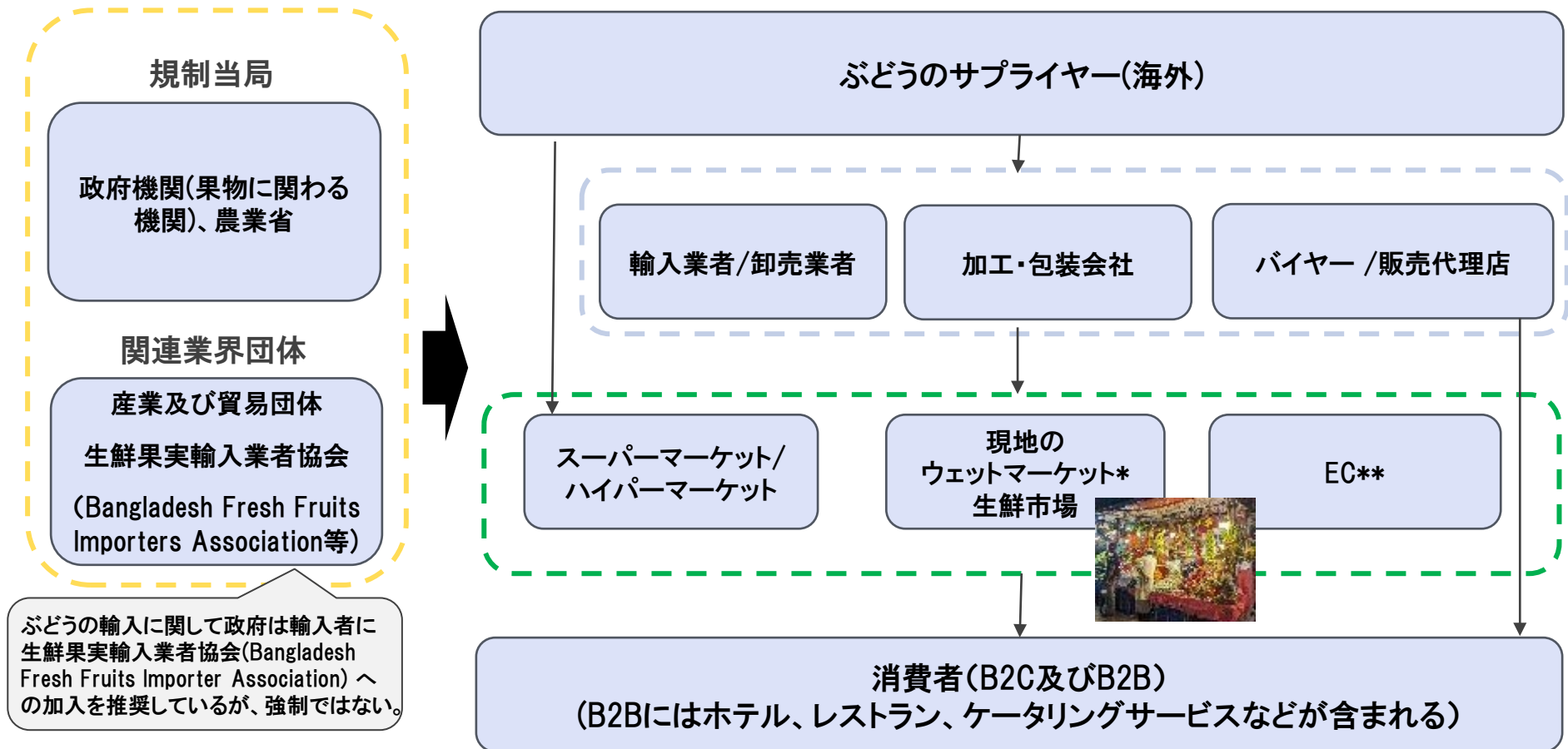
### Bangladeshにおける輸入果実購入動機

- ・Bangladeshの気候はりんご、**ぶどう**、オレンジの栽培に適していないため、これらの果物は輸入され、ベンガルの**新年の祝日** (Pohela Boishakh) にも使われることもある。
- ・Pohela Boishakhでは、**フルーツバスケットを贈り物としてわたす文化**もあり、価格は3,000-3500Taka以下である。Pohela Boishakh (ポエラ ボイサク) : ベンガル人の新年の祝日でBangladeshでは4月14日)

# 流通構造・市場規模調査

## ぶどうの流通ルート

バングラデシュでは、ぶどうを含む果物の販売は実店舗で行われるのが一般的である。ほとんどの人は生鮮市場でぶどうを購入するが、中・高所得者はスーパーマーケットやオンラインストアで輸入ぶどうを購入することもある。バングラデシュではぶどうのオンライン販売は比較的新しいトレンドであり、Unimart や Agora などの主要なオンラインスーパーマーケットやハイパーマーケットはすべてオンラインでぶどうを販売している。



\*ウエットマーケットは、スーパーマーケットとは異なり、屋外の露天や屋内の通路で、生鮮食品を直接販売している。そのため、床が濡れていることから「ウエットマーケット」と呼ばれるようになった。東南アジアや中国など、アジアの多くの地域で見られる。

\*\* 大手の卸売業者は自社のECを持っていてそこから販売しているケースもある。

出典: [Bangladesh Fresh Fruits Importer Association](http://Bangladesh Fresh Fruits Importer Association)

# ダッカにおける輸入ぶどうの主な流通業者

No	企業名	拠点	輸入製品	輸入元国	連絡先
1	Bangladesh Fresh Fruits Importer Association	House # 8, Road # 13, Sector # 1, Uttara, Dhaka-1230	ぶどう、フルーツ	インド、中国、南アフリカ、チリ、アメリカ	+880-2-8911940, +880-2-8911941, info@bffia.com.bd
2	Kafa International	2nd Floor, 28/1/C Toyenbee Circular Road, Motijheel, Dhaka-1000	ぶどう、フルーツ	インド、中国、トルコ、エジプト、イラン	+880-2-9557186, +880-1713488234, kafainternational@gmail.com
3	Panama Corporation	2nd Floor, 28/1/C Toyenbee Circular Road, Motijheel, Dhaka-1000	ぶどう、フルーツ	インド、中国、トルコ、エジプト、イラン	panamacorp@gmail.com
4	Rupayan Trade International	3rd Floor, 28/1/C Toyenbee Circular Road, Motijheel, Dhaka-1000	ぶどう、フルーツ	インド、中国、トルコ、エジプト、イラン	rupayantrade@gmail.com
5	M/S. A. Rahman & Co.	2nd Floor, 28/1/C Toyenbee Circular Road, Motijheel, Dhaka-1000	ぶどう、フルーツ	インド、中国、トルコ、エジプト、イラン	arahmanco@gmail.com
6	S. K. Fruits Agency	40/1, Nawabpur Road, Dhaka-1100	ぶどう、フルーツ	インド	+880-2-9567892, +880-1726-789234
7	Freight Express Ltd.	45/2, Gulshan North Avenue, Dhaka-1212	ぶどう、フルーツ	中国	+880-2-9887655, +880-1727-876654
8	Fresh Fruit Importers	55/4, Dhanmondi Road, Dhaka-1209	ぶどう、フルーツ	南アフリカ	+880-2-9865433, +880-1729-654432

# 日本産ぶどうのバングラ市場への輸出条件や流通拡大の可能性

バングラデシュに日本産のぶどうを流通することができれば、他国からの輸入ぶどうや国内生産されたぶどうに比べて高品質な商品を提供することができ、バングラデシュの人々に新たな選択肢を与えることができる。

日本産のぶどうの品質の高さを訴求しながら高所得者層からの注目を集めることが必要

輸入フルーツは高価であっても販売している実績があることから、日本産のぶどうも、質の高さが認められれば流通拡大できる可能性はある。

バングラデシュにはフルーツバスケット文化があるので、これを利用する戦略を取ることも可能。

## 想定される主な販売ターゲット

主に高所得者層で、中低所得者層はターゲット外となりそう

・高所得者層の年収— 13,68,010 Taka (180万6千円) 以上

・アッパーミドル層— 4,42,553 Taka (58万4千円) から 13,67,901 Taka (180万6千円)

高所得者層・日本食レストラン等に流通させることができる現地流通業者と協業することが重要

現状でもオンラインまたは一部のスーパーマーケット店舗で購入可能

・ネット通販: DarazやEnedao

[www.daraz.com.bd](http://www.daraz.com.bd)

[www.enedao.com.bd](http://www.enedao.com.bd)

・店舗: Unimart Gulshan 2,

<https://unimart.online/>

(House No. 23, Gulshan Centre Point, 26 Rd 90, Dhaka 1212)

注: 1Taka=1.32円で換算

出典: Relevant websites and [World Bank](#)、Global Angle desk and local research

## 日本の高級ぶどうをバングラデシュの高級スーパーマーケット市場に流通させるためにとりえるアプローチ

### 輸入業者や卸売業者との商談

- ・バングラデシュの輸入業者や卸売業者との商談会をアレンジし、市場における日本産ぶどうの可能性について協議する。品質、独自性、消費者へのアピールポイントなどの情報を共有する。

### 主要関係者のための試食会

- ・輸入業者、卸売業者、Unimartや Wholesale Clubのような高級スーパーマーケットの担当者と試食会を行う。日本産ぶどうの優れた品質とユニークな味覚を体験してもらう。

### 消費者向け試飲イベント

- ・高級スーパーで消費者向けの試食コーナーを設置する。ターゲット消費者が商品に直接触れる機会を提供し、関心と需要を喚起する。

### 販促コラボレーション

- ・高級スーパーと共同でプロモーションを行う。割引価格や限定オファー、他のプレミアム商品との組み合わせなど、注目を集める工夫をする。

### 啓蒙キャンペーン

- ・日本産ぶどうの特性をアピールする啓蒙キャンペーンを実施する。日本産ブドウの高級品としての地位と品質を強調し、高級志向消費者にとって望ましい選択肢として位置づける。

### 関係業者との関係構築

- ・高級スーパーマーケットの主要な意思決定者と関係構築に努める。長期的な取引を成功させるためには、定期的なコミュニケーション、商品の最新情報、懸念事項への対応が不可欠である。

# 日本からのぶどう輸出に関する課題と潜在機会・戦略

日本では有名なシャインマスカットや巨峰などの知名度がほぼ皆無なバングラデシュにおいて、他国から輸入されたぶどうも他のフルーツに比べて高価格で品質はそれほど高くないため、日本産特有の高品質が訴求ポイントになりそう。

項目	課題	潜在機会・戦略
ぶどう市場における競争	バングラデシュのぶどうは、現在、主にインドと中国から輸入されている。	シャインマスカットや巨峰などはバングラデシュ市場に出回っておらず、認知度も低い。 しかし、元々市場に出回っているぶどうの品質が低いことを考えると、シャインマスカットを含む日本産の高品質なぶどうが一部の高所得者層には魅力的な商品となる可能性がある。
フルーツにおけるハイエンドの市場規模	バングラデシュにおける消費者層は主に低中所得者であり、ハイエンドなフルーツを買うことができる人口はいまだに少ない。	バングラデシュの高所得層の人口は小さいが、シャインマスカット・巨峰などのような価格が高くても品質が良いものであれば購入する傾向があるため、ターゲット顧客層を絞りかつ品質の良さを強調していくことが重要。
フルーツバスケット文化(新年の贈り物)	-	バングラデシュにおけるフルーツバスケットの文化を最大限に活かし、原産地を明確にしながら日本産のシャインマスカット・巨峰などを他のフルーツと共に販売することで、知名度の向上を狙うことができる可能性がある。
流通	生鮮食品は航空貨物を利用する必要があるが、バングラデシュの空港のコールドチェーン設備が十分ではないため、到着後、輸入者が自ら貨物の取り扱いを手配しなければならない。	ハズラット・シャージャラル国際空港の第3ターミナルに生鮮食品を適切な温度で保管・輸送するコールドチェーン機能を持った倉庫を増設中であり、状況の改善が期待されている。
業界団体の影響力	輸入者がバングラデシュ生鮮果実輸入業者協会(Bangladesh Fresh Fruits Importer Association)への加入することが強く推奨されている。	輸出の際の協業企業を検討する際に、バングラデシュ生鮮果実輸入業者協会の会員である企業を選定することで、すでに輸入実績のある企業とスムーズな取引ができると期待できる。



## 流通構造

### 調査対象品目別調査・分析

・米

・牛肉

・ぶどう

・**水産物（さば、いわし）**

### 参入戦略提言まとめ

日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段

輸入品に係るハラール認証の実態

主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率

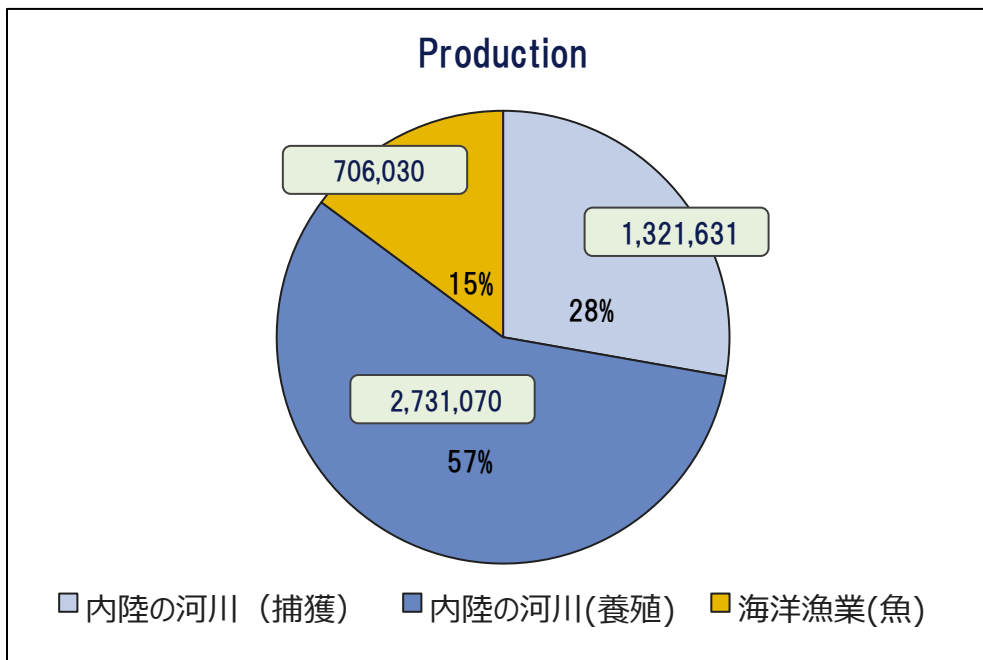
バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

# 水産物： Bangladeshにおける漁獲高（河川、海洋）

Bangladeshでは養殖を含む河川での漁獲高は85%と非常に多いものの、海洋漁業での漁獲高も15%を占めている。

## Bangladesh漁獲高（トン）

2021-2022



## 水産物：バングラデシュで主に消費されている淡水魚

バングラデシュ人は主に淡水魚を消費しており、国民にとって重要なタンパク源となっている。バングラシユは魚の生物多様性に富んでおり、人々はヒルサ、ロウ、ナマズ(パンガス)、ティラピア、コイなど、さまざまな種類の魚を消費している。魚は高タンパク質でオメガ3脂肪酸を含むため、健康的な食品と考えられている。この認識が、主食としての人気を後押ししている。

漁獲高順位	名前	2020 - 2021の捕獲量(トン)と写真	生息地	Kgあたりの金額 (Taka/kg)	定性情報
1	ロウ (Labeo rohita)	1,013,812 	川/淡水	300-500	ロウはバングラデシュで非常に人気があり、 <b>伝統的なベンガルの魚カレー</b> や“Rui Maachher Kalia”(ロウのカレー)や“Rui Shorshe”(ロウのマスタードソース)などの料理で食べられている。
2	ヒルサ (Tenulosa ilisha)	566,593 	淡水、シュンドルボン(バングラデシュのマンガローブ)、海	1,200 - 1,800	ヒルサ(イリッシュ)はバングラデシュの国民的な魚で、 <b>マスタードソースのカレーで調理</b> されることが多い。この魚はバングラデシュのどこにでもいる。世界のヒルサの60%近くはバングラデシュで捕獲されており、ヒルサの生産量でバングラデシュ世界一である。
3	パンガス (Pangasius)	406,185 	淡水、ダムの最上流域	200-400	バングラデシュは世界有数のパンガスの輸出国である。しかし、過去にはパンガスの品質と安全性をめぐる問題により、国際的な品質基準を満たしていなかったこともある。
4	ティラピア (Oreochromis mossambicus)	405,359 	池/淡水	200-300	ティラピアは、バングラデシュの他の魚種に比べて比較的手頃な価格で、バングラデシュ全土の地元市場で容易に入手できる。養殖されることが多いため、安定した供給に貢献している。近年、バングラデシュではティラピアの養殖と輸出が増加している。

出典: [Science Direct](#) and [YearBook of Fisheries Statistics of Bangladesh 2021-22](#), Global Angle desk and local research

## 水産物：バングラデシュにおけるHSコード03\*の国別輸入額

魚類のHSコード03の輸入総額は金額で14%増加し、輸入総量では11%減少したが、トン当たりの輸入額は28%上昇した。

・日本の財務省の貿易統計でも2022年のHSコード030389\*\*の日本からバングラデシュへの輸出は2.3億円程度あり、日本からの水産品の輸出は大部分このカテゴリーに含まれると想定。(HS030389より細かい内訳のデータは存在しなかった)

輸出国	HSコード03*の国別輸入額('000 USD)								CAGR (2015-2022) *は2019 - 2022
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
中国	-	202	1,617	8,164	33,851	4,804	41,584	77,106	32%*
ミャンマー	8,000	8,175	18,138	16,313	10,627	9,674	15,448	20,895	15%
インド	17,724	19,835	16,654	8,879	27,993	24,369	20,517	19,329	1%
アメリカ	-	744	654	111	246	74	1,271	2,820	125*
日本	-	-	79	64	1,419	1,248	1,496	1,787	8%*
その他	25,456	13,784	9,349	13,145	24,587	20,920	24,108	5,812	-19%
合計	51,180	42,740	46,491	46,676	98,723	61,089	104,424	127,749	14%
総量(トン)	110,096	50,616	44,644	40,418	85,478	76,022	85,131	49,642	-11%
トン当たりの 輸入額(USD)	465	844	1041	1155	1155	804	1227	2573	28%

2.6億円

\* 魚並びに甲殻類、軟体動物及びその他の水棲無脊椎動物

\*\* にしん(クルペア属のもの)、ぶり(セリオウラ属のもの)、さば(スコムベル属のもの)及びうるめいわし(エトルメウス属のもの)、バラクーダ(かます科又はくろたちかます科のもの)、キングクリップ(ゲニユテルス属のもの)及びたい(たい科のもの)、その他

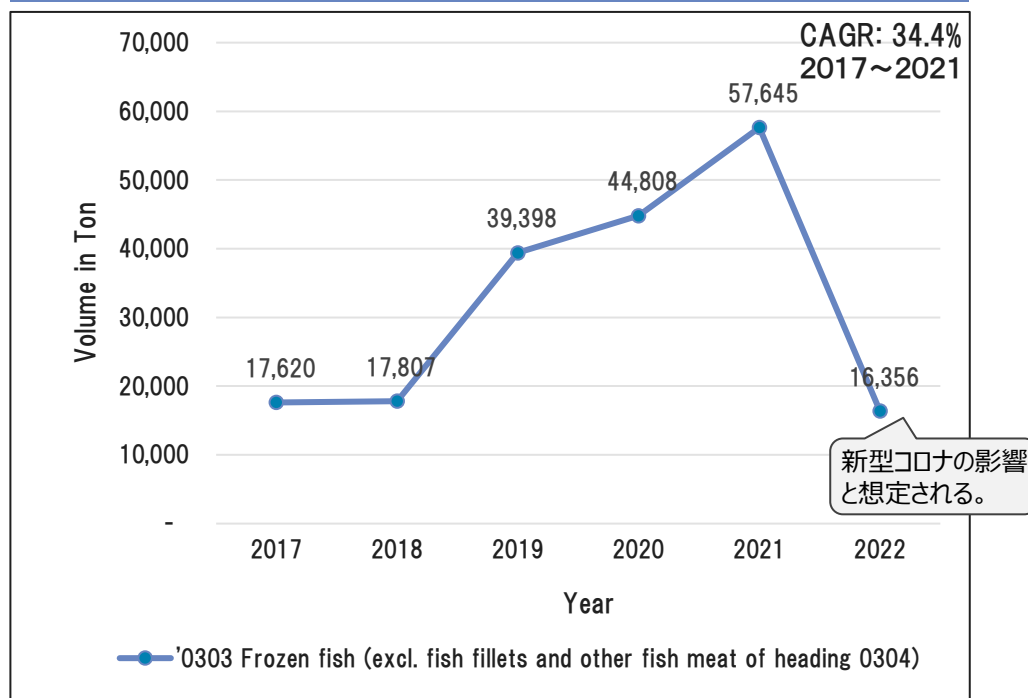
出典: ITC Trade Map 2023、財務省貿易統計

注: 1米ドル=145円で暫定換算

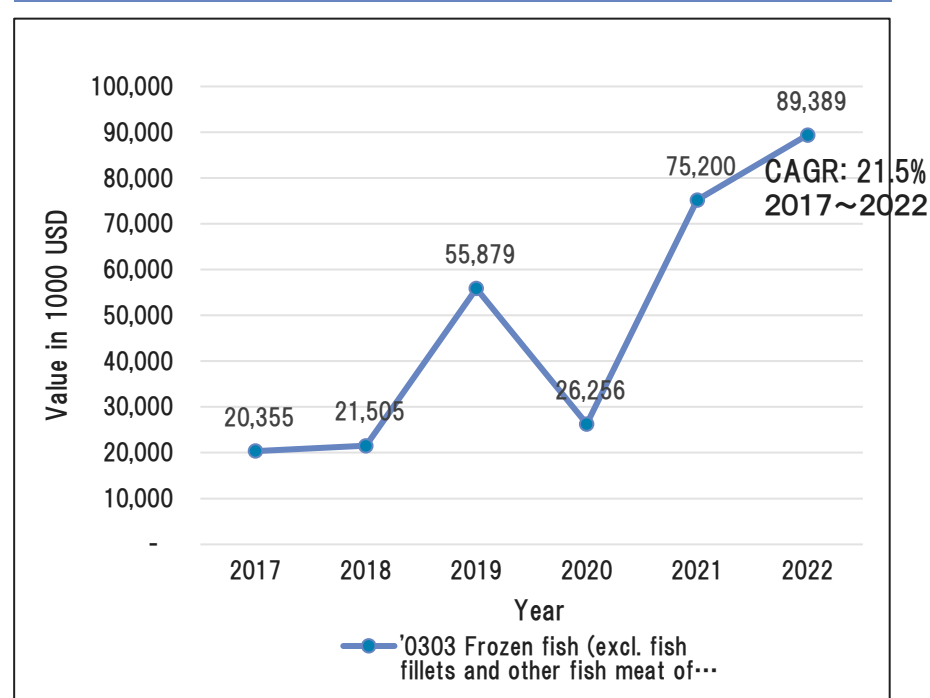
# 水産物:バングラデシュのHSコード0303の輸入

HSコード0303 冷凍魚(HSコード0304の魚のフィレおよびその他の魚肉を除く)のバングラデシュの輸入額は2017年から2022年にCARG21.5%で金額が増加した。輸入量は2017年から2021年までにCARG34.4%で大幅に増加した。

## バングラデシュのHSコード0303の輸入量 (トン)



## バングラデシュのHSコード0303の輸入金額 (1000米ドル)



出典: [国連食糧農業機関\(Food and Agriculture Organization\):FAOSTAT2021](#)

## 日本におけるHSコード0303の国別輸出先(金額)

HSコード 0303 冷凍魚に関して、日本は合計 4 億 8,000 万ドル近くを海外に輸出しており、輸出先国トップ 2 はベトナム、タイである。

日本におけるHSコード0303冷凍魚の国別輸出先(金額) (1000 米ドル)

ランク	輸入国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
1	ベトナム	74,265	96,622	121,795	150,219	140,878	139,885	3.0%
2	タイ	123,465	183,105	147,774	172,212	151,153	125,826	-0.5%
3	中国	53,246	52,355	60,180	50,798	48,339	70,791	3.4%
4	エジプト	60,377	74,623	30,456	24,544	21,821	28,024	-10.1%
5	マレーシア	15,236	20,308	17,535	20,541	18,439	26,769	18.9%
6	香港	12,937	15,736	17,254	17,858	24,000	22,171	7.5%
7	フィリピン	22,782	35,176	15,462	20,209	19,774	22,008	0.0%
8	インドネシア	8,951	7,458	5,259	11,066	13,515	21,782	-23.1%
9	シンガポール	7,693	8,901	9,124	7,523	11,971	14,478	1.8%
10	アメリカ	3,519	5,859	9,229	8,036	11,763	13,309	-9.9%
11	台湾	6,101	5,403	5,212	5,908	6,467	11,071	25.3%
12	韓国	17,567	12,170	11,486	7,273	6,834	9,564	-12.0%
13	オーストラリア	1,269	1,260	1,441	1,438	2,115	6,874	4.3%
14	フィジー	808	1,260	2,013	1,158	1,244	5,979	-1.5%
15	ナイジェリア	27,791	48,568	50,393	25,435	18,786	4,197	-18.6%
	その他	57,915	72,755	33,210	56,756	64,787	33,011	-10.6%
	合計	527,966	621,649	522,171	578,520	541,750	477,417	-2.0%

## 水産物：主な関連HSコードとその輸入量

調査対象のにしん、いわしが属するHSコード030389の2022年のバングラデシュの輸入総額は16億円程度。

HSコード	品目	輸入額('000 USD)					CAGR (2018-2022)
		2018	2019	2020	2021	2022	
030359	かたくちいわし(エングラウリス属のもの)、さんま(コロラピス・サイラ)及びむろあじ(デカプテルス属のもの)、その他	5,659	26,228	4,391	41,423	74,986	90.8%
030389	にしん(クルペア属のもの)、ぶり(セリオーラ属のもの)、さば(スコムベル属のもの)及びうるめいわし(エトルメウス属のもの)、バラクータ(かます科又はくろたちかます科のもの)、キングクリップ(ゲニユプテルス属のもの)及びたい(たい科のもの)、その他	9,400	17,606	11,536	25,174	11,315 109億円 16億円	4.7%
030353	いわし(スプラトウス・スプラトウス、サルディナ・ピルカルドゥス及びサルディノプス属又はサルディネルラ属のもの)	3,517	7,749	6,554	2,488	126	-56.5%
030369	たら(ガドゥス属又はテラグラ属のもの)、その他	31	184	241	1,648	488	99.2%
030324	なまず(パンガシウス属、シルルス属、クラリアス属又はイクタルルス属のもの)	58	972	1,280	1,503	182	33.1%
030792 (scallops)	貝柱、その他	-	-	-	-	-	-
*0307	軟体動物(生きているもの、生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、乾燥し、塩蔵し又は塩水漬けたものに限るものとし、殻を除いてあるかないかを問わない。)及びくん製した軟体動物(殻を除いてあるかないか又はくん製する前に若しくはくん製する際に加熱による調理をしてあるかないかを問わない。)	106	224	41	119	460	44.3%

注：1米ドル=145円で暫定換算

出典：ITC Trade Map 2023 \*CAGR is for 2018-2022 as the data for 2017 flaws growth rate

## HSコード030389\*の国別輸入金額及び輸入量

調査対象のさば、いわしが属するHSコード030389\*において、日本のバングラデシュへの輸出は過去5年間で急速に増加している。年平均成長率(CAGR)は金額で87%、数量で75%である。金額ではミャンマーと中国に次いで第3位の輸出国である。

バングラデシュのHSコード030389の輸入 (金額ベース)(1000 米ドル)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
ミャンマー	7,074	2,850	504	291	6,924	4,884	-7%
中国	1,607	2,776	7,527	507	495	2,025	5%
日本	79	64	1,419	1,248	1,496	1,787	87%
ウルグアイ	2,801	1,615	3,496	1,295	1,379	1,650	-10%
インド	1,525	689	2,226	918	737	357	-25%
その他	2,430	1,406	2,434	7,277	14,143	612	-24%
合計	15,516	9,400	17,606	11,536	25,174	11,315	-6%

バングラデシュのHSコード030389の輸入 (重量ベース)(Tons)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
ミャンマー	4,770	1,336	187	164	4,638	2,351	-13%
ウルグアイ	3,376	1,917	3,810	1,340	1,704	1,835	-11%
日本	96	69	1,560	1,401	1,532	1,567	75%
インド	715	344	2,116	2,107	986	871	4%
パキスタン			17	631	696	587	-
中国	144	262	1,551	127	105	272	14%
その他	3,134	1,995	3,754	16,196	30,430	230	-41%
合計	12,235	5,923	12,995	21,966	40,091	7,713	-9%

注:1米ドル=145円  
で暫定換算

\*にしん(クルマエビ属のもの)、ぶり(セリオウ属のもの)、さば(スコムベル属のもの)及びうるめいわし(エトルメウス属のもの)

出典: ITC Trade Map 2023



# HSコード030389\*の国別トン当たりの輸入金額

HSコード030389\*の国別トン当たりの輸入金額は、日本とミャンマーでは過去5年間で年平均7%の成長を見せたものの、インドと中国では下がった。全体として、この品目をバングラデシュに輸出している全ての国において、2017年からトンあたり金額は3%の上昇に留まっている。

## HSコード030389\*の国別トン当たりの輸入金額 (米ドル/トン)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
ミャンマー	1483.0	2133.2	2695.2	1,774.4	1,492.9	2,077.4	7%
中国	11,159.7	10,595.4	4,853.0	3,992.1	4,714.3	7,444.9	-8%
日本	822.9	927.5	909.6	890.8	976.5	1,140.4	7%
ウルグアイ	829.7	842.5	917.6	966.4	809.3	899.2	-
インド	2,132.9	2,002.9	1,052.0	435.7	747.5	409.9	-28%
その他	775.4	704.8	648.4	449.3	464.8	2,660.9	28%
合計	1268.2	1587.0	1354.8	525.2	627.9	1,467.0	3%

16.5万円

注:1米ドル=145円で暫定換算

\*にしん(クルペア属のもの)、ぶり(セリオラ属のもの)、さば(スコムベル属のもの)及びうるめいわし(エトルメウス属のもの)

出典: [ITC Trade Map 2023](#)

調査対象のさば、いわしに関して、Agoraの実店舗で売られているバングラデシュ産の「いわし」のみが販売されていた。

## 店舗写真



## バングラデシュ産

### 写真



原産国

バングラデシュ

種類

いわし

価格/kg

N/A

バングラデシュにおける大手小売店であるUnimart、Wholesale Club、Agoraの店頭調査を実施

- ・メイン調査対象の「さば」「いわし」  
サブ調査対象の「にしん」「ぶり」「たい」について調査

- ・Agoraで左記のバングラデシュ産の「いわし」のみが販売されていて、輸入品は販売されていなかった。

- ・Unimart、Wholesale Clubではメイン調査対象の「さば」、「いわし」、サブ調査対象の「にしん」「ぶり」「たい」について、国産、外国産とも販売されていなかった。

# Bangladesh のオンライン・マーケット

Bangladesh のオンラインマーケットでは「さば」「いわし」ともに販売されていた。  
 ・輸入品は販売されていなかった。

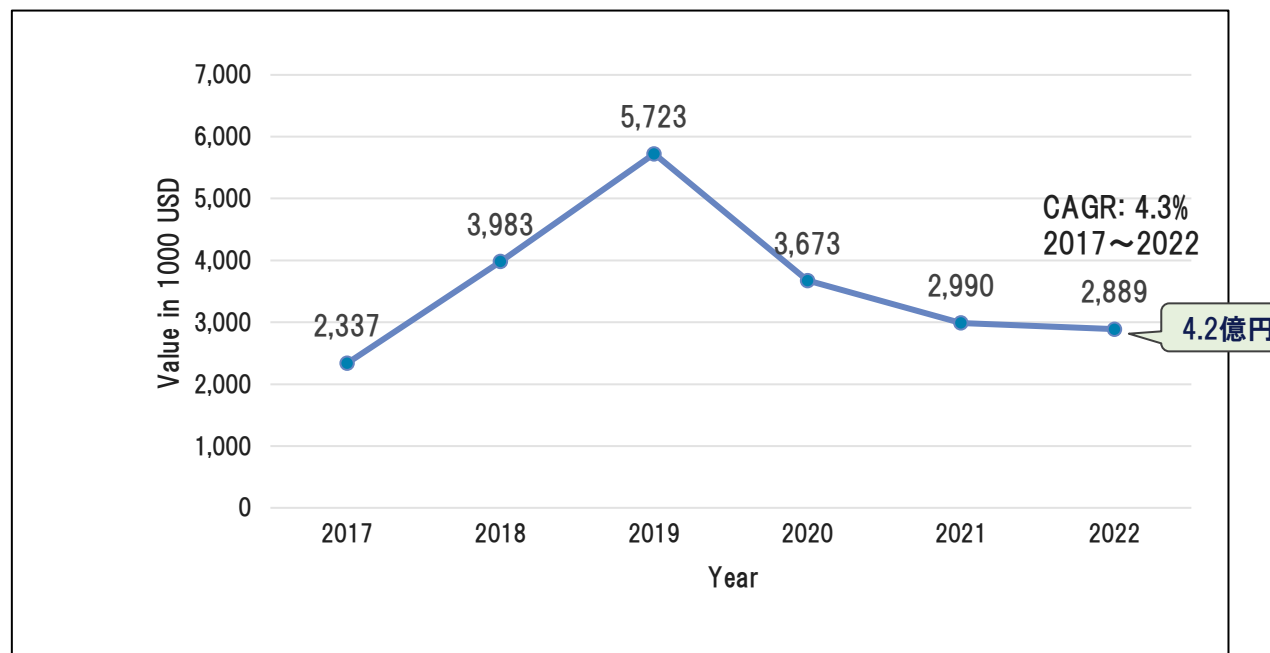
店舗名	Othoba.com	Othoba.com	Fish Mart	Fish Mart
原産国	Bangladesh	Bangladesh	Bangladesh	Bangladesh
種類 (ロカル名)	さば (Scomber scombrus)	さば (Scomber scombrus)	まさば (Scomber japonicus)	いわし
1kgあたりの 金額(Taka)	190 - 290	246 - 499	350 - 450	350 - 450
写真				

Bangladesh におけるオンライン・マーケットでは、サブ調査対象の「にしん」「ぶり」「たい」について、 Bangladesh 産・外国産とも販売されていなかった。

# 水産物:バングラデシュのHSコード1604\*の輸入金額

魚の缶詰を含むHSコード1604\*の輸入金額は、新型コロナの影響からか、2019年のピーク時から下がったものの、この5年間はCAGR4.3%で成長した。

## バングラデシュにおける魚の缶詰を含むHS1604\*の輸入金額(1000米ドル)



注:1米ドル=145円で暫定換算

\*魚(全形のもの及び断片状のものに限るものとし、細かく切り刻んだものを除く。)及びキャビア及び魚卵から調製したキャビア代用物

出典: [国連食糧農業機関\(Food and Agriculture Organization\):FAOSTAT2021](#)

## 水産物:バングラデシュの HSコード1604\* の国別輸入金額

魚の缶詰を含むHSコード1604\*に関して、バングラデシュへの輸出はUAEが圧倒的に多い。これは、UAEがHS1604の輸入・再輸出国として機能していることに由来するため、UAEからバングラデシュの輸出される製品は、UAE産ではないことが多い。

バングラデシュにおける魚の缶詰を含むHSコード1604の輸入  
(金額ベース)(1000米ドル)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
UAE	2,073	3,528	4,930	3,297	2,753	2,363	2.7%
タイ	129	152	195	248	118	180	7%
中国	0	51	435	3	0	168	-
マレーシア	86	79	56	64	69	108	5%
合計	2,337	3,983	5,723	3,673	2,983	2,889	4.3%

バングラデシュにおける魚の缶詰を含むHSコード1604の輸入  
(重量ベース)(トン)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
UAE	6,614	5,055	6,153	4,671	4,049	2,766	-16%
タイ	37	38	54	72	27	53	7%
マレーシア	27	26	18	23	26	35	5%
中国	-	36	79	2	-	28	-
合計	6,700	5,239	6,328	4,779	4,112	2,896	-15.4%

\*魚(全形のもの及び断片状のものに限るものとし、細かく切り刻んだものを除く。)及びキャビア及び魚卵から調製したキャビア代用物

出典: ITC Trade Map 2023

## 水産物: バングラデシュのHSコード1604\* の国別トン当たりの輸入金額

魚の缶詰を含むHSコード1604 \*の国別トンあたりの輸入金額については、UAEが過去5年間におよそ22.2%のCAGRで上昇した。

バングラデシュにおける魚の缶詰を含むHSコード1604\*の国別トン当たりの輸入金額  
(米ドル/トン)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
UAE	313	698	801	706	680	854	22.2%
タイ	3,486	4,000	3,611	3,444	4,370	3,396	-0.5%
中国	0	1,417	5,506	1,500	0	6,000	-
マレーシア	3,185	3,038	3,111	2,783	2,654	3,086	-0.6%
合計	349	760	904	769	725	998	23.4%

\*魚(全形のもの及び断片状のものに限るものとし、細かく切り刻んだものを除く。)及びキャビア及び魚卵から調製したキャビア代用物

出典: [ITC Trade Map 2023](#)

## 日本におけるHSコード1604\*の国別輸出先(金額)

魚の缶詰を含むHSコード1604\* に関しては、2022年に日本からの輸出総額は約2億500万米ドルであった。UAE、マレーシア、サウジアラビアなどイスラム諸国も輸出先上位15カ国に入っている。バングラデシュはUAEからの再輸入品が多いため、日本産製品がUAEからバングラデシュへ流通している可能性もある。

日本における魚の缶詰を含むHSコード1604\*の国別輸出先(金額)  
(1000 米ドル)

ランク	輸出先国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
1	アメリカ	37,409	42,890	46,125	43,212	50,434	51,143	8.9%
2	台湾	12,710	18,183	18,681	22,358	30,588	45,709	6.5%
3	香港	26,402	28,659	28,500	27,711	29,255	26,243	29.2%
4	タイ	6,283	11,621	11,452	9,025	12,333	15,676	-0.1%
5	中国	6,954	12,817	19,012	19,581	16,936	14,918	20.1%
6	韓国	6,405	7,034	5,367	5,621	5,277	7,851	16.5%
7	ベトナム	1,232	1,317	1,405	1,867	1,803	5,272	4.2%
8	シンガポール	3,350	4,485	5,372	4,766	6,148	5,167	33.7%
9	マカオ	2,131	2,131	2,906	2,216	3,395	4,451	9.1%
10	オーストラリア	3,123	3,079	3,275	3,210	7,031	4,234	15.9%
11	マレーシア	1,262	1,489	1,646	1,391	3,214	3,879	6.3%
12	UAE	1,347	1,076	1,305	996	2,708	3,503	25.2%
13	カナダ	2,313	1,997	2,472	2,292	2,422	3,501	21.1%
14	サウジアラビア	11,022	8,012	5,649	4,293	3,239	3,108	8.6%
	その他	11,614	10,845	15,334	15,478	11,871	10,143	-2.7%
	合計	133,557	155,635	168,501	164,017	186,654	204,798	-22.4%

\*魚(全形のもの及び断片状のものに限るものとし、細かく切り刻んだものを除く。)及びキャビア及び魚卵から調製したキャビア代用物

出典: ITC Trade Map 2023

# Bangladesh のHSコード160420\*の国別輸入金額

魚の缶詰などのHSコード160420 \* に関して、UAEの Bangladesh への輸出が過去5年間ほとんどを占めた。UAEからの輸入金額のCAGRは0.3%、重量はマイナス16%であった。

Bangladesh における魚の缶詰などのHSコード160420\*の輸入  
(金額ベース)(1000 米ドル)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
UAE	2,013	3,334	4,575	3,030	2,697	2,041	0.3%
マレーシア	84	79	56	63	66	103	4.2%
タイ	0	0	0	0	0	11	-
サウジアラビア	0	6	3	3	7	8	-
合計	2,097	3,547	4,641	3,099	2,770	2,164	0.6%

Bangladesh における魚の缶詰などのHSコード160420 \*の輸入  
(重量ベース)(トン)

輸出元国	2017	2018	2019	2020	2021	2022	CAGR 2017~2022
UAE	6,541	4,904	5,884	4,455	4,040	2,731	-16%
マレーシア	27	26	18	22	22	33	4.1%
タイ	0	0	0	0	0	6	-
サウジアラビア	0	1	1	1	1	2	-
日本	0	0	2	0	0	0	-
合計	6,568	5,021	5,906	4,478	4,063	2,772	-15.8%

\*魚介類を塩漬け、乾燥、燻製、ピクルス漬け、缶詰、瓶詰、冷凍、冷蔵、その他の方法で加工したもの。魚介類の肉、卵、肝臓、その他の部分を加工したもの。魚介類を含む食品(魚介類を主原料としたもの、または魚介類が重要な構成要素となっているもの)

出典: [ITC Trade Map 2023](#)



# Unimart - 魚の缶詰

Unimartが輸入しているさば缶はイギリスのTescoとMarks & Spencer(M&S)のみで、M&Sのさば缶はUnimartで販売されているさば缶の中で最も高価である。

- ・ Unimartでは日本産のさば・いわしの缶詰は販売されていなかった。

## 店舗写真



## イギリス産

写真



## イギリス産



## イギリス産



原産国

イギリス

イギリス

イギリス

種類

さば  
(チリソース)

さば  
(トマトソース)

さば  
(フィレ)

価格/100g

360 Taka

360 Taka

616 Taka

# Unimart - 魚の缶詰

Unimartは韓国から輸入したさばの缶詰も販売している。

## 店舗写真



## 韓国産

写真



原産国

韓国

種類

さば

価格/100g

180 Taka

# Unimart - 魚の缶詰

Unimartはインドネシア及びスペインから輸入したいわしの缶詰を販売している。スペイン産は100グラムで1,047Takaと、輸入魚の缶詰の中では最も高価である。

## 店舗写真



## 写真

### インドネシア産



### インドネシア産



### スペイン産



## 原産国

インドネシア

インドネシア

スペイン

## 種類

いわし  
(ベジタブルオイル)

いわし  
(ベジタブルオイル)

アンチョビ  
(いわし)

## 価格/100g

144 Taka

160 Taka

1,047 Taka

Unimartでは、バングラデシュ産の「さば」「いわし」の缶詰は販売されていなかった。またサブ調査対象の「にしん」、「ぶり」、「たい」の缶詰に関して、バングラデシュ産・外国産とも販売されていなかった。

# Wholesale Club – 魚の缶詰

Wholesale Club ではインドネシア産の「いわし」の缶詰が販売されていた。

- ・ Wholesale Clubでは日本産のさば・いわしの缶詰は販売されていなかった。

## 店舗写真



## インドネシア産

写真



原産国

インドネシア

種類

いわし  
(ベジタブルオイル)

価格/100g

160 Taka

Wholesale Clubでは、外国産の「さば」の缶詰、バングラデシュ産の「さば」「いわし」の缶詰は販売されていなかった。

またサブ調査対象の「にしん」「ぶり」「たい」の缶詰に関して、バングラデシュ産・外国産とも販売されていなかった。

# Agora - 魚の缶詰

Agoraでは、インドネシア産の「いわし」の缶詰が販売されていた。  
 ・Agoraでは日本産のさば・いわしの缶詰は販売されていなかった。

## 店舗写真



## インドネシア産

写真



原産国

インドネシア

種類

いわし  
(ベジタブルオイル)

価格/100g

N/A

Agoraでは、外国産の「さば」の缶詰、  
 バングラデシュ産の「さば」「いわし」の  
 缶詰は販売されていなかった。

またサブ調査対象の「にしん」「ぶり」  
 「たい」の缶詰に関して、バングラデ  
 シュ産・外国産とも販売されていなかっ  
 た。

# バングラデシュのオンライン・マーケットで販売されている缶詰

バングラデシュ国内のオンライン・マーケットでは、「いわし」の缶詰(原産国不明)が僅かに確認できたが、「さば」の缶詰は販売されていなかった。

・バングラデシュのオンライン・マーケットでは日本産のさば・いわしの缶詰は販売されていなかった。

店舗名	Daraz.com.bd	Daraz.com.bd
ブランド	La Fish	Royal Fish
原産国	NA	NA
魚の種類	いわし	いわし
重量	125g	125g
価格(Taka)	226	320
Picture		

# 水産物：バングラデシュにおける魚食文化

バングラデシュでは魚の生産量と消費量が多く、魚は主食の1つと考えられている。

## バングラデシュにおける魚食文化

### 食文化における重要性:

ヒルサのような特定の魚種は、バングラデシュでは文化的・伝統的な意味を持っており、祭りや特別な行事の際にも食べられている。

### 料理のスタイル:

バングラデシュで魚はカレー、グリル、フライ、シチューなど様々な調理法で食べられている。調理法は地域や個人の好みによって異なる。

### 輸入魚と国産魚の比較:

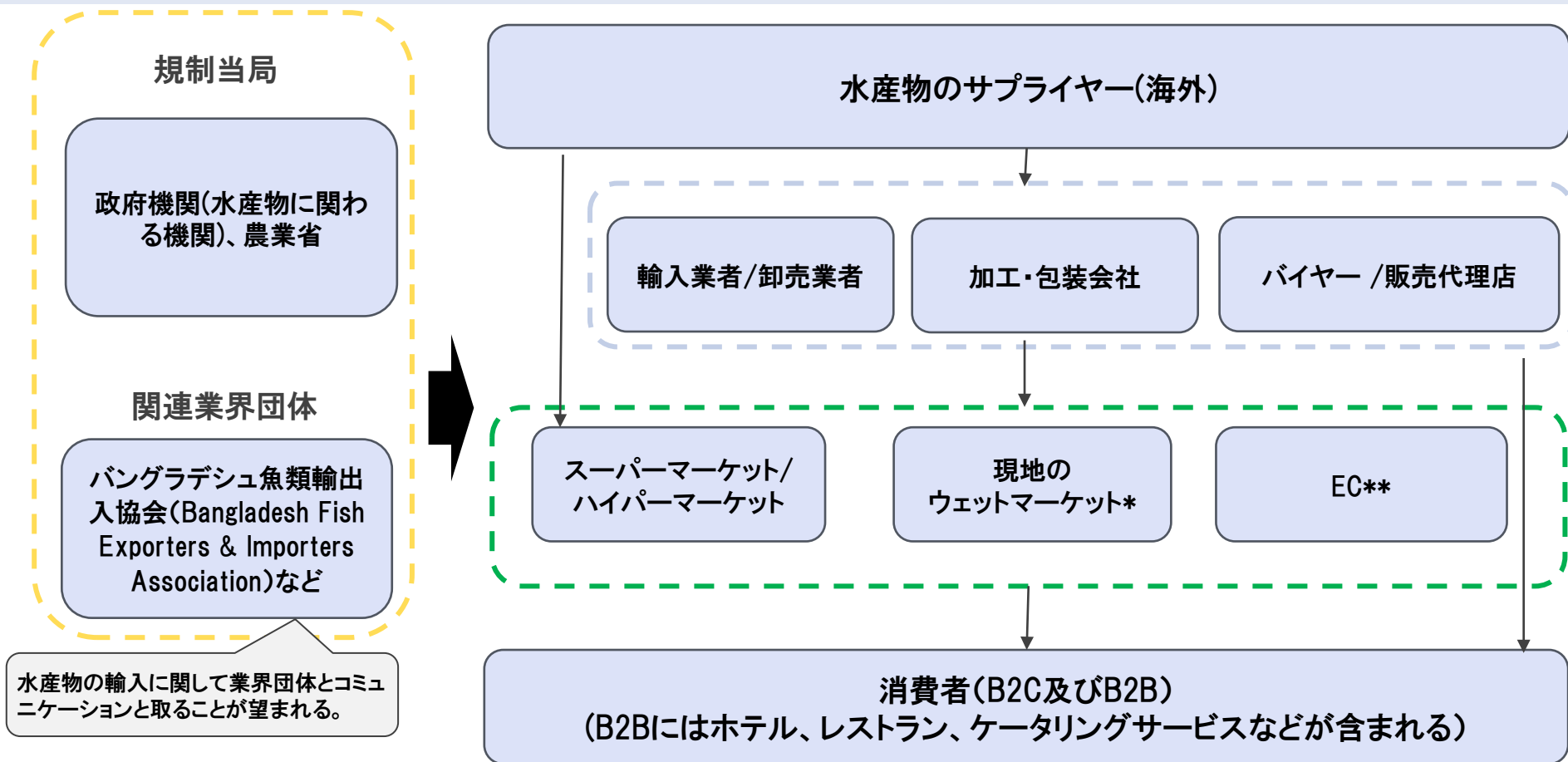
国産魚の生産は主に地元の需要を満たすが、高級魚や外国産輸入魚は、バラエティや特定の味覚嗜好を求める高所得層に需要を持つ可能性を秘めている。

### 地方と都市の消費比較:

魚の消費パターンは地方と都市部で異なることがある。地方では、地元産の淡水魚の消費量が多いが、都市部では輸入魚や加工魚の消費も見られる。

# 水産物(いわし、さば)の流通ルート

Bangladeshでは、水産物の販売は実店舗で行われるのが一般的である。ほとんどの人は生鮮市場で水産物を購入するが、中・高所得者はスーパーマーケットやオンラインストアで輸入水産物を購入することもある。



\* ウェットマーケットは、スーパーマーケットとは異なり、屋外の露天や屋内の通路で、生鮮食品を直接販売している。そのため、床が濡れていることから「ウェットマーケット」と呼ばれるようになった。東南アジアや中国など、アジアの多くの地域で見られる。 \*\* 大手の卸売業者は自社のECを持っていてそこから販売しているケースもある。



# 水産物のバングラ市場への輸出条件や流通拡大の可能性

さば・いわしの缶詰に関しては、外国産がいくつか販売されていて、日本産の販売可能性が感じられる。

## さば・いわしの冷凍品

- ・大手の小売店で輸入品は販売されておらず、オンライン・マーケットで国産品がわずかに販売されている状況からすると、日本からの輸出拡大はかなり難しいものと想定

## さば・いわしの缶詰

- ・他方、缶詰はインドネシア産、イギリス産、韓国産などが販売されており、日本産の販売可能性が感じられる。

## 想定される主な販売ターゲット

- 主に高所得者層で、中低所得者層はターゲット外となりそう
- ・高所得者層の年収— 13,68,010 Taka (180万6千円) 以上
- ・アッパーミドル層— 4,42,553 Taka (58万4千円) から 13,67,901 Taka (180万6千円)

高所得者層・日本食レストラン等に流通させることができる現地流通業者と協業することが重要

現状でもオンラインまたは一部のスーパーマーケット店舗で購入可能

- ・ネット通販: DarazやEnedao  
[www.daraz.com.bd](http://www.daraz.com.bd)  
[www.enedao.com.bd](http://www.enedao.com.bd)

- ・店舗: Unimart Gulshan 2,  
<https://unimart.online/>  
(House No. 23, Gulshan Centre Point, 26 Rd 90, Dhaka 1212)

注: 1Taka=1.32円で換算

出典: [World Bank](http://World Bank), GLOBAL ANGLE Local Research

## 日本からの水産物(さば、いわし)の輸出に関する課題と潜在機会・戦略

さば・いわしの缶詰に関しては、バングラデシュにおけるコールドチェーン課題は関係せず、すでにいくつかの外国産が小売店で販売されており、高所得者層向けに日本産の販売可能性が感じられる。

項目	課題	潜在機会・戦略
コールドチェーン	食品流通業者であるMondial Foodsがコールドチェーンを必要とする食品の流通市場を独占している状態であるバングラデシュにおいて、高い輸入コスト、流通の制限、腐敗などの障害・リスクが存在する。	・冷凍魚輸出のためのシームレスなコールドチェーンを確保するため、現地の流通業者と協業、またはパートナーシップを構築する必要がある。ハズラット・シャージャラル国際空港第3ターミナルのコールドチェーン用倉庫は建設中で、間もなくオープンする予定であり、このコールドチェーン問題の解決策となることが期待されている。
複雑かつ頻繁に改正される規制	バングラデシュでは規制や基準等が品目を問わず頻繁に変化する傾向がある。水産物も例外ではない。	政府および輸入事業者と密に連携し、政策変更について常に情報をアップデートしている輸入業者と協業することが必要。
他国から輸入された缶詰魚の価格競争力	タイ、韓国、インドネシアなどから輸入された缶詰魚の価格が安価であるため、日本から缶詰魚を輸出した場合、価格競争力が十分でない。	・イギリス産やシンガポール産など、比較的高価な商品を取り扱っているUnimart等の小売店の顧客は、日本から輸入された高価な商品でも購入する可能性があるため、ターゲットを高所得者に絞った流通戦略を採る必要がある。 ・魚の缶詰に関しては、主に高所得者層を中心としてその利便性から人気が高まって入るため、潜在的に可能性のある品目であると言える。
業界団体の影響力	バングラデシュ魚類輸出入協会などが業界団体として存在している。	輸出の際の協業企業を検討する際に、バングラデシュ魚類輸出入協会などの会員である企業を選定することで、すでに輸入実績のある企業とスムーズな取引ができること期待できる。

# 参考：Unimart - 冷凍魚

Unimartはベトナムとノルウェーからの輸入冷凍魚を販売している。ノルウェーからの輸入魚は高価である。

・Unimartでは日本産の魚は販売されていなかった。

## 店舗写真



## ベトナム産

写真



## ノルウェー産



## ノルウェー産



原産国

ベトナム

ノルウェー

ノルウェー

種類

ドリーフィッシュ  
(フィレ)

サーモン  
(フィレ)

サーモン  
(スモーク)

価格/kg

575 Taka

3,733 Taka

10,500 Taka

# 参考：Unimart - 冷蔵魚

Unimartで販売されている新鮮な冷蔵魚のほとんどは、地元バングラデシュ産の魚である。

## 店舗写真



	バングラデシュ産	バングラデシュ産	バングラデシュ産
写真			
原産国	バングラデシュ	バングラデシュ	バングラデシュ
種類	Kaski	Shor Puti	Bata
価格/kg	650 Taka	625 Taka	750 Taka

# 参考：Unimart - 冷蔵魚

Unimartで販売されている新鮮な冷凍魚のほとんどは、地元バングラデシュ産の魚である。

## 店舗写真



	バングラデシュ産	バングラデシュ産	バングラデシュ産
写真			
原産国	バングラデシュ	バングラデシュ	バングラデシュ
種類	Kaika	Tatkini	Ghaura
価格/kg	750 Taka	825 Taka	995 Taka

# 参考：Unimart - 冷蔵魚

Sea Jeba KoralとSea Grouperは輸入魚の可能性が高いが、原産地は特定できなかった。Unimartはノルウェーからサーモンも輸入しており、これはUnimartで販売されている魚の中で最も高価である。

## 店舗写真



## 原産国不明

### 写真



## 原産国不明



## ノルウェー産



### 原産国

N/A

N/A

ノルウェー

### 種類

Sea Jeba Koral

Sea Grouper

サーモン

### 価格/kg

720 Taka

830 Taka

2,550 Taka

# 参考：Wholesale Club - 冷凍魚

Wholesale Clubで販売されている冷凍魚には、白身魚のほか、ノルウェー産のサーモンもある。GLOBEはバングラデシュの地元企業で、魚を包装して国内外の消費者に卸している。したがって、白身魚の切り身が輸入品なのか現地生産品なのかは不明であった。

・Wholesale Clubでは日本産の魚は販売されていなかった。

## 店舗写真



## 原産国不明

写真



## ノルウェー産



## ノルウェー産



原産国

N/A

ノルウェー

ノルウェー

種類

白身魚  
(フィレ)

サーモン

サーモン  
(スモーク)

価格/kg

650 Taka

5,800 Taka

9,700 Taka

# 参考：Agora - 冷凍魚

Agoraで売られている冷凍魚のほとんどは地元産であった。

・Agoraでは日本産の魚は販売されていなかった。

## 店舗写真



## バングラデシュ産

## バングラデシュ産

### 写真



原産国

バングラデシュ

バングラデシュ

種類

ルプチャンダ

ボンベイダック

価格/kg

1,760 Taka

N/A



# 参考：Agora - 冷凍魚

Agoraでは、ベトナム産のドリーフィッシュのフィレと、輸入国不明のボアルの2種類しか輸入魚は販売されていなかった。

## 店舗写真



## ベトナム産

## 輸入魚

### 写真



### 原産国

ベトナム

N/A

### 種類

ドリーフィッシュ  
(フィレ)

ボアル

### 価格/kg

700 Taka

283 Taka

# 参考：Unimart - 魚の缶詰

Unimartでは様々な輸入魚の缶詰を販売している。シンガポールのブランドであるAyam Brandは、Unimartでは品揃えの豊富なブランドで、このページと次のページのように5種類の商品を販売している。Ayam Brandはツナ缶のみを販売している。

## 店舗写真



## 写真

### シンガポール産



### シンガポール産



### シンガポール産



## 原産国

シンガポール

シンガポール

シンガポール

## 種類

ツナ(チリ)

ツナ(マヨネーズ)

ツナ(水)

## 価格/100g

360 Taka

360 Taka

384 Taka

# 参考：Unimart - 魚の缶詰

Unimartでは様々な輸入魚の缶詰を販売している。シンガポールのブランドであるAyam Brandは、Unimartでは品揃えの豊富なブランドで、このページと前のページのように5種類の商品を販売している。Ayam Brandはツナ缶のみを販売している。

## 店舗写真



## シンガポール産

## シンガポール産

写真



原産国

シンガポール

シンガポール

種類

ツナ  
(サンフラワーオイル)

ツナ  
(オリーブオイル)

価格/100g

384 Taka

384 Taka

# 参考：Unimart - 魚の缶詰

Unimartは韓国から輸入したツナ缶を販売している。シンガポールのAyam BrandIに比べると安価である。

## 店舗写真



## 韓国産

写真



## 韓国産



原産国

韓国

韓国

種類

ツナ

ツナ

価格/100g

220 Taka

220 Taka

# 参考：Unimart - 魚の缶詰

Unimartがツナ缶を輸入している英国ブランドは、John WestとTescoの2つである。John Westのツナ缶(331Taka/100g)はTescoのツナ缶(362Taka/100g)より安価で売られている。

## 店舗写真



### 写真

## イギリス産



## イギリス産



## イギリス産



原産国

イギリス

イギリス

イギリス

種類

ツナ  
(サンフラワーオイル)

ツナ  
(塩水)

ツナ  
(天然水)

価格/100g

331-362 Taka

331-362 Taka

331-362 Taka

# 参考：Wholesale Club – 魚の缶詰

Wholesale Clubでは、オマーンのBellaとタイのNautilusが一般的なブランドで、Bellaのツナ缶はNautilusのツナ缶よりも安価である。

## 店舗写真



写真

オマーン産



オマーン産



タイ産



原産国

オマーン

オマーン

タイ

種類

ツナ  
(サンフラワーオイル)

ツナ  
(塩水)

ツナ  
(天然水)

価格/100g

190 Taka

190 Taka

297 Taka

# 参考：Wholesale Club – 魚の缶詰

Wholesale Club ではタイ産のツナ缶も販売されている。

## 店舗写真

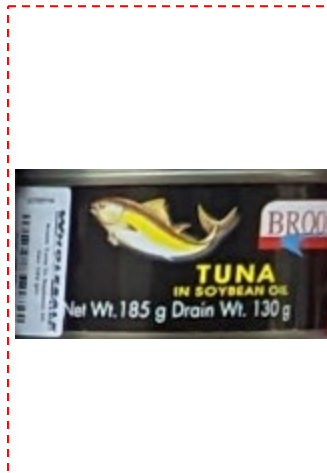


写真

タイ産



タイ産



原産国

タイ

タイ

種類

ツナ  
(大豆油)

ツナ  
(大豆油)

価格/100g

297 Taka

319 Taka

# 参考：Agora - 魚の缶詰

シンガポールのAyam BrandもAgoraで販売されているが、Unimartに比べると種類は少なく、販売価格も不明。

## 店舗写真



	シンガポール産	シンガポール産	シンガポール産
写真			
原産国	シンガポール	シンガポール	シンガポール
種類	ツナ (サンフラワーオイル)	ツナ (水)	ツナ (オリーブオイル)
価格/100g	N/A	N/A	N/A



# 参考：Agora - 魚の缶詰

Agoraでは、タイのツナ缶ブランドであるKing Bellもよく見かけられた。Unimartのシンガポール産Ayam Brandの価格を参考にするとKing BellはAyam Brandよりも低価格である。

## 店舗写真



## 写真

## タイ産



## タイ産



## タイ産



原産国

タイ

タイ

タイ

種類

ツナ  
(マヨネーズ)

ツナ  
(トマトソース)

ツナ  
(ベジタブル)

価格/100g

142 Taka

142 Taka

142 Taka

# 参考：Agora - 魚の缶詰

Agoraもアメリカからツナ缶を輸入している。

## 店舗写真



写真

## アメリカ産



## アメリカ産



原産国

アメリカ

アメリカ

種類

ツナ

ツナ  
(サンフラワーオイル)

価格/100g

N/A

N/A

## 参考：バングラデシュのオンライン・マーケットで販売されている缶詰

バングラデシュ国内のオンラインで販売されている缶詰はツナが主流で、原産国はバングラデシュ、マレーシア、タイが確認できた。

・日本産の魚の缶詰は販売されていなかった。

店舗名	Chaldal	Banglashoppers.com	Shwapno	Daraz.com.bd	Agora Super Stores
ブランド	King Bell	Ceylan	Ayam Brand	Nautilus	Canned Hilsa
原産国	バングラデシュ	バングラデシュ	マレーシア	タイ	バングラデシュ
魚の種類	ツナ	ツナ	ツナ	ツナ	ヒルサ
重量	185g	165g	185g	165g	185g
価格(Taka)	220	228	575	265	320
Picture					

## 流通構造

### 調査対象品目別調査・分析

- ・米
- ・牛肉
- ・ぶどう
- ・水産物（さば、いわし）

## 参入戦略提言まとめ

日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段

輸入品に係るハラール認証の実態

主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率

バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

# バングラデシュへの日本食品輸出の課題と潜在機会・戦略 - 品目共通

調査品目共通の戦略として、日本産の高品質・高価格の日本産の特性に合わせて、スーパーマーケットを販売チャネルとして、高所得者層にアプローチすることが販売拡大のために重要である。

項目	課題	潜在機会・戦略
市場参入 (価格及びチャネル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Darazなどの少数の中国系を除き、ほとんどの小売チェーンが地元財閥の所有であるため、国内でのコネクションが少ない外資にとって適切な参入ポイントを見つけることが容易ではない。</li> <li>・低価格のローカル製品に対する需要が高い。</li> </ul>	Gulshanなど、高所得者及びバングラデシュ在住外国人が集まるエリアにおける外国製品への関心・需要の高まりにフォーカスしたチャネルを展開する。
流通チャネルとネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府管轄の市場、公共店舗、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなど、流通チャネルが細分化されている。</li> <li>・日本からの食品にとってスーパーマーケットが最も適切なチャネル選択肢だが、エリートの上位4%のみがターゲットである。</li> </ul>	まずはスーパーマーケットへの売り込みが重要。
価格	ローカル生産の商品及び特惠貿易協定や地理的要因などにより安価に入手できるインド産製品の競争力の高い価格に比べて、他国からの輸入品は高価になってしまう。	現段階ではバングラデシュ全体をターゲットにするより、より高所得な人々が多いエリアやチャネルでいかに効率的に商品が販売できるかを検討すべきである。
規制遵守	業界によって規制が頻繁に変更され、政府関連省庁からの同意書(No objection Certificate)が必要な場合もある。	規制を把握するために各品目を担当しているバングラデシュ国内の協会と輸入者が連携することで状況把握が可能。調査対象品目に関してはバングラデシュ生鮮果物輸入協会(Bangladesh Fresh Fruits Importers Association)とバングラデシュ食肉輸入協会(Bangladesh Meat Importers Association)などとの連携が必要

## 流通構造

### 調査対象品目別調査・分析

- ・米
- ・牛肉
- ・ぶどう
- ・水産物（さば、いわし）

### 参入戦略提言まとめ

## **日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段**

### 輸入品に係るハラール認証の実態

### 主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率

### バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

# 輸入プロセスの概要

以下はバングラデシュの入港地での一般的な輸入手続き概要である。

プロセス	輸入前		製品到着		到着後
	登録	輸入申告	ボーダー・コントロール・サンプリング	検査とサンプル採取	通関手続き
プレーヤー	輸入業者および輸出入首席管理長官事務所(CCIE)	輸入者	関税局	関係省庁(水産物であれば漁業畜産省など)	輸入者
アクション	オンラインライセンシングモジュール(OLM)を通じて、CCIEに輸入登録証明書(IRC)の申請書を提出	<b>輸入申告書(IDF)の提出</b>	検査用サンプルの採取	既存の規制(特定の衛生/植物検疫または技術的措置)に準拠しているかを検品	通関業者(C&F Agent)を指名
	関係省庁(水産物であれば漁業畜産省など)からNo objection Certificate (同意書)を取得	関税と税金の支払い	食品安全上の危害がないかサンプルを検査	抗生物質の残留検査を含む検査用サンプルの収集	通関書類の提出
	銀行からの信用状(LC)の発行	税関からリリース・オーダー(CRO)を受け取る	サンプルが検査に合格した場合、国内における輸送を許可	サンプルが検査に合格した場合、国内における輸送を許可	通関手数料の支払い
関連書類	申請書、インボイス、貿易許可証、TIN証明書(納税者番号証明書)	輸入申告書**(IDF)、インボイス、パッキングリスト、船荷証券、保険証書	サンプル採取報告書	検査報告書	通関契約書
	関係省庁からの No objection Certificate (同意書)	関税・税金の領収書	検査結果	検体採取報告書および検査結果	通関書類
	LC申請書、輸入登録証明書	リリースオーダー(CRO)	リリースオーダー	リリースオーダー	通関手数料納付領収書

\*バングラデシュの貿易許可証は、商務省の貿易局が発行する必須書類。これは、国内で合法的に輸出入貿易活動に従事する事業者を許可するものである。貿易省(Department of Trade)は、全国にある地域事務所を通じて貿易ライセンスを発行している。

\*\*輸入申告書(IDF: Import Declaration Form): 輸入品の正式な申告書。

出典: [Bangladesh Trade Portal 2023](#), GLOBAL ANGLE Local Research with Distributors and Customs Brokers

# チッタゴン海港における輸入プロセスの概要

バングラデシュの最大の海港であるチッタゴン海港は、オンライン手続きが部分的に取り入れられているため、以下のチッタゴン港における輸入プロセスは前ページの一般的なプロセスとは異なる部分がある。以下の表における赤字部分は、チッタゴン海港特有のプロセスである。

プロセス	輸入手続き			通関手続き				引渡し					
	輸入前	製品到着前		製品到着				到着後					
プレーヤー	輸入者	配送業者	税関	通関業者 (C&Fエージェント)	税関	輸入者	税関	通関業者 (C&Fエージェント)	税関	通関業者 (C&Fエージェント)			
アクション	税関 (ASYCUDA) を通じてオンラインで輸入手続きを開始*	船の予約	税関申告書を受け取り、審査が必要な場合は輸入業者に通知する	輸入申告書の提出	商品を提出書類により査定し、必要に応じて輸入品を検査 関税・税金の計算と徴収	関税と税金の支払い	リリースオーダーの発行	通関の手配 (C&Fエージェントが税関のアウトパスセクションに書類を提出)	書類を確認し、商品を検査し、情報をASYCUDAに入力* 通関許可	C&Fエージェントが配送業者から配送依頼を受ける	バイヤーに商品を納品し、輸入業者が倉庫から出荷		
関連書類	発注書、契約書、パッキングリスト、請求書	船荷証券	税関申告書	輸入申告書、インボイス、パッキングリスト、船荷証券、保険証券	関税コード、関税評価	関税・税金査定通知書	支払領収書	リリースオーダー	C&Fエージェントが、受領通知書を歳入次官補 (ARO) に提出	通関書類、貨物検査報告書	通関証明書	C&F エージェントが港湾費用を支払い、船荷証券を決済	納品書

注: ASYCUDA (Automated System for Customs Data) は、ほとんどの外国貿易手続きをカバーするデジタル通関管理システム

出典: [Bangladesh Trade Portal 2023](#), [USDA 2022](#), GLOBAL ANGLE Local Research with Distributors and Customs Brokers



# 調査対象品目の輸入登録証明書取得要件

輸入登録証明書を取得するために、輸入政策令\*12021-24の書類が推奨されている。特定の品目については、輸入業者が現地の商工会議所や協会に所属し、会費を支払って会員証を取得することが重要であり、政府からも示唆されている。

輸入登録証明書を取得するための基本的な要件は調査対象の5品目についてわずかしがなく、規制としては、米と牛肉を除くすべての品目について輸入許可はそれほど複雑ではないと考えられる。

調査対象品目	品目番号*2	輸入登録証明書を取得するための基本的な要件	地元商工会議所の会員証
米	22.16.A,B	US\$50,000未満で公的機関の輸入であれば信用状(LCA*3)は不要。US\$50,000以上の公的機関の輸入、または私的機関の輸入にLCAが必要となる原産地証明書を税関に提出する必要がある。 加えて輸出国から税関検疫官に米の衛生品質に関する鑑定書を提出する必要がある。	-
牛肉	22.16.A,D	牛肉、羊肉、鶏肉またはその他の動物の消耗食肉を輸入する場合、輸出国が製造年月日と消費期限を容器に刻印／印刷し、保存工程を記載しなければならない。別途印刷したラベルを容器に貼ってはならない。 冷凍肉・魚介類を生鮮品として輸入するには、臨時倉庫*4を用意する必要がある、それは銀行保証付きで輸入者の責任である。	バングラデシュ食肉輸入貿易協会
ぶどう	22.16.C	南アジア地域協力連合諸国に関してのみ、生鮮果物、魚、野菜などの容易に腐敗しやすい食品を輸入する場合、輸出国の政府または機関が発行した放射能に関する証明書を提出しなければならないとしているが、日本からの輸入には不要である。 ぶどうを生鮮品として輸入するには、臨時倉庫を用意する必要がある、それは銀行保証付きで輸入者の責任である。	バングラデシュ生鮮果実輸入協会
冷凍魚	該当なし	該当なし	-
魚の缶詰	22.30	魚の缶詰を輸入する場合、容器に製造年月日、賞味期限、正味重量をバングラ語または英語で刻印またはコンピュータ印刷しなければならない、別途印刷したラベルを容器に貼ってはならない。	-

\*1 バングラデシュの輸入政策令(IPO)は、商品の輸入に関する政府の規制と手続きの概要を示す主要な法的文書として機能している。IPOには、輸入が許可される品目と制限される品目、製品カテゴリーごとの具体的な要件、輸入許可手続き、その他輸入に関わる規定が詳細に記載されている。商務省(MoC)は、1950年の輸出入(管理)法に基づき、2022年に輸入政策令(Import Policy Order)2021-24を官報告示により発行した。

\*2 輸入品目を識別するための番号

\*3 LCA: Letter of Credit Authorization Form 輸入者は、商務省貿易局(DoT)からLCAを取得する。輸入者が指定された限度額内で特定の商品を入力するために、DoTが指定銀行に信用状の発行を許可するもので、米は指定品目に入るため輸入者は、商務省貿易局(DoT)からLCAを取得する必要がある。) )

\*4 臨時倉庫は、民間企業、税関における民間サービス、物流会社によるサービス、コールドチェーン業者を通じて用意できる。

出典: [Bangladesh Trade portal 2023 Import Policy Order 2021-24 \(1\) \(2\) \(3\)](#)

# すべての製品に必要な輸入申告

バングラデシュに輸入される全ての製品に輸入申告が必要であり、免税または輸入停止措置が適用されない限り、関税が課される。申告は、必要事項を記入・署名した用紙に、以下の最低限必要な添付書類を添えて提出することで行われる。C&Fエージェントと呼ばれる通関業者は、一般的に輸入手続きを輸入者に代わって行っている。

## すべての製品に必要な輸入申告書

- 商品のサプライヤーからの商業送り状または売買契約書類
- 船荷証券や航空貨物運送状などの輸送書類
- パッキングリスト(ある場合)
- 原産地証明書(輸出業者から提供されたものでなければならない)
- 輸入する貨物の種類に応じて、バングラデシュの関連省庁から取得した輸入許可証または許認可

輸入申告書は最寄りの税関に提出することができる。

輸入申告書は、税関に貨物の到着を通知する輸送書類(マニフェストなど)を提出した日から15日以内に、輸入申告書を税関に提出しなければならない。現在、チッタゴン税関へは自動通関管理システムASYCUDAを利用して提出する。

注: ASYCUDA(Automated System for Customs Data)は、ほとんどの外国貿易手続きをカバーするデジタル通関管理システム。  
出典: [Bangladesh Trade Portal 2023](#), GLOBAL ANGLE Local Research with Distributors

## バングラデシュ政府による米のバッファーストックを維持する政策

バングラデシュ政府は食料安全保障を確保するため、米のバッファーストックを維持する政策をとっている。そのため、米の輸入金額や輸入量は年によって大きく変動する。

### バングラデシュ政府による米のバッファーストックを維持する政策

バングラデシュ政府は、米のバッファーストックを、国民の食料安全保障を保障するための最低限の量として、国内の年間消費量の3か月分程度を目標としている。

- ・政府は、国内の米の生産量や価格動向を踏まえて、必要な量の米を買い付け、国の倉庫に保管され、必要に応じて国民に供給される。
- ・国内の米の需給が逼迫した場合、政府は海外から米を輸入することもある。

この目標量を達成しているときは、海外からの米の輸入を抑制し、国内の農業の発展を促進する政策を実施する。

- ・バッファーストックは低価格な米が在庫の対象となっており、日本産米のような高価格な米は購入の対象外であるが、米の輸入規制の手段として関税率が利用されているため、日本からの米の輸出にも影響を与える。

## バングラデシュの米の変動関税制

バングラデシュは米の変動関税制度を導入しており、税率は国内の生産量と市場の状況によって変動する。政府は食料安全保障を確保し、国内の米農家を支援するためにこの制度を導入している。

### バングラデシュの米の変動関税制

#### 制度の仕組み

政府は米の国内生産量を定期的に監視し、それに応じて関税率を調整する。国内生産量が少ない場合、政府は輸入を奨励するために低い関税を課し、生産量が増えると国内農家を保護するために関税を引き上げる。。

#### 関税制度の影響

米の動的関税制度は、バングラデシュにさまざまな影響を与えてきた。一方では、国内の米農家を保護し、国内生産を奨励することで、食料安全保障の確保に役立ってきた。その一方で、特に国内生産量が少ない時期には、輸入米の流通が増えるため消費者にとって米がより高価なものとなるという消費者サイドへの課題もある。

輸入規制に関してはバングラデシュにおける外貨準備高確保も影響しているものと想定される。

# バングラデシュにおける米の輸入関税の変化

バングラデシュにおける米の輸入関税は、国内の税法と規制を管理する政府機関である国家歳入庁(NBR)によって設定される。NBRは、1)国内生産が国内需要を満たしていない場合、国民を保護するため、2)国内米価格を国際米価格と競争させるため、3)政府の歳入を確保するため、関税を調整することがある。基本的にバングラデシュの米輸入関税も様々で、通常9月から10月までに輸入を開始する必要がある時期には低くなるが、2023年にはすでに6月末から7月初旬から輸入を開始しているため関税が下げられた。国内生産量が十分な時期には輸入税が引き上げられる。

## インドから輸入されるパーボイルド・ライスなどの安価な品種の米に適応される関税率\*

年/月	関税率の変更	理由
2017年8月	10% -> 2%	この措置は、米の価格を抑制することを目的とした。2017年7月の米価は、年初に洪水被害を受けた後、若干の下落はあったものの、前年同月比で40%上昇した。
2018年6月	2% -> 28%	国内産米価格が記録的な高騰を見せる中、輸入を抑制し農家を支援するための措置がとられた。
2019年5月	28% -> 55%	地元農家の利益を保護するため、関税を28%から55%に引き上げた。
2020年6月	55% -> 62.5%	地元農家を保護し、米の生産を促進するため関税を引き上げた。
2020年12月	62.5% -> 25%	備蓄を強化し、主食用穀物の記録的な高価格を下げるために、関税を引き下げた。
2021年5月	25% -> 62.5%	関税は既定の62.5%に戻された。
2021年8月	62.5% -> 25.75%	公的に保有されている米の在庫を補充し、国内米価を引き下げため関税を引き下げた。
2021年11月	25% -> 62.5%	関税は既定の62.5%に戻された。
2022年6月	62.5% -> 25%	民間の輸入を奨励するため、関税を62.5%から25%に引き下げた。
2022年7月	-	地元市場での価格抑制のため、アロマティックライス(地元品種と競合する粘着性の短い米)の輸入禁止
2022年8月	25% -> 5%	気候変動と流通在庫不足による米生産量の減少に伴う関税の引き下げ法定規制発令。税金には5%の規制関税、5%の前払い所得税(AIT)、5%の前払い税(AT)が含まれた。
2022年10月	5% -> 15.25%	気候変動の後、関税は15.25%に緩やかに引き上げられた。
2023年5月	15.25% -> 62.5%	この増税は、耕作シーズン中の地元農家を保護するために実施された。
2023年6月	62.5% -> 25%	米の国内価格が急騰する中、政府は米の輸入関税を62.5%から25%に引き下げた。

\* 日本産米への関税率は85%

出典: [FAO 2022](#), [NBR Bangladesh 2022](#), [FAS USDA](#), [Financial Express 2023](#), [The Business Standard 2023](#)

## 2022年4月以降、牛肉輸入停止

バングラデシュが2018年から2019年にかけて食肉生産の自給自足を宣言したこと、バングラデシュの農家や食肉取引団体が牛肉の輸入に反対したことで、2022年4月以降バングラデシュ政府は牛肉輸入のための信用状(LC)や異議なし証明書(NOC)は発行をしないという非関税障壁によって牛肉の輸入を停止することになった。牛肉輸入再開のための国内協議は進行中であり、2024年に再開が期待されている。

### 非関税障壁による牛肉の輸入停止

#### 2018-19年、バングラデシュは食肉生産の自給自足を宣言

インドが牛肉の輸出を禁止した2016年以降、インドからの冷凍水牛肉がこのカテゴリーの輸入を独占していた。バングラデシュ国内では、国内消費用に牛肉・食肉の増産を図っており、2018年、バングラデシュ政府は初めて食肉生産の自給を宣言した(需要721万トンに対し、生産量は726万トン)。

#### 2022年4月以降、牛肉輸入のための信用状(LC)や異議なし証明書(NOC)は発行なし

バングラデシュの農家や食肉取引団体が牛肉の輸入に反対したことで、地元の畜産業者と牛肉輸入業者との間に亀裂が生じ、ついにバングラデシュ政府は牛肉輸入のための信用状(LC)や異議なし証明書(NOC)は発行をしないという非関税障壁によって牛肉の輸入を停止することになった。

#### 2023年には牛肉(水牛を含む)の輸入が禁止され、低品質の牛肉の需要と価格が上昇

商務省が2022年4月に発表した輸入政策令-2021-24通達では、輸入には畜産局長(DG)の事前承認が必要であり、畜産局(DLS)は輸入のNOCを与えることを停止している。バングラデシュには十分な放牧地がないため、牛の健康状態が十分でなく、肥育のために栄養価が高い飼料を与えられることが多い。

#### 2024年に適正量まで輸入を開放するため、インドやその他の国々と交渉中

国産牛の健康被害が拡大し、国産牛肉価格が上昇しているため、輸入業者と政府は、輸入再開は6ヶ月から1年後になると考えている。

## 発展途上のコールドチェーン

Bangladesh の食品コールドチェーンはまだまだ発展途上であるため、調査対象品目のうち、日本から Bangladesh に米、ぶどう、牛肉、水産物(さば、いわし)を輸出する際には、 Bangladesh 国内のコールドチェーンの状況を把握し、輸送や保管の方法を慎重に検討する必要がある。

### 発展途上のコールドチェーン

Bangladesh 政府は、コールドチェーンの整備を推進しており、近年では、保冷库や冷蔵車の普及、コールドチェーンに関する技術の向上などが行われている。しかし、電力不足や資金負担の問題からまだまだ十分な整備が進んでいない状況である。

- ・ 農村部では、保冷库や冷蔵車などのコールドチェーンの設備が整っていないことが多く、収穫した果物や野菜が腐敗して廃棄される割合が高いと言われている。
- ・ 都市部では、スーパーマーケットや高級レストランなどでは、コールドチェーンの設備が整っており、日本から輸入された果物や冷凍品も、適切な温度で保管されている。
- ・ 小規模な商店や食堂などでは、コールドチェーンの設備が整っていないことが多く、輸入された果物や冷凍品は、短期間で劣化してしまう可能性がある。

日本から Bangladesh に米、ぶどう、牛肉、水産物(さば、いわし)を輸出する際には、 Bangladesh 国内のコールドチェーンの状況を把握し、輸送や保管の方法を慎重に検討する必要がある。

## バングラデシュにおける貿易障壁

米国農務省レポートによると農産物貿易における現在の課題は以下の通りである。

- 貿易代理店での手作業による書類作成プロセスは、通関にかかる時間とコストを増加させる。
- 到着直前に輸入証明書を収集することは、輸入手続きに遅れをもたらす。

### 米国農務省：バングラデシュにおける食品と農産物の輸入規制と基準

#### バングラデシュにおける貿易障壁

バングラデシュにおける貿易障壁は、バングラデシュへの米国農産物輸出をさらに増加させるための大きな障害であり続けている。

バングラデシュは、ビジネス環境と貿易環境を改善するための改革を最近行ったにもかかわらず、近代的な貿易支援イニシアチブの全体的な実施は遅れている。

バングラデシュは、2016年9月27日にWTOの貿易円滑化協定(TFA)に加盟した。バングラデシュは、WTOへの届出実績が限られており、貿易データをWTOに提出しておらず、**商務省の国家照会窓口、税関、バングラデシュ基準検査機関(BSTI)は連携しておらず、断絶したまま**である。WTO貿易円滑化協定(TFA)データベースによると、バングラデシュはTFA公約の45%しか実施していない。カテゴリA(通関業者の利用)は完了し、カテゴリB(税関協力のためのコンタクトポイント)は保留中で、カテゴリC(単一窓口の運営)はあまり進んでいない。

米国農務省FAS(Foreign Agricultural Service)は引き続き、バングラデシュを地域市場として位置づけ、COVID19後の世界貿易環境でもたらされる新たな機会を活用するため、輸出入プロセスを近代化するよう同国に働きかけていく。2020年10月、FASは「前進のための食糧」プログラムを通じて、バングラデシュとの農産物貿易に特有の障壁に対処するため、資金を拠出している。(FAS:米国農務省海外農務局)



## バングラデシュにおける貿易障壁：紙ベースの手続き

米国農務省によると、バングラデシュの輸入手続きの情報システム化は進められているものの、まだまだ紙ベースの手続きが主流で、入港港での通関にかかる時間とコストが非常にかかる課題があるとしている。

### 米国農務省：バングラデシュにおける食品と農産物の輸入規制と基準

#### バングラデシュにおける貿易障壁

2017年4月、世界銀行はバングラデシュに対し、接続性を改善し、物流のボトルネックを減らし、国境管理と貿易円滑化のための近代的アプローチの採用を支援することにより、貿易条件を改善するための1億7000万ドルのプロジェクトを承認した。

このプロジェクトの主要な要素は、バングラデシュの国家単一窓口および税関近代化計画の確立であり、2023年に完了すると見込まれている。このシステムは、すべての貿易関連の申告、ライセンス、証明書の手続きを自動化し、バングラデシュの関連機関の情報を単一のシステムに統合する。

バングラデシュの国家単一窓口の導入により、このソリューションの運用5年目には、31万9,000人の貿易業者（輸出業者と輸入業者）が貿易にかかる時間とコストの削減の恩恵を受けると期待されている。運用5年目には、輸入の平均処理時間は122時間に、輸出の平均処理時間は88時間に短縮される見込みである。

バングラデシュ政府の貿易関連機関は現在、農産物の輸出入を手動の書類作成プロセスで検査しており、入国港での通関にかかる時間とコストが増大している。

農産物貿易業者は、到着前プロセスの一環として、商品到着前に輸入証明書を物理的に収集しなければならない。

このような手続き上の障害は、貨物の通過に数週間とは言わないまでも数日を追加し、現地の税関職員による汚職の可能性を高めている。

## バングラデシュにおける貿易障壁：手続き遅延の原因

米国農務省によると、バングラデシュの輸入手続き遅延の原因としては、複数の証明書発行者と税関職員による検査の遅れなどがあるとしている。

### 米国農務省：バングラデシュにおける食品と農産物の輸入規制と基準

#### バングラデシュにおける貿易障壁

一般的な遅延として以下のようなものがある。

**通関と港湾荷役の遅延**は、農産物貿易の主要な非関税障壁である。

- ・ 製品の品質・規格検査証明書の発行遅延
- ・ 輸入許可証の不備
- ・ 港湾荷揚げの遅延
- ・ コンテナの混雑による船舶の接岸遅延による通関手続き

証明書発行の遅れの主な原因は、国境港における検査施設の不足である。

遅延の原因としては以下のようなものが挙げられる。

- ・ インフラの課題
- ・ 複雑なプロセスと非電子申告
- ・ 複数の証明書発行者と税関職員による検査の遅れ
- ・ 誤ったHSコードとマニフェストの記載による製品申告の確認
- ・ 関税率の争いの解決と評価の混乱の解消
- ・ 船会社によるマニフェストのインバウンド提出
- ・ 船荷証券とともに提出する書類の原本到着の遅れ
- ・ 棧橋からオフドック施設までの輸送時間の遅れ
- ・ 接岸の遅れ
- ・ コンテナ処理の遅れなど

## バングラデシュにおける貿易障壁：重複検査

米国農務省によると、バングラデシュにおける輸入手続きには多数の政府機関が関与して、それらの機関により重複検査が行われるため、手続きが非常に遅れるとしている。

### 米国農務省：バングラデシュにおける食品と農産物の輸入規制と基準

#### バングラデシュにおける貿易障壁

##### 重複検査

重複検査は、バングラデシュのすべての国境港で非常によく見られる問題である。

国境管理機関間の調整と規制の欠如は、税関と港湾通関プロセスをさらに遅らせる多重検査とサンプル収集につながる。

貿易プロセスには、税関、入国管理局、輸出入最高監督官、植物検疫局、陸上港湾／海上港湾／民間航空局、国境警備隊、標準化・検査機関、バングラデシュ原子力委員会、麻薬管理局、バングラデシュ銀行、商業銀行、畜産局、水産局、食品安全当局など、複数の国境管理・規制機関が関与している。

国の単一窓口システムによる完全な電子申請がないため、検査、評価、検査の重複を含め、貿易プロセス全体に多大な時間と労力を要している。バングラデシュ歳入庁(NBR)が設定した国家単一窓口(NSW)完全導入の当初目標は2024年12月であったが、導入におけるその他の課題により、さらに時間がかかる可能性がある。

# バングラデシュにおける貿易障壁：情報システム運用の遅れ

米国農務省によると、チッタゴン税関は、データ自動化システム(ASYCUDA World)を導入したものの、6つのモジュールのうち1つしか作動しておらず、24時間以内に貨物を通関できるのは輸入業者の約50%にとどまっているとしている。

## 米国農務省：バングラデシュにおける食品と農産物の輸入規制と基準

### ASYCUDA Worldシステムの導入

チッタゴン税関は、国連が開発したシステム「Automated System for Customs Data Automation (ASYCUDA World)」を主要港に導入した。現在、稼働しているのは1つのモジュールのみで、その結果、輸入業者の24時間以内の通関率は50%にとどまっている。

### 手作業による処理の課題

過去5年間で貿易が倍増しているにもかかわらず、手作業による輸入製品処理方法が課題となっている。世界銀行の「Trading Across Borders(国境を越えた貿易)」によると、バングラデシュの港湾のスコアは31.8で、南アジアの地域平均65.3を大きく下回っている。これは、書類遵守や国境遵守にかかる時間やコストの非効率性が大きいためである。

### ペーパーレス貿易の実施状況

バングラデシュは、ペーパーレス貿易において、アジア太平洋地域の平均より遅れている。チッタゴン港は、紙ベースのターミナル業務から電子ターミナル業務への移行を進めているが、完了までの明確なスケジュールは未定のままである。

### 植物検疫局のオンライン・イニシアチブ

自動化された単一窓口システムのもと、植物検疫局は輸入許可証と植物検疫証明書のオンラインシステムを導入した。これは認証プロセスの近代化と合理化に向けた一歩である。

### 畜産局の認証システム

畜産局は輸入許可証と検疫証明書のオンライン認証システムを導入した。この取り組みは、輸入認証プロセスの効率性と透明性を高めることを目的としているが、その実施はまだ遅れている。

# 関税・輸出障壁と解決アプローチ手段

項目	関税・輸出障壁	解決アプローチ手段
高率な輸入関税	<p>バングラデシュ政府は国内生産者保護や外貨準備高確保などの理由で輸入農産物・食品に対して高率な関税を賦課している。</p>	<p>日バングラの政府間交渉において、日本産農産物・食品は一般国民向けではなく、富裕層や高級ホテル・レストランの日本食向けで有ることを訴求して、高率関税の対象としないようバングラ政府に働きかける。</p>
牛肉に関する非関税障壁による輸入制限	<p>地元酪農・酪農家が、輸入冷凍肉が国内産業に与える悪影響について懸念を表明。2022年4月、バングラデシュ政府は牛肉輸入のための信用状(LC)や異議なし証明書(NOC)は発行をしないという非関税障壁により、現在実質牛肉をバングラデシュに輸出することは困難となっている。輸入規制に関してはバングラデシュにおける外貨準備高確保も影響しているものと想定される。</p>	<p>日バングラの政府間交渉において、日本産牛肉は一般国民向けではなく、富裕層や高級ホテル・レストラン向けであるためバングラデシュ政府による国内牛肉生産者保護を阻害するものではないことを訴求して、バングラデシュ政府に対して牛肉輸入のための信用状(LC)や異議なし証明書(NOC)は発行をしないという非関税障壁をやめるよう働きかける。</p>
コールドチェーン	<p>バングラデシュ政府は、コールドチェーンの整備を推進しており、近年では、保冷库や冷蔵車の普及、コールドチェーンに関する技術の向上などが行われている。しかし、電力不足や資金負担の問題からまだまだ十分な整備が進んでいない状況である。そのため、調査対象品目のうち、牛肉、水産物(さば、いわし)、米、ぶどうの輸出の際は課題となる。</p>	<p>日本からバングラデシュに米、ぶどう、牛肉、水産物(さば、いわし)を輸出する際には、バングラデシュ国内のコールドチェーンの状況を把握し、輸送や保管の方法を慎重に検討する必要がある。バングラデシュにおけるコールドチェーン強化に向けて日本の技術力を活用して展開したり、現地人材育成に協力する方策を推進することも考えられる。</p>
通関と港湾荷役の遅延	<p>製品の品質・規格検査証明書の発行遅延などの問題が起きている。証明書発行の遅れの主な原因は、国境港における検査施設の不足である。</p>	<p>日バングラの政府間交渉において、国境港における検査施設を充実させるようバングラ政府に働きかける。</p>

# 関税・輸出障壁と解決アプローチ手段

項目	関税・輸出障壁	解決アプローチ手段
重複検査	<p>国の単一窓口システムによる完全な電子申請がないため、検査、評価、検査の重複を含め、貿易プロセス全体に多大な時間と労力を要している。</p>	<p>日バングラの政府間交渉において、国の単一窓口システムによる電子申請の実現を働きかける。                      バングラデシュにおける日本産農林水産物・食品の輸入手続きにおいて、主な輸入品目ごとにどの官公庁によるどのような手続きが必要なのかを明確化するようバングラデシュ政府に働きかけることも有効であると考えられる。</p>
不十分な貿易関連システムの運用	<p>チッタゴン税関は、国連貿易開発会議が開発したコンピュータ化された税関管理システム、税関データ自動化システム(ASYCUDA World)を4つの内陸港、NBR本部、チッタゴン税関に導入した。                      しかし、このシステムは6つのモジュールのうち1つしか作動しておらず、24時間以内に貨物を通関できるのは輸入業者の約50%にとどまっている。                      植物検疫局により輸入許可証と植物検疫証明書のオンラインシステムが導入されたようであるが、十分に運用されているか確認する必要がある。                      畜産局は輸入許可証と検疫証明書のオンライン認証システムを導入されたようであるが、その実施はまだ遅れている模様で、十分に運用されているか確認する必要がある。</p>	<p>日バングラの政府間交渉において、税関管理システム、税関データ自動化システム(ASYCUDA World)の完全運用など各種関連システムの円滑な運用を働きかける。</p>

## 流通構造

### 調査対象品目別調査・分析

- ・米
- ・牛肉
- ・ぶどう
- ・水産物（さば、いわし）

### 参入戦略提言まとめ

日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段

### **輸入品に係るハラール認証の実態**

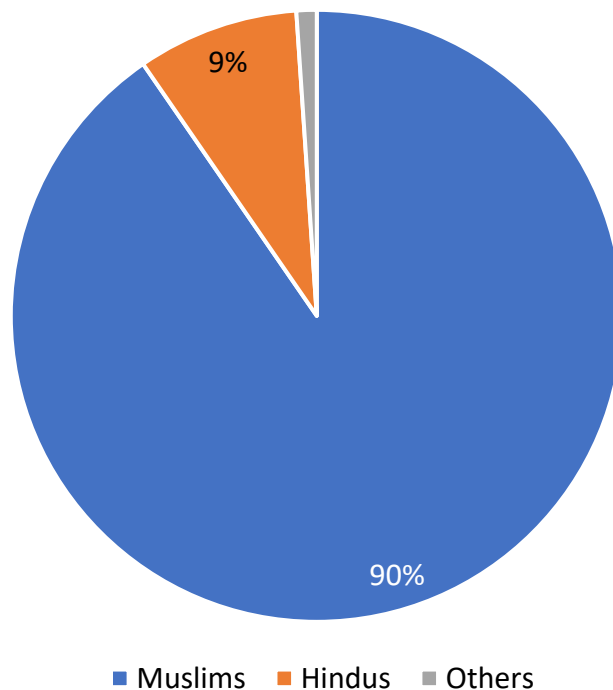
主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率

バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

# Bangladeshにおけるムスリム人口の割合

Bangladeshの人口の90%はイスラム教徒である。その大半はイスラム教スンニ派で、少数のシーア派がそれに続く。 Bangladeshで信仰されているその他の宗教は、ヒンドゥー教(9%)、仏教(1%未満)、キリスト教(1%未満)である。イスラム教徒は、イスラム法に則って調理されたハラール食品しか口にしない。

Bangladeshの主要宗教グループの規模  
 Bangladesh人口に占める割合 (2011年)



出典: [BSS 2022](#)



# イスラム教におけるハラーム

イスラム教において禁じられている行為をハラームと言う。

以下はイスラムの教典コーランにおいて食べ物関連で定められたハラームである。

- ・ Bangladesh 基準試験機関(BSTI)はCAC/GL 24-1997によりハラームを含む食品の輸入を禁止している。(詳細は次ページ参照)

	イスラム教におけるハラーム (禁じられている行為)	
食品	死肉(食肉目的以外で死亡した動物の肉)、血、豚肉	アルコール
コーランの該当章/節	第2章173節	第2章219節
内容	“かれがあなたがたに、(食べることを)禁じられるものは、死肉、血、豚肉、およびアッラー以外(の名)で供えられたものである。”	“かれらは酒と、賭矢*に就いてあなたに問うであろう。言ってやるがいい。「それらは大きな罪であるが、人間のために(多少の)益もある。だがその罪は、益よりも大である。」”

\* 矢を使った賭け事。イスラム教では賭博が禁止されている。

# Bangladesh 基準試験機関(BSTI)によるハラールの定義

Bangladesh 基準試験機関(BSTI)はCAC/GL\* 24-1997によりハラールの定義を定めている。

- ・どのような食品にハラール認証が必要かは次ページで説明
- ・この定義では対象食品に対する製造方法も規定している。

## CAC/GL 24-1997によるハラールの定義

### 2 定義

2.1 ハラール食品とは、イスラム法の下で許可された食品を意味し、以下の条件を満たすものでなければならぬ。

2.1.1 **イスラム法に基づき非合法とみなされるものから構成されておらず、またそれを含んでいないこと**

2.1.2 イスラム法に従って非合法とされるものを含まない器具または設備を使用して調理、加工、輸送、保管されていないこと。イスラム法に従って違法とされるものを使用していないこと

2.1.3 調製、加工、輸送または保管の過程で、2.1.1及び2.1.2 を満たさない食品と直接接触していないこと

2.2 上記 2.1 項にかかわらず、以下の条件を満たすこと

2.2.1 ハラール食品は、非ハラール食品が製造される同一施設内の異なるセクションまたはラインで調理、加工、保管することができる。ただし、ハラール食品と非ハラール食品の接触を防ぐために必要な措置が講じられることを条件とする。

2.2.2 ハラール食品は、以前非ハラール食品用に使用されていた施設を使用して調理、加工、輸送、保管することができる。ただし、イスラム教の要求事項に従った適切な洗浄手順が遵守されていることを条件とする。

\* CAC/GL :Codex Alimentarius Commission/General Guidelinesの略称。CAC/GL 24-1997 は、食品の表示における「ハラール」の用語の使用に関する一般指針で食品の国際的な規格を設定する国際食品規格委員会 (CAC) によって採択された。

# ハラール認証が必要な食品

湾岸協力会議(GCC)ガイドにおけるハラール認証の定義において、ハラール認証が必要な食品は「肉\*、脂肪、ゼラチン、レンネット\*\*、スープなど」または「動物性食品や副産物を含む食品」とされ、その製造方法も規定している。

・今回の調査対象品目では、「牛肉」がハラール認証が必要となる食品となる。

## 湾岸協力会議(GCC)ガイドにおけるハラール認証の定義

### 原産国または輸出国が発行する、公認(GCC)イスラム機関(協会)の証明書

その製品(**肉\***、**脂肪**、**ゼラチン**、**レンネット\*\***、**スープなど**)がイスラムのシャリーア法の規則に従って調理、製造、流通されていること、

または**動物性食品や副産物を含む食品**がハラールであり、イスラムのシャリーア法の規則に従って製造されていること、

その食品がイスラムのシャリーア法の教えに反せず、GCCの技術規則に従って設備や器具を用いて取り扱われていることを証明するもの。

\* 魚肉は含まない

\*\* 哺乳類の胃から抽出される酵素の混合物。牛乳のタンパク質であるカゼインを凝固させる働きをする。

# 外国から Bangladesh へ輸出する場合のハラール認証機関

Bangladesh ・イスラム財団が発行したハラール・サナド・ポリシー(Halal Sanad Policy-2023)によると、「国家歳入庁(NBR)の税関は、輸出国の認証機関が発行した輸入製品のハラール証明書を受理する」と規定されている。

## ハラール・サナド・ポリシー(Halal Sanad Policy-2023)

Bangladesh ・イスラム財団(Islamic Foundation Bangladesh)が発行したハラール・サナド・ポリシー(Halal Sanad Policy-2023)

- Bangladesh にハラールであると主張する製品・商品を輸入する場合、輸出国のハラール当局によりハラールであると認証されなければならない。
- Bangladesh 当局は、すべての食肉製品がハラールであることを要求している。海港にある国家歳入庁(NBR)の税関は、**輸出国の認証機関が発行した輸入製品のハラール証明書を受理する。**

日本から Bangladesh にハラール認証必要食品を輸出する場合、日本国内における海外ムスリム団体の認証を受けているハラール認証団体の認証を提出すれば良い。

# 日本のハラール認証団体

日本で海外のムスリム団体の認証を受けているハラール認証団体は以下の通りである。

日本のハラール認証団体								
	団体・組織名	略称	マレーシア	インドネシア	シンガポール	サウジアラビア	UAE	カタール
1	エミレーツ・ハラールセンター	EHC					○	
2	イスラミックセンター・ジャパン	ICJ						
3	特定非営利活動法人 日本ハラール協会	JHA	○	○ (香料除く)	○	○ (GACのみ*)	○	○
4	宗教法人日本イスラム教徒協会・ 拓殖大学イスラム研究所	JMA	○	○ (と畜を除く)	○			
5	一般社団法人イスラム教徒・プロ フェッショナル協会	MPJA	○	○				
6	宗教法人日本イスラム文化センター/ マスジド大塚	JIT	○				○	○
7	一般社団法人ジャパン・ハラール ・ファンデーション	JHF	○		○			
8	NPO法人日本アジアハラール協会	NAHA	○		○			
9	Prime Certification And Inspection Company Ltd	PCIC	○				○	

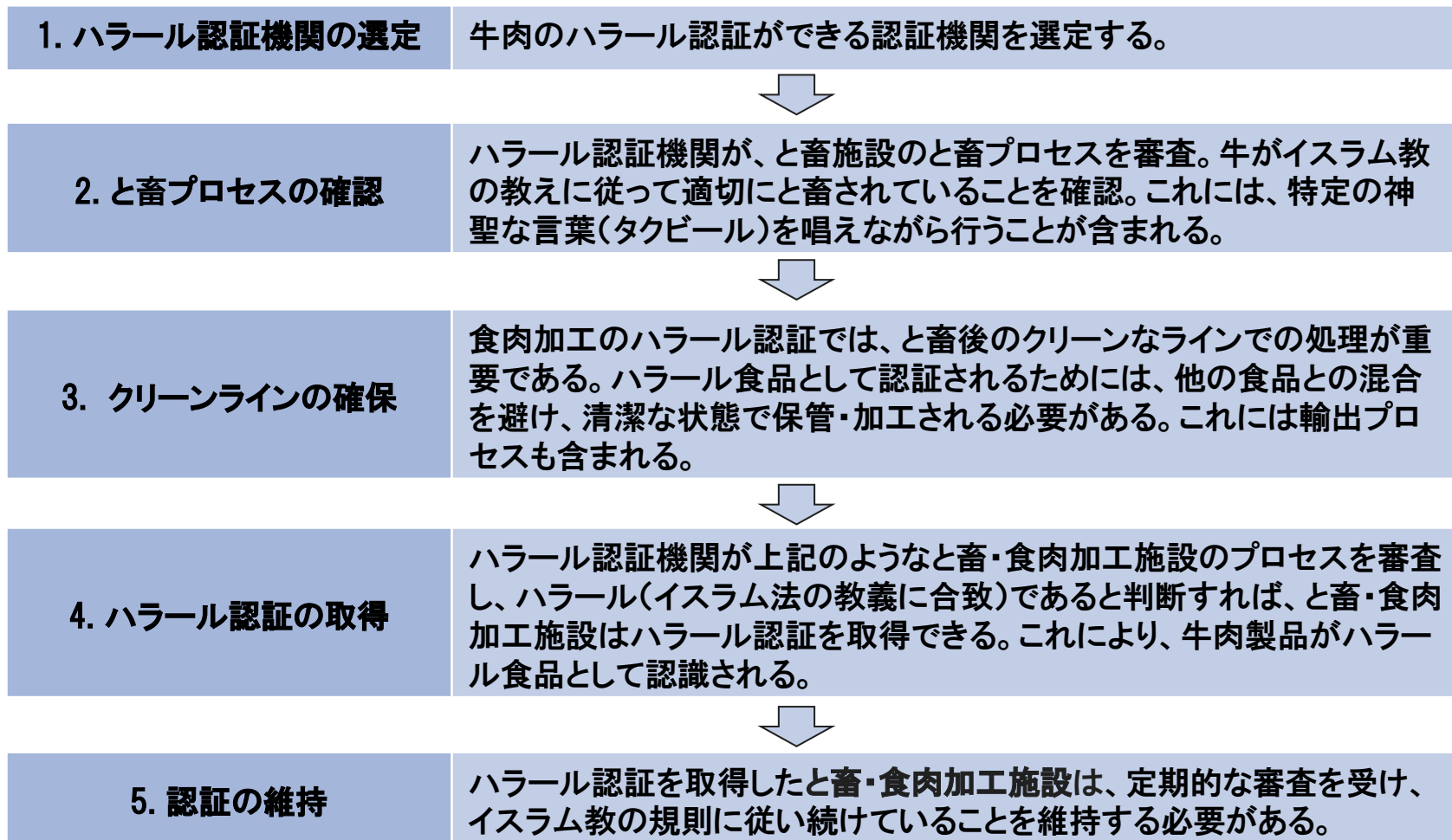
Bangladesh は日本のハラール認証団体への認証を実施していないため、日本から Bangladesh にハラール認証必要食品を輸出する場合、日本国内における海外ムスリム団体の認証を受けているハラール認証団体の認証を受ければ良い。

\* GACとは、湾岸認定センター(GCC Accreditation Centre)の略称で、世界中のハラール認証機関の認可を行う組織。GCCとは、Gulf Cooperation Councilの略称で、湾岸協力会議を構成する6つの国(サウジアラビア、クウェート、バーレーン、カタール、アラブ首長国連邦、オマーン)によって1981年に設立された政治的・経済的な同盟体。

出典: [エミレーツ・ハラールセンター](#)、[イスラミックセンター・ジャパン](#)、[特定非営利活動法人日本ハラール協会](#)、[宗教法人日本イスラム教徒協会](#)・[拓殖大学イスラム研究所](#)、[一般社団法人イスラム教徒・プロフェッショナル協会](#)、[宗教法人日本イスラム文化センター/マスジド大塚](#)、[一般社団法人ジャパン・ハラール・ファンデーション](#)、[NPO法人日本アジアハラール協会](#)、[Prime Certification And Inspection Company Ltd](#)、[一般社団法人ハラールジャパン協会](#)

# 牛肉関連のと畜・食肉加工施設における一般的な牛肉のハラール認証獲得プロセス

牛肉関連のと畜・食肉加工施設においてハラール認証を獲得するためのプロセスは以下の通り。認証取得費用や認定期間は認証団体により異なる。



## 流通構造

### 調査対象品目別調査・分析

- ・米
- ・牛肉
- ・ぶどう
- ・水産物（さば、いわし）

### 参入戦略提言まとめ

日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段

輸入品に係るハラール認証の実態

## **主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率**

バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

# Bangladeshにおける関税体系(1/2)

## Bangladeshにおける関税体系(1/2)

### 品目分類

HS分類(1988年7月1日より)

### 関税の種類

従価税、ただし、純金など一部の品目については従量(単位)関税を適用。本調査対象品目はいずれも従価税。

### 課税基準

ドル建て評価。中古車など一部品目は歳入庁が設定した関税価格、その他は輸入者より提示のインボイス価格。

一部の品目については、歳入庁により設定された関税価格がある。これらの品目の輸入関税は、関税価格に基づいて課税される。調査対象品目ではなし。

関税価格が設定されていない品目の場合は、輸入者により申告されたインボイス価格に基づき課税額が査定される。しかし、歳入庁はこれらの品目に対する登録価格を準備しており(インボイスのアンダーバリュを防止するため)、査定時に、歳入庁は申告価格をこの登録価格と比較する。

船積前検査が必要とされる輸入品目は、認可された船積前検査機関(OMIC社)より提供された船積前検査証明書に基づいて、課税額が査定される。

### 対日輸入適用税率

一般税率と品目により補足税、付加価値税などが加算。調査対象品目では該当なし。



## Bangladeshにおける関税体系(2/2)

Bangladeshの輸入関税(輸入時の諸税含む)には、一般関税、調整税、補足税、付加価値税、前払い所得税、前払い税などがある。輸入時に課税される諸税は、次のとおり。

- **一般関税**(Custom Duty:CD): 0%、1%、5%、10%、25%の5段階に分かれる。
- **調整税**(Regulatory Duty:RD) \*1: 3~35%で、課税されない品目あり。
- **補足税**(Supplementary Duty:SD): 10~500%。地場産業保護の対象品目が高い税率で、課税されない品目あり。
- **付加価値税**(Value Added Tax:VAT): 15%。課税されない品目あり。
- **前払い所得税**(Advanced Income Tax:AIT)\*2: 5%で、課税されない品目あり。
- **前払い税**(Advance Tax on Import) \*3: 5%で一部の輸入品に課税される。

\*1 調整税は、輸入を規制し、国内産業を保護するために課される輸入関税の一種である。多くの場合、特定の商品に適用され、政府の政策に沿っている。

\*2 前払い所得税(AIT): 通関時に特定の輸入品に対して課税される法人税の前払いである。これは、輸入された商品を現地で販売することで得られる可能性のある収入に対する部分的な前払いとして機能する。

\*3 前払い税(Advance Tax on Import): 輸入品が Bangladesh国内で販売された場合の潜在的利益に対して前払いする税。調査品目は5品目全て5%課税される。

## FTA・EPA

- ・2023年11月現在、日バングラ間ではFTA(Free Trade Agreement)、EPA(Economic Partnership Agreement)などは締結されておらず、日本からバングラデシュへの農産物・食品の輸出にあたって特恵関税は存在しない。
- ・2022年12月、日本政府は、バングラデシュ政府との間で、「あり得べき日・バングラデシュ経済連携協定(EPA)に関する共同研究」を立ち上げることで一致した、と発表した。
- ・同共同研究は2023年に計3回の共同研究会合が実施され終了した。同年12月に共同研究報告が公表され、その中で両国のEPA締結のための交渉を開始することが提言された。
- ・この共同研究の背景のひとつに、バングラデシュが2026年11月24日に後発開発途上国から卒業し、日本がバングラデシュに適用している特別特恵関税(LDC特恵)の適用を受けられなることがある。この特別特恵関税の場合、バングラデシュから日本へのほぼ全ての輸出品目に対して無税が適用されている。

# バングラデシュにおける米の輸入関税の変化

バングラデシュにおける米の輸入関税は、国内の税法と規制を管理する政府機関である国家歳入庁(NBR)によって設定される。NBRは、1)国内生産が国内需要を満たしていない場合、国民を保護するため、2)国内米価格を国際米価格と競争させるため、3)政府の歳入を確保するため、関税を調整することがある。基本的にバングラデシュの米輸入関税も様々で、通常9月から10月までに輸入を開始する必要がある時期には低くなるが、2023年にはすでに6月末から7月初旬から輸入を開始しているため関税が下げられた。国内生産量が十分な時期には輸入税が引き上げられる。

## インドから輸入されるパーボイルド・ライスなどの品種の安価な米に適応される関税率

年/月	関税率の変更	理由
2017年8月	10% -> 2%	この措置は、米の価格を抑制することを目的とした。2017年7月の米価は、年初に洪水被害を受けた後、若干の下落はあったものの、前年同月比で40%上昇した。
2018年6月	2% -> 28%	国内産米価格が記録的な高騰を見せる中、輸入を抑制し農家を支援するための措置がとられた。
2019年5月	28% -> 55%	地元農家の利益を保護するため、関税を28%から55%に引き上げた。
2020年6月	55% -> 62.5%	地元農家を保護し、米の生産を促進するため関税を引き上げた。
2020年12月	62.5% -> 25%	備蓄を強化し、主食用穀物の記録的な高価格を下げるために、関税を引き下げた。
2021年5月	25% -> 62.5%	関税は既定の62.5%に戻された。
2021年8月	62.5% -> 25.75%	公的に保有されている米の在庫を補充し、国内米価を引き下げため関税を引き下げた。
2021年11月	25% -> 62.5%	関税は既定の62.5%に戻された。
2022年6月	62.5% -> 25%	民間の輸入を奨励するため、関税を62.5%から25%に引き下げた。
2022年7月	-	地元市場での価格抑制のため、アロマティックライス(地元品種と競合する粘着性の短い米)の輸入禁止
2022年8月	25% -> 5%	気候変動と流通在庫不足による米生産量の減少に伴う関税の引き下げ法定規制発令。税金には5%の規制関税、5%の前払い所得税(AIT)、5%の前払い税(AT)が含まれた。
2022年10月	5% -> 15.25%	気候変動の後、関税は15.25%に緩やかに引き上げられた。
2023年5月	15.25% -> 62.5%	この増税は、耕作シーズン中の地元農家を保護するために実施された。
2023年6月	62.5% -> 25%	米の国内価格が急騰する中、政府は米の輸入関税を62.5%から25%に引き下げた。

# 日本から Bangladesh に米を輸出する際の関税率

米(HSコード10063011)の合計課税率は、85%となっている。

- ・ 日本産米に Bangladesh 歳入庁が設定した特別の関税率はない。
- ・ 前ページの説明は、インドから輸入される安価なパーボイルド・ライスなどの品種の米に適用される税率で、日本産精米には85%が適用される。

## Bangladesh 政府公表の税率

HS Code	Description	Total Tax Incidence(TTI)						
10063011	Semi-Milled Or Wholly Milled Rice	85% <a href="#">For Breakdown of Taxes</a>						
HS Code	Description	CD	SD	VAT	AIT	RD	AT	
10063011	Semi-Milled Or Wholly Milled Rice	25	0	15	5	25	5	<a href="#">For Total Tax Incidence</a>

### 米の課税率計算の仕組み

関税区分	税率	課税方法
課税ベース価格	—	$P=1$
一般関税:CD	25%	$A=P \times 25\%$
調整税:RD	25%	$B=P \times 25\%$
補足税:SD	0%	$C=(P+A+B) \times 0\%$
付加価値税:VAT	15%	$D=(P+A+B+C) \times 15\% = 1.5 \times 15\% = 22.5\%$
前払い所得税:AIT	5%	$E=P \times 5\%$
前払い税:AT	5%	$F=(P+A+B+C) \times 5\% = 1.5 \times 5\% = 7.5\%$
合計税率		$A+B+C+D+E+F = 85\%$

日本産精米には関税率85%が適用

# 日本から Bangladesh に牛肉を輸出する際の関税率

牛肉(HSコード2022010)の合計課税率は、89.32%となっている。

- ・ 日本産牛肉に Bangladesh 歳入庁が設定した特別の関税率はない。

## Bangladesh 政府公表の税率

HS Code	Description	Total Tax Incidence(TTI)	
2022010	Frozen Other Cuts Of Bovine Meat With Bone In, Wrapped/Canned upto 2.5 kg	89.32%	<a href="#">For Breakdown of Taxes</a>

HS Code	Description	CD	SD	VAT	AIT	RD	AT	
2022010	Frozen Other Cuts Of Bovine Meat With Bone In, Wrapped/Canned upto 2.5 kg	25	20	15	5	3	5	<a href="#">For Total Tax Incidence</a>

### 牛肉(HSコード2022010)の課税率計算の仕組み

関税区分	税率	課税方法
課税ベース価格	-	$P=1$
一般関税:CD	25%	$A=P \times 25\%$
調整税:RD	3%	$B=P \times 3\%$
補足税:SD	20%	$C=(P+A+B) \times 20\% = 1.28 \times 20\% = 25.6\%$
付加価値税:VAT	15%	$D=(P+A+B+C) \times 15\% = 1.536 \times 15\% = 23.04\%$
前払い所得税:AIT	5%	$E=P \times 5\%$
前払い税:AT	5%	$F=(P+A+B+C) \times 5\% = 1.536 \times 5\% = 7.68\%$
合計税率	-	$A+B+C+D+E+F = 89.32\%$

2020年から2021年にかけて牛肉の合計税率は58.6%であったが、2021年から現在までは安定して89.32%となっている。

# 日本から Bangladesh にぶどうを輸出する際の関税率

ぶどう(HSコード8061090)の合計課税率は、113.8%となっている。

・日本産ぶどうに Bangladesh 歳入庁が設定した特別の関税率はない。

## Bangladesh 政府公表の税率

8061090 Fresh Grapes, Nes 113.8% [For Breakdown of Taxes](#)

HS Code	Description	CD	SD	VAT	AIT	RD	AT	
8061090	Fresh Grapes, Nes	25	20	15	5	20	5	<a href="#">For Total Tax Incidence</a>

### ぶどうの課税率計算の仕組み

関税区分	税率	課税方法
課税ベース価格	—	$P=1$
一般関税:CD	25%	$A=P \times 25\%$
調整税:RD	20%	$B=P \times 20\%$
補足税:SD	20%	$C=(P+A+B) \times 20\% = 1.45 \times 20\% = 29\%$
付加価値税:VAT	15%	$D=(P+A+B+C) \times 15\% = 1.74 \times 15\% = 26.1\%$
前払い所得税:AIT	5%	$E=P \times 5\%$
前払い税:AT	5%	$F=(P+A+B+C) \times 5\% = 1.74 \times 5\% = 8.7\%$
合計税率	—	$A+B+C+D+E+F = 113.8\%$

# 日本から Bangladesh に水産物(いわし、さば)を輸出する際の関税率

水産物(いわし、さば)(HSコード3035910)の合計課税率は、89.32%となっている。

- ・ 日本産水産物(いわし、さば)に Bangladesh 歳入庁が設定した特別の関税率はない。

## Bangladesh 政府公表の税率

HS Code	Description	Total Tax Incidence(TTI)
3035910	Wrapped/canned upto 2.5 kg	89.32% <a href="#">For Breakdown of Taxes</a>

HS Code	Description	CD	SD	VAT	AIT	RD	AT	
3035910	Wrapped/canned upto 2.5 kg	25	20	15	5	3	5	<a href="#">For Total Tax Incidence</a>

水産物(いわし、さば)(HSコード3035910)の課税率計算の仕組み		
関税区分	税率	課税方法
課税ベース価格	-	$P=1$
一般関税:CD	25%	$A=P \times 25\%$
調整税:RD	3%	$B=P \times 3\%$
補足税:SD	20%	$C=(P+A+B) \times 20\% = 1.28 \times 20\% = 25.6\%$
付加価値税:VAT	15%	$D=(P+A+B+C) \times 15\% = 1.536 \times 15\% = 23.04\%$
前払い所得税:AIT	5%	$E=P \times 5\%$
前払い税:AT	5%	$F=(P+A+B+C) \times 5\% = 1.536 \times 5\% = 7.68\%$
合計税率	-	$A+B+C+D+E+F = 89.32\%$

## 流通構造

### 調査対象品目別調査・分析

- ・米
- ・牛肉
- ・ぶどう
- ・水産物（さば、いわし）

### 参入戦略提言まとめ

日本からの農産物・食品等の輸出に係るバングラ側の輸入障壁の実態と解決アプローチ手段

輸入品に係るハラール認証の実態

主要品目に関するタリフライン毎に輸入品に賦課される関税率

**バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等調査**



## バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

- **バングラ政府による投資優遇策**
- ビジネス環境上の問題点
- 「バングラ経済特区(BSEZ)」における、食品加工業を中心とした投資の可能性

## 外国投資に対する優遇措置等の全体像

### 外国投資に対する優遇措置等の全体像

指定業種への法人税免除(バングラデシュ投資開発庁(BIDA)関連)

経済特区での優遇措置(バングラデシュ経済特区庁(BEZA)関連)

ハイテクパークでの優遇措置(バングラデシュハイテクパーク庁(BHTPA)関連)

輸出加工区での優遇措置(バングラデシュ輸出加工区庁(BEPZA)関連)

その他主な優遇措置

- ・外資系企業全般
- ・輸出指向産業、輸出関連産業関連
- ・その他免税対象の業種関連

基本的に優遇措置はバングラデシュ全体を対象としたもの比べて、経済特区、ハイテクパーク、輸出加工区での措置の方が高く設定されており、複数の優遇措置に該当する企業は、優遇率の高い方を享受できる。

# 農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

## バングラデシュ政府から優遇措置等を受けることができる外国投資

バングラデシュ政府から優遇措置等を受けることができる外国投資については、どの投資優遇措置においても資本参加に制限はなく、以下のパターンすべてで認められている。ただし、「保護産業」\*のリストに含まれるものを除く。

### バングラデシュ政府から優遇措置等を受けることができる外国投資のパターン

事業タイプ	詳細
全額出資子会社	外国企業は、1994年会社法に基づき、バングラデシュに100%子会社を設立し、私的有限会社または公開有限会社を設立することが認められている。会社登録書類とその承認は、株式会社・企業登録局(RJSC)が行っており、外国企業はRJSCの要件に従って新会社を設立することができる。外国企業は、既存のバングラデシュ企業を完全に買収することもできる。
合併事業	外国企業は、バングラデシュのパートナーと合併会社を設立することができる。外国企業の出資比率は、各当事者の出資額によって異なり、特に制限はない。
既存のバングラデシュ企業の株式購入による有限責任	外国人投資家による現地企業への投資は自由である。(一部業種では制限あり) 非居住者への株式譲渡も制限されていない。
支店または駐在員事務所	外国企業は、支店または駐在員事務所を通じてバングラデシュに進出することもできる。支店または駐在員事務所は、外国為替規制に従う必要があり、事業活動にはBIDA**の承認が必要である。支店は通常、親会社/グループ会社を代表し、物品の輸出入、専門的サービスやコンサルタントサービスの提供などの特定の活動を行うことをBIDAから許可されている。しかし、通常、支店は製造活動を行うことは許可されていない。一般的に、これらの事務所では、BIDAによって特に許可され、バングラデシュ銀行の規制に沿わない限り、バングラデシュからのいかなる種類の対外送金も許可されない。これらのオフィスは、設立費用として、設立日から2ヶ月以内に少なくとも50,000米ドルの対内送金を行う必要がある。

\* 保護産業: a)武器・弾薬/防衛機器・機械 b)森林プランテーションなど c)原子力エネルギーの生産 d)セキュリティ印刷(紙幣)・鑄造、既製服、銀行、保険会社、その他金融機関

\*\* BIDA: バングラデシュ投資開発庁

出典: [PWC 2019](#), [BIDA 2023](#)

### 法人税免除(1/2)

Bangladesh Investment Development Authority (BIDA) が主たる所管官庁である。

2020年7月～2025年6月の間に、事業を開始する次の指定産業は、法人税の減免措置が受けられる。

(2023年法人税法(Income Tax Act 2023))。

#### 指定業種

(農業・食品加工業関連の業種を抜粋)

##### 1. 次の品目の製造

- ・ **バイオテクノロジーを利用した農産品**
- ・  **Bangladesh産の野菜、果物の加工\***

##### 2. Bangladesh産の果物や野菜の加工と保存\*\*

(法人税の減免措置の具体的な内容は次ページに記載)

外国企業による Bangladesh産の水産物の加工や保存について、投資優遇措置等を Bangladesh政府に働きかけることが考えられる。

\* Bangladesh産の野菜や果物の加工: ブランチング(高温の水や蒸気で短時間加熱する処理)、脱水、缶詰、冷凍など

\*\* Bangladesh産の果物や野菜の加工と保存: 塩漬け、燻製、ピクルス、乾燥など

## 法人税免除(2/2)

### 法人税免除(2/2)

#### 減税措置

前記の事業は、以下のような法人税の減税措置を受けることができる。

1. ダッカ管区およびチッタゴン管区(ダッカ、ナラヤンガンジ、ガジプール、チッタゴン、ランガマティ、バンドルボン、カグラチャリを除く)に位置する事業は、商業生産の開始月から以下の割合で5年間、法人税の減税措置を受けることができる。

- 1年目: 法人税90%減税
- 2年目: 法人税80%減税
- 3年目: 法人税60%減税
- 4年目: 法人税40%減税
- 5年目: 法人税20%減税

2. ラジジャヒ県、クルナ管区、シレット管区、バリサル管区(City Corporation管轄地域を除く)、ランガマティ、バンドルボン、カグラチャリに位置する事業は、以下の割合で10年間、法人税の減税措置を受けることができる。

- 1~2年目: 法人税90%減税
- 3~4年目: 法人税80%減税
- 5~6年目: 法人税50%減税
- 7年目: 法人税40%減税
- 8年目: 法人税30%減税
- 9年目: 法人税20%減税
- 10年目: 法人税10%減税

※減税措置を受けるためには、 **Bangladesh Investment Development Authority (BIDA)** への登録、 **国家歳入庁** への申請、当該申請から45日以内に証明の取得が条件となる。

ダッカやチッタゴン等の1に含まれる地域に比べて、開発が進んでいない2に含まれる地域への投資を増やすために、減税措置を強化している。

## 経済特区(EZ)

バングラデシュ経済特区庁(BEZA)は、「バングラデシュ経済特区法(Bangladesh Economic Zones Act, 2010)」に基づき、2010年11月にバングラデシュ政府によって設立された中央経済特区庁である。

BEZAは、以下を目的として立法化された。

1. 外国直接投資および国内投資の誘致
2. 輸出の開発と多様化
3. 技能開発、知識の共有、雇用の創出
4. 構造改革と社会的・環境的持続可能性のためのダイナミックな経済的利益を確保
5. 社会と環境の持続可能性の確保。15年以内に100の経済特区(EZ)を開発

これらの経済特区が完成すれば、1,000万人の雇用が創出され、400億米ドル相当の輸出向け商品の製造拠点となる。

現在までに、BEZAは61の政府経済特区と27の民間経済特区からなる全国88の経済特区の設立承認を得ている。

承認された経済特区については、フィージビリティ・スタディ、土地取得、土地開発が進行中である。

中国、韓国、日本、インド、シンガポール、英国、オーストラリア、マレーシア、米国の60以上の企業が、これらの経済特区に121億3,000万米ドルを投資する予定である。

外国企業の中で、28億3,000万米ドルに相当する最高の投資提案は、中国企業2社による電力部門へのものである。

韓国のSuper Petrochemical社は、石油化学分野への23億8,000万米ドルの投資に関心を示し、これは2番目に大きな金額であった。

シンガポール企業が食品加工部門に4億米ドルの資金を提供し、第3位にランクインした。

バングラデシュ経済特区庁(BEZA)は、以下の6種類の経済特区(EZ)を開発している。

1. PPP経済区：国内外の個人、団体、組織による官民パートナーシップ(PPP)により設立される。
2. プライベート・エコノミック・ゾーン：地元、非居住バングラデシュ人、外国人投資家、団体、ビジネス組織、グループにより、個人または共同で設立される。
3. 政府経済区：政府によって設立され、所有される。
4. 特別経済区：あらゆる種類の専門産業や商業組織を設立するために、民間、官民パートナーシップ、または政府主導で設立される。
5. G2G経済区：外国政府またはバングラデシュ政府の主導により、および／またはバングラデシュ政府と外国政府のパートナーシップにより設立される経済区
6. 経済特区：政府当局または組織との協力および／または政府当局または組織間のパートナーシップにより設立される。

G2G経済区では、現在までにクスティアとモングラのインド経済区、チッタゴンのアンワラの中国経済工業区、ナラヤンガンジ郡アリハジャール・ウパジラのダッカ市近郊の日本経済区の3つの協定が結ばれている。これらのG2G経済区の開発はかなり順調に進んでいる。現在、他のいくつかの国とも同様の経済特区を設立するための交渉が行われている。民間に関してはすでに6つの経済特区が設立されている。

# 農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等 経済特区(EZ)に対する優遇措置詳細(3/3)

EZ進出企業向け優遇措置	詳細
10年間の法人税免除 (食用油、砂糖、小麦粉、セメント、鉄および鉄関連製品を除く)	最初の3年は100%免除
	4年目 80%免除
	5年目 70%免除
	6年目 60%免除
	7年目 50%免除
	8年目 40%免除
	9年目 30%免除
	10年目 20%免除
	配当に対する10年間の法人税免除
株式譲渡益に対する10年間の法人税免除	100% 免除
ロイヤリティ、技術ノウハウ、技術援助料等に対する10年間の法人税免除	100% 免除
駐在員の所得に対する法人税免除(3年間)	50% 免除
二重課税協定の存在による二重課税の免除	二重課税協定
資本機械および建設資材の免税輸入(MSロッド/バー、セメント、プレハブ建築、鉄/鋼板を除く)	100% 免除
倉庫ステーションとしての機能	EZ全体が倉庫ステーションに指定されている
自家消費・その他保税施設、倉庫業者	EZのすべての投資家はこのサービスを受けることができる
専用税関手続き(経済特区)	EZの全産業が対象

## ※注意事項

- ・ 経済特区外に位置する企業の事業が経済特区内に移転する場合は対象外。
- ・ 国内で生産した製品またはサービスに使用された機械や設備の移設による事業は対象外。
- ・ 経済特区内外での事業は、異なる銀行口座にて管理されなければならない。
- ・ 経済特区内外の事業間での取引はすべて法人税申告をしなければならない。
- ・ 会計年度ごとに規定された時期に、会計監査報告を行い、法人税申告をしなければならない。

出典: BEZA 2023 (1) (2) [NBR 2020](#) [JICA 2017](#) [The Business Standard 2023](#)



## ハイテクパークの減免措置(1/2)

### ハイテクパークの減免措置(1/2)

#### ハイテクパークの概要

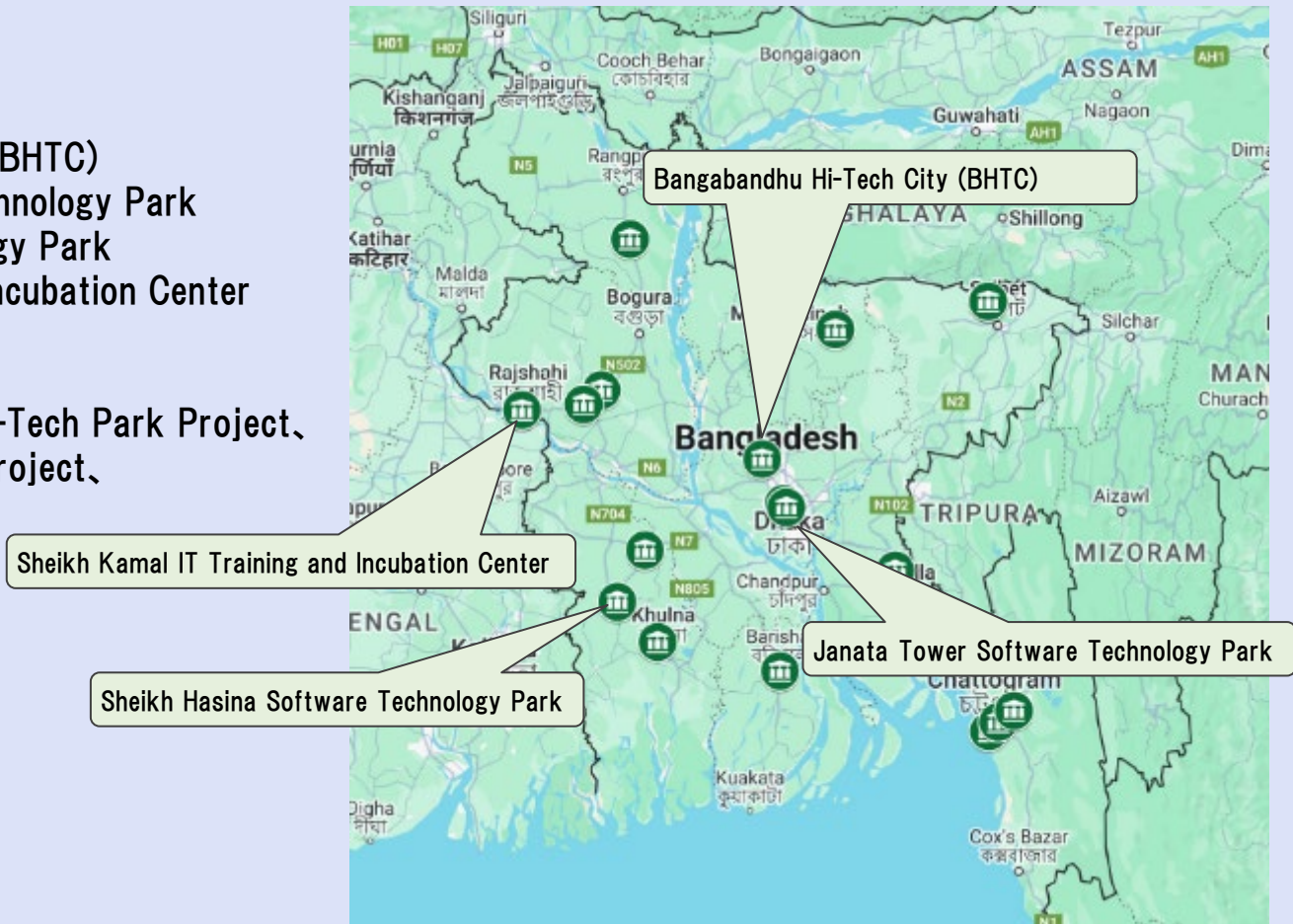
ハイテクパークは、「Bangladesh Hi-Tech Park Authority Act-2010」に基づき、国内のハイテク産業の発展と成長を通じて、投資しやすい環境を作り、雇用を創出することを目的として設立された。現在、28のハイテクパーク設置が目標とされているが、稼働しているのは4つである。

#### 4つの稼働中のハイテクパーク:

- カリアコイルのBangabandhu Hi-Tech City (BHTC)
- ジェソールの Sheikh Hasina Software Technology Park
- ダッカのJanata Tower Software Technology Park
- ナトールの Sheikh Kamal IT Training and Incubation Center

#### 14のハイテクパークが計画／建設中:

- ラジシャヒのBangabandhu Sheikh Mujib Hi-Tech Park Project、
- 12地区を対象としたSylhet Hi-Tech Park Project、
- Twelve IT Park Projectなど



## ハイテクパークの減免措置(2/2)

### ハイテクパークの減免措置(2/2)

#### ハイテクパークの定義と企業設立要件

1. ソフトウェア・テクノロジー・パーク(STP)およびハイテク・パーク(HTP)として認定された地域は、2014年バングラデシュ・ハイテク・パーク公社法(改正)の2(Ka)(6)に記載された定義に従い、IT/ITアウソーシング/ハイテク事業/電子・デジタル機器製造施設として機能する。
2. これらのエリアの少なくとも75%のスペースは、バングラデシュのハイテクパークで操業できる認可事業として認められている、ICT、ソフトウェア開発、エンジニアリング、エレクトロニクス、バイオテクノロジーなどの分野によって用いられている必要がある。
3. バングラデシュ・ハイテク・パーク当局やバングラデシュ内外の政府当局のブラックリストに載っている企業は、事業を行うことはできない。

#### ハイテクパークに設立可能性が考えられる農業・食品加工業

ハイテクパークの2つの主な目的は、

- (a)地場産業の発展のために固有の技術能力を開発すること、
  - (b)最先端技術製品を輸出することで海外市場に参入すること、
- である。

これを踏まえると、バイオテクノロジーの研究開発製品などが農業・食品加工関連でハイテクパークに参入できる業種であると考えられる。

#### ハイテクパーク内に設立した企業への優遇措置

次の減税が受けられる[S.R.O.\* No. 352 Act/Income Tax/2018、2018年11月29日発行]。

設立当初の7年間: 法人税100%減税

8~10年目: 法人税70%減税

\*SRO: Statutory Regulatory Order, 法的規制令

## 輸出加工区(Export Processing Zone:EPZ)(1/5)

### 輸出加工区(EPZ)

#### 輸出加工区(EPZ)の概要

輸出加工区(EPZ)とは、輸出用の製造品を生産するための工業団地のことである。DTA(国内関税地域)\*への販売を最大10%に設定することで、より販売価格の高い輸出に特化し利益を最大化している。バングラデシュでは、30カ国以上がEPZプロジェクトに投資している。EPZの主な目的は、投資家が、バングラデシュ国内において煩雑な手続きを必要としない投資環境を見出すことができる特別な地域を提供することである。DTA(国内関税地域)\*からの品目輸入が可能であるためバングラデシュ産の材料を使った安価な生産が期待できる。

BEPZAは現在、チッタゴンEPZ、ダッカEPZ、モングラEPZ、イシュワルディEPZ、コミラEPZ、ウッタラEPZ、アダムジーEPZ、カルナフリEPZの8つの輸出加工区(EPZ)の運営を監督している。

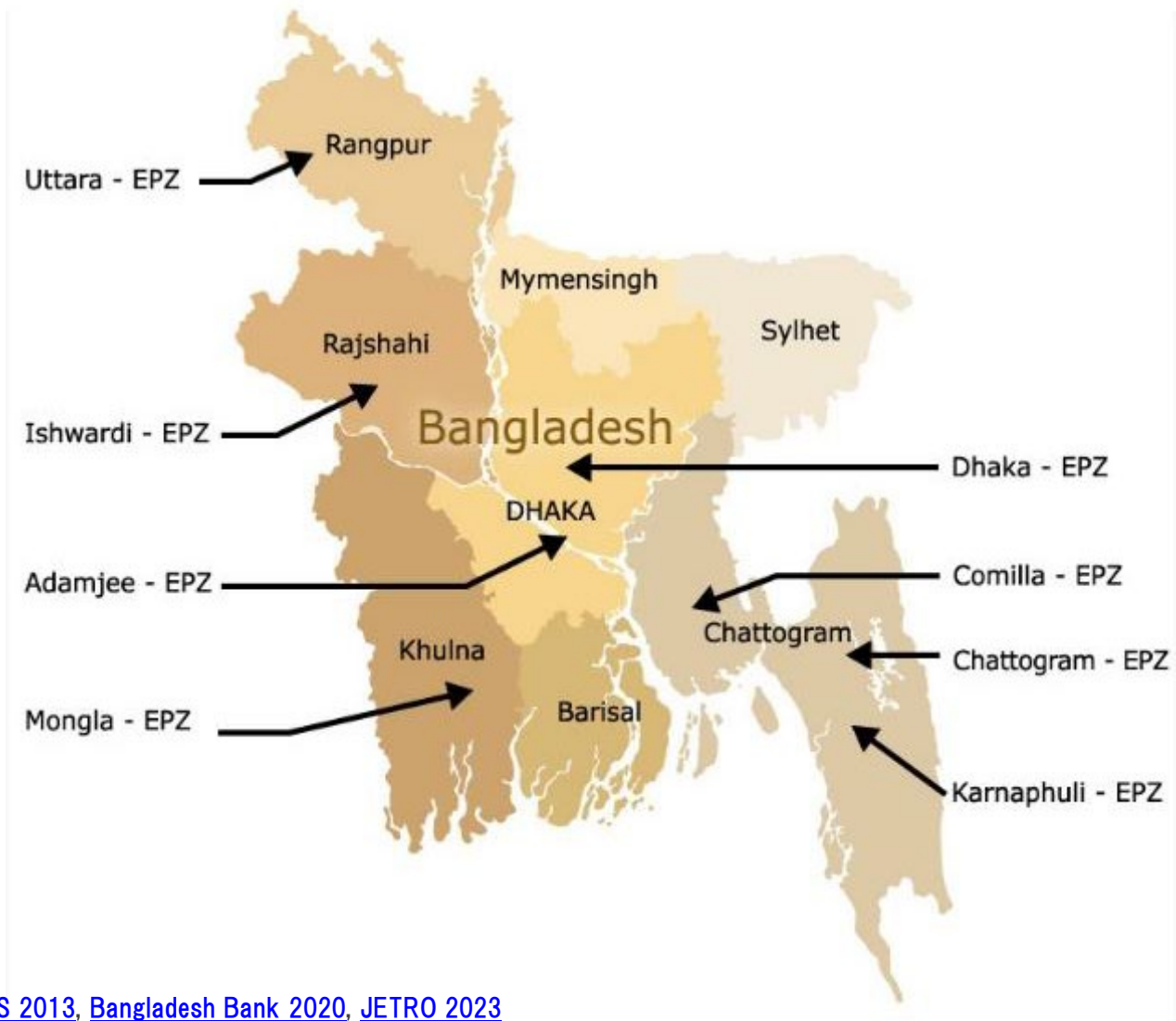
#### 輸出加工区の現況

- ・1980年12月の輸出加工区法(The Export Processing Zone Act)により規定されている。
- ・現在、バングラデシュには8カ所の輸出加工区(EPZ)があるが、首都ダッカおよび第2の都市チッタゴン周辺のEPZ 5件は既に手狭となっている。
- ・民間運営の工業区としては、1996年9月に、民間企業による輸出加工区設立を可能とする〔民間輸出加工区法・1996〕が成立。
- ・韓国企業がチッタゴン地域にKorean EPZを建設し、企業誘致を進めている。
- ・バングラデシュ政府は新たなEPZを設定しない代わりに、経済特区(Economic Zone:EZ)を開発中で、2016年2月に10カ所が開始、日本とバングラデシュが官民一体になって開発する「バングラデシュ経済特区」(BSEZ)がナラヤカンジ県アライハザール地区にて2022年12月から操業を開始している。政府は全国に100カ所のEZ設立を目指している。

\*DTAとは、国内関税地域(Domestic Tariff Area)のことで、経済特区(SEZ)を含まない国全体を指す(南アジアで使用されている)。

# 輸出加工区(Export Processing Zone:EPZ)(2/5)

BEPZAが運営する8つのEPZ



出典: BEPZA 2023, ISAS 2013, Bangladesh Bank 2020, JETRO 2023

## EPZ進出企業への法人税の免税措置

EPZ内の工場で、2012年1月以降に登録した企業が対象

### 1. チッタゴン、ダッカ、クミラ、アダムジー、カルノフリ

対象期間: 商業生産開始月から5年間

1. 設立当初の2年間: 法人税100%減税
2. 次の2年間: 法人税50%減税
3. 次の1年間: 法人税25%減税

### 2. モングラ、イシュワルディ、ウッタラ

対象期間: 商業生産開始月から7年間

1. 設立当初の3年間: 法人税100%減税
2. 次の3年: 法人税50%減税
3. 次の1年: 法人税25%減税

ダッカなどに比べ、開発が進んでいないモングラ、イシュワルディ、ウッタラ地域のEPZへの投資を増やすために、減税措置を強化している。

### EPZ進出企業への主な優遇措置

1. 建築資材、機械、設備、部品などの輸入関税免除
2. 原材料の輸入関税および完成品の輸出関税免除
3. 二重課税\*1の回避
4. 配当課税の免除
5. 一般特惠関税制度\*2が利用可能
6. 機械および工場に対する加速償却\*3の許可
7. ロイヤルティー、技術指導料、コンサルティング料の送金許可
8. EU、カナダ、ノルウェー、オーストラリアなどへの割当無制限の免税措置
9. 外資100%による企業進出が可能
10. 最恵国待遇を享受
11. 海外投資、国内投資の上限なし
12. 資本金、配当の本国への送金許可
13. 海外からの外貨ローンの自動承認
14. 非居住者外貨預金の許可
15. 外資と地場の合併、または100%地場資本出資の企業に対する外貨口座運用の許可

\*1 バングラデシュは、他国・地域との間で二重課税回避協定(DTAA)が結んでいるため、税制上の優遇措置を受けることができる。これには一定の条件があり、NBRから免税証明書を取得する必要がある。

\*2 現在、一般特惠関税(GPT)は発展途上国にのみ提供されている。

\*3 加速償却 - 工場、機械/プラントに対する免税措置の代わりに、新設の工業団地に対して、1年目は50%、2年目は30%、3年目は20%の加速償却が可能である。また、機械/工場については、初期償却も可能である。

## 輸出加工区(EPZ)におけるその他優遇措置

1. 使用・申告許可証(UD)\*<sup>1</sup>、輸出入登録証明書(IRC/ERC\*<sup>2</sup>)の必要なし、保税ライセンスの更新必要なし
2. 監督官庁であるバングラデシュ輸出加工区庁(BEPZA)が労働許可証を発行
3. 安全で保護された保税エリア
4. オフショア銀行が利用可能
5. D/A (Documentary against Acceptance) \*<sup>3</sup>による輸入が基本的に許可される
6. バック・トゥ・バック信用状\*<sup>4</sup>(L/C)(2通の信用状で1取引の資金調達が可能)
7. 製造原価(CM)ベースでの輸出入が可能
8. 工場での通関手続き

\*<sup>1</sup> 使用・申告許可証(UD):使用申告許可証(UD Permit)は、輸出向け産業で使用されることを目的とした特定の原材料や中間財を輸入する際に必要とされる必須書類である

\*<sup>2</sup> IRC/ERC:バングラデシュへの輸出入に必要な輸出入登録証明書

\*<sup>3</sup> D/A:Documents Against Acceptance。D/A取引は定期手形を利用する。この場合、商品の所有権を取得するために必要な書類は、買い手が自宛に振り出された定期手形を受諾した後にのみ、決済銀行から発行される。

\*<sup>4</sup> バック・トゥ・バック信用状:輸出入業者が取引先から受け取る信用状を担保として、自社が取引先に発行する信用状のこと

\*<sup>5</sup> DTAとは、国内関税地域(Domestic Tariff Area)のことで、経済特区(SEZ)を含まない国全体を指す(南アジアで使用されている)。

# 農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等 その他主な優遇措置

以下の外国投資優遇措置は1984年法人税条例(Income Tax Ordinance, 1984)第46BB条に規定されている。  
・本件の優遇措置の管轄はバングラデシュ投資開発庁(BIDA)である

## その他主な優遇措置(1984年法人税条例第46BB条)

- ・ 工場および機械に対する加速償却の適用:1年目80%、2年目20%
- ・ 輸出向け企業の機械・部品の新規導入、もしくは既存工場の機械入れ替え、規模拡大等に伴う、輸入関税の免除適用(それ以外の産業の場合、輸入機械への適用関税は5%)。
- ・ 海外投資家は、二重課税防止条約に基づき、二重課税はされない。
- ・ 海外投資家は、ロイヤルティー、技術ノウハウ、技術支援料の海外送金が可能
- ・ 投資資本、配当の本国送金が可能
- ・ 撤退時の資産の本国送金が可能
- ・ 海外資本による100%全額出資が可能
- ・ 外国(銀行)からの融資の金利にかかわる課税免除
- ・ 投資家に対するマルチプル(複数回入国可能な)ビザの交付
- ・ 本国送金が可能な配当の再投資は、新規投資とみなす。
- ・ 50万ドルの投資もしくは認可金融機関への100万ドルの預金(本国送金不可)を条件とする、市民権付与
- ・ 7万5,000ドルの投資(本国送金不可)を条件とする、永住権の付与
- ・ 上場企業株式の売買に伴う、キャピタルゲインに対する課税の免除適用



## その他主な優遇措置：輸出指向産業、輸出関連産業

以下の外国投資優遇措置は1984年法人税条例(Income Tax Ordinance, 1984)第46BB条に規定されている。

・本件の所管はバングラデシュ投資開発庁(BIDA)で法人税免除プログラムを管理する主要な役割を果たしている。加えて輸出促進については、輸出促進局(EPB)が担当している。EPBは 商務省傘下で、輸出促進政策と優遇措置の策定と実施を担当する主要機関である。

### その他主な優遇措置：輸出指向産業、輸出関連産業

(1984年法人税条例第46BB条)

輸出指向産業、輸出関連産業には、これら優遇措置とは別に、輸出政策に基づく措置も適用される。

- ・ 機械および部品の輸入関税が1%
- ・ 保税倉庫の利用および見返り信用状開設が可能
- ・ 関税還付制度あり。
- ・ 取消不能信用状、確認信用状、売買契約書に対し、その90%相当額の融資
- ・ 「みなし輸出者」との連携支援 (みなし輸出業者とは、直接輸出業者に不可欠な材料、部品、サービスを提供することにより、間接的に輸出に貢献する国内産業のことである。みなし輸出企業は通常、自社製品を直接輸出することはないが、現地での信用状(LC)を通じて外国為替で支払いを受ける。)
- ・ 輸出指向産業は、バングラデシュ中央銀行の外国為替規制に基づき、広告活動、海外拠点の開設、国際展示会への参加等のために、案件ごとの追加外国為替割当てがある。
- ・ 手工業および家内産業による輸出収益には、法人税を免除。その他の産業については、法人税の割戻しが受けられる。
- ・ 輸入禁止・制限リスト掲載品目でも、輸出品の生産に必要な素材であれば、輸入が許可される。農業・食品加工業関連で輸入禁止・制限リスト掲載品目は牛乳がある。
- ・ 輸出品のための一定量の免税サンプルの輸入は、関連する政府方針に基づき許可される。
- ・ 外貨建て信用状で決済される国内の産業、プロジェクトに対する国産品の供給は、間接的な輸出とみなされ、すべての優遇措置が受けられる。
- ・ 財務保証制度あり。
- ・ EPZ内企業の製品の10%は、外貨建て信用状で決済され、所定の税金を支払うことを条件に、国内一般関税地域への輸出が認められる。
- ・ EPZ外の100%輸出指向産業は、所定の税金の支払いを条件に、製品の20%を国内での販売が認められる。
- ・ 政府が「奨励産業」に認定した輸出指向産業は、特別措置やベンチャーキャピタル支援を受けられる。「奨励産業」は主に繊維産業が中心で、農業・食品加工業は対象外

## その他主な優遇措置：その他免税対象の業種

バングラデシュ投資開発庁(BIDA)は、法人税免除プログラムを管理する主要な役割を果たしている。

### その他主な優遇措置：その他免税対象の業種

1984年法人税条例第46BB条に基づき、2019年7月1日から2024年6月30日の間に新たに設立された以下のセクターに属する企業は、法人税の軽減措置を受けることができる。これらの業種に属する企業は、事業所所在地に応じて大都市では5年間、中小都市や中心部以外では最大10年間の免税を受けることができる。(減税率は164ページ参照)

- ・ **食品(果物加工、野菜加工、乳製品、乳幼児用食品)、農業機械**
- ・ 軽工業
- ・ キッチン器具(洗濯機、ブレンダー、電子レンジ、ミシン、IH機器、包丁)
- ・ 教育機関、職業訓練(農業、漁業、化学、情報科学(IT))
- ・ ヘルスケア・サービスを提供する施設、病院
- ・ 自動車(3輪および4輪)

外国企業によるバングラデシュ産の水産物の加工について、投資優遇措置等をバングラデシュ政府に働きかけることが考えられる。

## バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

- バングラ政府による投資優遇策
- **ビジネス環境上の問題点**
- 「バングラ経済特区(BSEZ)」における、食品加工業を中心とした投資の可能性

# ビジネス環境上の問題点:政治的リスク

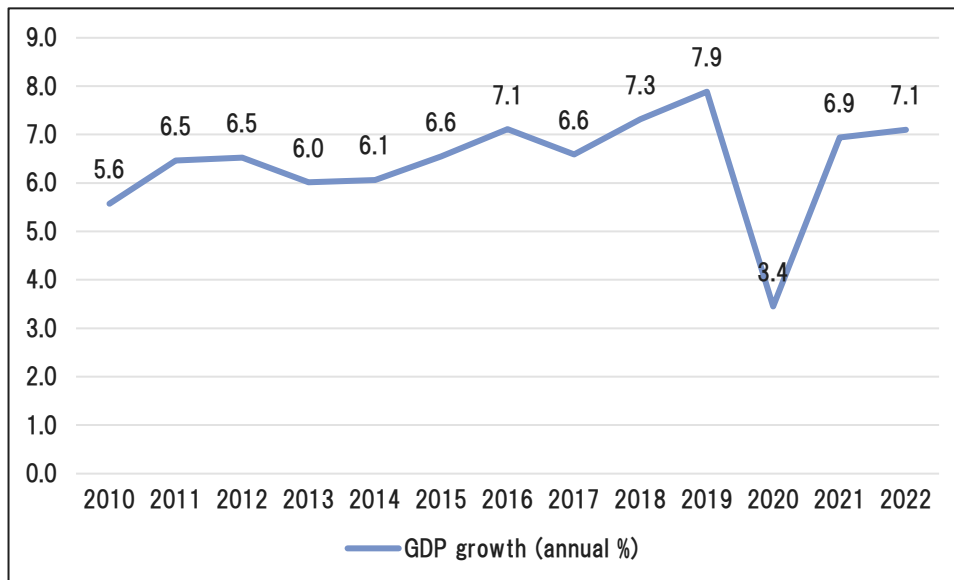
バングラデシュへの工場投資等に関する政治的リスクとしては、以下のものが挙げられる。

政治的リスク	対応策案
<p><b>政治的不安定による治安情勢の悪化</b>                      バングラデシュでは、昨今、与野党の対立が激化し、大規模デモなどの社会不安が発生している。このような政治的不安定は、治安悪化につながり、工場の操業や従業員の安全に影響を与える可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場や従業員への暴力や破壊行為</li> <li>・ 物流や交通の混乱</li> <li>・ 原材料や部品の調達の遅れ</li> <li>・ 製品や原材料の輸出入の遅れなど</li> </ul> <p><b>政府の政策変更による影響</b>                      バングラデシュ政府は、外国投資を促進するために、様々な優遇措置を実施している。しかし、政府の政権交代や政党間の対立などにより、これらの優遇措置が変更される可能性は否定できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税制や規制の変更</li> <li>・ 投資の許認可の要件の変更</li> <li>・ 外資企業に対する優遇措置の削減など</li> </ul> <p><b>政治的つながりによる影響</b>                      バングラデシュでは、政治家や政府高官との関係がビジネスに影響を与える場合があり、しかし、これらの関係が悪化した場合、工場の操業に支障をきたす可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政手続きの遅れや不当な要求</li> <li>・ ライバル企業による妨害</li> <li>・ 労働働者のストライキや抗議活動</li> </ul>	<p>政治的リスクに対して以下のような対策が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政治情勢の変化を注視し、適宜リスク評価を行う。</li> <li>・ 地元の政治家や政府高官と適度な距離感で関係を築く。</li> <li>・ リスクを軽減するための保険に加入する。</li> </ul>

## ビジネス環境上の問題点：経済的リスク(経済成長率)

バングラデシュの経済成長率は、2010年の5.6%から7%前後まで成長してきたが、2023年度のGDP成長率は5.3%と予想されている。これは米ドル高Taka安、インフレ率の上昇が影響しているものと考えられる。このため、バングラデシュ国内で生産した商品が計画した販売額を達成できないリスクが考えられる。

GDP経済成長率(%) 2010 - 2022



### GDP経済成長率鈍化のリスク

2023年度の経済成長率は5.3%に鈍化すると予想されている。

- ・米ドル高Taka安
- ・インフレ率の上昇

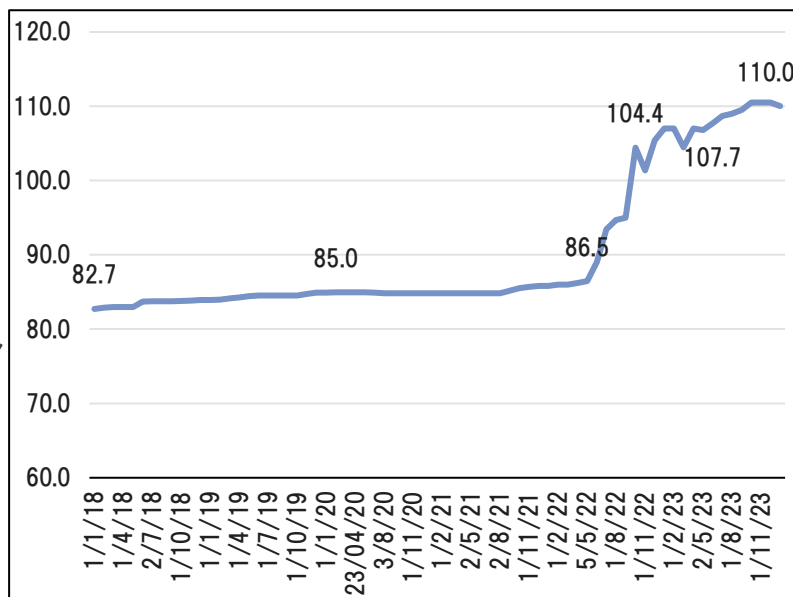
このため、バングラデシュ国内で生産した商品が計画した販売額を達成できないリスクが考えられる。

⇒経済成長の鈍化を考慮して事業計画を立てる必要がある。

# ビジネス環境上の問題点：経済的リスク(為替リスク)

バングラデシュTakaは2022年から3割ほど米ドル高Taka安となった。バングラデシュでは米ドルの外貨準備高確保の必要が高まり、バングラデシュの輸入業者は米ドル不足により輸入信用状の開設が減少し、輸入量が大幅に減少している。また、原材料をバングラデシュ外から輸入する場合、Taka換算で割高となる一方、バングラデシュ国内産を輸出する場合、米ドル建てで割安となる。

2018年から2023年の為替レート Taka/米ドル



### 米ドル高Taka安の影響(1)

バングラデシュでは米ドルの外貨準備高確保の必要が高まり、バングラデシュの輸入業者は米ドル不足により輸入信用状の開設が減少し、輸入量が大幅に減少している。

### 米ドル高Taka安の影響(2)

原材料をバングラデシュ外から輸入する場合、Taka換算で割高となる。

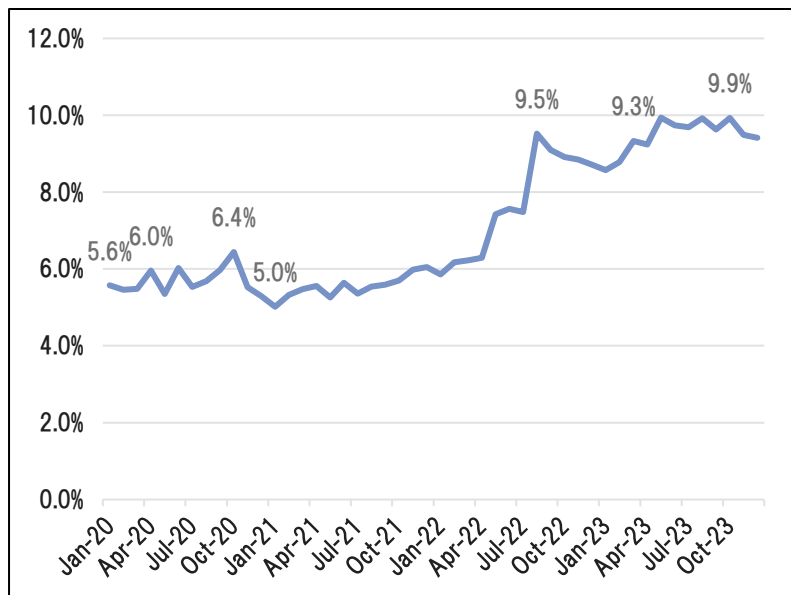
バングラデシュ国内産を輸出する場合、米ドル建てで割安となる。

⇒これらの為替リスクを考慮に入れて、事業計画を立てる必要がある。

# ビジネス環境上の問題点：経済的リスク(インフレリスク)

バングラデシュのインフレ率は2022年から2023年にかけて、10%近くまで上昇している。そのため、バングラデシュ国内での工場建設コスト、製品の原材料調達コストやバングラデシュ人の人件費の上昇リスクがある。さらには、バングラデシュ国民の購買力の減退リスクも考えられる。

2020年から2023年までのインフレ率



## インフレ率上昇の影響

バングラデシュで工場を建設する場合のその建設コストの上昇リスクがある。

製品の原材料をバングラデシュ国内で調達する場合、調達コストが上昇するリスクがある。

バングラデシュ人を雇用する場合、人件費の上昇リスクがある。

バングラデシュ国民の購買力の減退リスクも考えられる。

⇒インフレ率上昇リスクを織り込んで、事業計画を立てる必要がある。

# ビジネス環境上の問題点：社会的リスク

バングラデシュへの工場投資等に関する社会的リスクとしては、以下のものが挙げられる。企業として労働問題や環境問題に対処するための経営コストが増加するリスクがある。

社会的リスク	対応策案
<p><b>労働問題</b> バングラデシュにおける経済発展にともなって、労働者の権利保護や労働組合運動が高まりつつあり、バングラデシュ政府としても、労働問題に対処する動きが取られつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長時間労働や低賃金</li> <li>・ 安全衛生対策の不備による労災など</li> </ul> <p><b>環境問題</b> バングラデシュにおける経済発展にともなって、環境問題が大きくなりつつあり、バングラデシュ政府としても、環境問題に対処する動きが取られつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水質汚染、土壌汚染、大気汚染</li> </ul> <p><b>社会不安</b> バングラデシュは、近年、貧困や格差の拡大により、社会不安が高まっているのに加え、工場の進出による地元住民との軋轢や、労働問題による社会不安が、投資に悪影響を及ぼす可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストライキやデモなどの社会不安</li> <li>・ テロや暴力などの犯罪</li> </ul>	<p>社会的リスクに対して以下のような対策が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働基準の遵守             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 労働法令を遵守し、労働者の権利を尊重する。</li> </ul> </li> <li>・ 環境対策の強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 工場の排出物や廃棄物による環境汚染を防止するために、環境対策を強化する。</li> </ul> </li> <li>・ 地元住民とのコミュニケーション             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 工場の進出による地元住民への影響を考慮し、コミュニケーションを図る。</li> </ul> </li> </ul>



# ビジネス環境上の問題点：社会インフラ・サプライチェーン関連リスク

バングラデシュへの工場投資等に関する社会インフラ・サプライチェーン関連リスクとしては、以下のものが挙げられる。

社会インフラ・サプライチェーン関連リスク	対応策案
<p><b>社会インフラの未整備</b>                      ダッカ首都圏やチッタゴン港では社会インフラ・サプライチェーンはある程度整備されつつある。一方、それ以外の地域では未整備であることが多く、電力や水道などの不備による工場の操業や原材料・部品の調達に支障をきたす可能性がある。ダッカ首都圏以外の地域は安価な労働力や農産品の生産力はあるというメリットもあり、進出地域をよく吟味する必要がある。</p> <p><b>サプライチェーンの脆弱性</b>                      バングラデシュは、サプライチェーンが脆弱であり、自然災害や大規模デモなどの影響を受けやすいという課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然災害による工場の被害や、原材料・部品の調達の遅延</li> <li>・ 大規模デモなどによる工場の操業の停止</li> </ul>	<p>社会インフラ・サプライチェーン関連リスクに対して以下のような対策が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会インフラの整備状況を調査する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 工場建設予定地の社会インフラの整備状況を調査し、必要な対策を検討する必要がある。</li> </ul> </li> <li>・ サプライチェーンの多角化を図る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 原材料・部品の調達先を多様化することで、サプライチェーンの脆弱性を軽減する必要がある。</li> </ul> </li> </ul>

# ビジネス環境上の問題点：自然災害リスク(特に洪水リスク)

バングラデシュでは、日本と同様、サイクロン(台風)、洪水、地震などの自然災害リスクは多いが、特に洪水に関して記述する。

自然災害リスク	対応策案
<p><b>洪水</b> バングラデシュは、国土の大部分が低地であり、洪水の被害を受けやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バングラデシュ北西部と中央部において被害を受けやすい。</li> <li>・モンスーンの時期には、洪水が発生しやすい傾向にある。</li> <li>・1998年の大洪水では3,000万人が避難し、国土の3分の1が水没した。</li> <li>・2022年にも国土の3分の1が水没し、600万人以上が影響を受けた。</li> </ul>	<p>バングラデシュへの工場投資を検討する際には、これらの自然災害リスクを十分に考慮し、対策を講じる必要がある。具体的には、以下の対策が考えられる。</p> <p><b>工場建設地の選定</b> サイクロンや洪水の被害を受けにくい地域を選定する。</p> <p><b>防災対策の強化</b> 工場や設備の耐震化を図ったり、防災設備を導入したりする。バングラデシュは減災対策を積極的に導入している。BSEZで開発されているような堤防や防砂堤は、増水に対する防御の重要な要素である。改善された排水システムと洪水予測技術は、対応策をさらに改良することができる。</p> <p><b>事業継続計画の策定</b> 自然災害が発生した場合に備えて、事業継続計画を策定する。</p> <p>また、バングラデシュの自然災害に関する調査を十分に行い、リスクを把握しておくことも重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の自然災害の発生頻度や被害状況を調査する。</li> <li>・気象庁などの予測情報を参考に、自然災害の発生を予測する。</li> </ul>

## バングラ政府による農業・食品加工業への投資に対する優遇措置等

- バングラ政府による投資優遇策
- ビジネス環境上の問題点
- **「バングラ経済特区(BSEZ)」における、食品加工業を中心とした投資の可能性**

# Bangladesh Economic Special Zone (BSEZ) Overview (1/2)

BSEZ is one of the economic special zones under development in Dhaka, Bangladesh. It is established to support foreign enterprises by providing better infrastructure and administrative rationalization. This is achieved through the collaboration of Sumitomo Corporation, Bangladesh Economic Special Zone Authority (BEZA), and the Japan International Cooperation Agency (JICA).

Bangladesh is targeting 100 economic special zones and 28 high-tech parks to attract more foreign direct investment.

- BSEZ's main shareholders are Sumitomo Corporation, BEZA, and JICA, established to develop, sell, and operate the area 20km from Dhaka.
- BSEZ was established to overcome insufficient infrastructure (electricity, gas, etc.) and complex administrative procedures in Bangladesh.
- JICA signed an investment agreement with BSEZ in August 2022.

BEZA provides simplified procedures for new investment or expansion, and offers one-stop services (OSS) to reduce the investment permit process from 6 months to 3 months.



# Bangladesh Economic Special Zone (BSEZ) の概要(2/2)

Bangladesh Economic Special Zone (BSEZ)はダッカ東部のAraihazar Narayanganjに設立され、日本企業をはじめとする海外からの投資を集める役割を果たしている。

## Bangladesh Economic Special Zone (BSEZ) - 概要

面積	<ul style="list-style-type: none"><li>1,000エーカー</li></ul>
経済特区内インフラの特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>堤防海拔8m、原地盤から5.5m盛って洪水対策を行っている。</li><li>敷地中央には洪水対策のため運河を通してある。</li><li>団地内には上下水施設を建設中で、 Bangladesh国内の工業団地の中でも、国際水準の上下水施設があるのはBSEZが初である。</li><li>敷地内に税関が配置される予定。このことで、製造した製品をBSEZ内で通関し輸出する、あるいは輸入した製品のコンテナを開けずに輸送しBSEZ内で通関する、保税輸送が可能になる。このことで通関に要する時間を大幅に短縮することができる。ちなみに現時点では同国において保税在庫が認められていない。</li><li>汚職撲滅宣言により、クリーンに Bangladeshに進出できる環境を整えることも目標にしている。</li></ul>
企業の進出状況	<ul style="list-style-type: none"><li>トルコの家電メーカーArcelik社はSinger Bangladesh社に出資しておりBSEZに工場を建設</li><li>ドイツの繊維科学メーカーRudolfはBSEZに工場を建設予定</li><li>日本のライオンは現地合併会社を介してBSEZでの製造拠点を確保した日本企業第1号</li><li>日本企業30社を含む40社以上がBSEZへの進出を検討している。</li></ul>

出典：[JICA 2022](#), [Sumitomo Corporation n.d](#), [The Business Standard 2022](#), [BSEZ](#), 有識者ヒヤリング

# 日本から Bangladesh への食品加工業を中心とした投資の可能性

日本の食品加工業が「Bangladesh 経済特区(BSEZ)」など Bangladesh に工場進出等の投資する価値は高いと考えられる。

## 「Bangladesh 経済特区(BSEZ)」における食品加工業を中心とした投資メリット

Bangladesh の2022年の労働人口は増加傾向にあり、従業員採用が可能。

・Bangladesh の2022年の労働人口は7,341万人と前回5年前の調査時の6,350万人に比べて約16%増加

(出典: Bangladesh 統計局)

BSEZへの進出外国企業に対する法人税の減免など収益メリットが大きい。

経営管理

人事管理

商品開発

調達

購買物流

製造

出荷物流

販売

Bangladesh 国内に立地することにより、Bangladesh の人々の嗜好に合った食品の開発が容易となる。

Bangladesh 国内やベンガル湾で低コストで豊富に産出される農水産物を原材料として調達が可能

日本での高度な食品生産技術を活用し、低コストでの製造が可能  
・日本より低い Bangladesh の人件費など

3つのパターンのビジネスモデルが考えられる。

- ・人口1億7千万人で、1人当たりのGDPの伸びが期待される Bangladesh 国内への販売
- ・経済発展が著しい中東、南アジア、東南アジアの近隣諸国への輸出。ハラール対応することにより中東諸国への輸出が優位となる。
- ・Bangladesh 産の農産物の一次加工を国内で実施し、日本に低コストの原材料として供給する。



**NTT DATA**  
Trusted Global Innovator